

# 三重県の文化財保護

— 平成22年度 —



2012.1

三重県教育委員会

# 例 言

- 1 本書は、三重県教育委員会事務局社会教育・スポーツ分野社会教育・文化財保護室が、平成22年度に実施した文化財保護事業をまとめたものである。
- 2 国史跡斎宮跡の発掘調査の詳細については、斎宮歴史博物館が、年報として報告しているので、別途参照されたい。
- 3 市町指定文化財の指定・解除及び文化財保護強調週間行事などは、市町教育委員会からの報告をもとに記載した。
- 4 本書記載の市町名・組織名は、各申請書等の記載名称を基本としている。

## 目 次

I 文化財の指定・登録	2 県費単独補助事業
1 国指定文化財の指定 …………… 1	(1) 建造物保存修理事業 ……………43
2 国登録有形文化財の登録 …………… 9	(2) 史跡等保存整備事業 ……………44
3 三重県文化財保護審議会 ……………23	(3) 天然記念物再生事業 ……………44
4 三重県指定文化財の指定等 ……………24	(4) 文化財全国大会等事業 ……………44
5 市町指定文化財の指定 ……………27	3 活かそう美し国の文化財事業
II 県実施の調査・保護事業	(1) 事業概要 ……………44
1 特別天然記念物カモシカ調査	(2) 認証委員会 ……………45
(1) 紀伊山地カモシカ保護地域通常調査 ……28	(3) 平成22年度事業実績 ……………45
(2) 鈴鹿山地カモシカ保護地域通常調査 ……28	4 民間団体による助成 ……………47
(3) 特別天然記念物カモシカ保護指導委員 並びに保護行政担当者会議 ……………29	IV 世界遺産の保存管理
2 特別天然記念物オオサンショウウオ調査	1 世界遺産熊野古道保存管理事業
(1) 緊急雇用創出事業オオサンショウウオ 生息環境調査 ……………29	(1) 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」 三県協議会 ……………47
3 ふるさと文化再興事業	(2) 県内の世界遺産保存管理 ……………48
(1) 目的 ……………29	(3) 活用事業 ……………49
(2) 事業内容 ……………29	2 他部局との連携事業 ……………49
4 埋蔵文化財緊急発掘調査等	V 文化財の管理・普及
(1) 斎宮跡発掘調査 ……………30	1 登録審査
(2) 県営ほ場整備事業地内遺跡発掘調査 ……30	(1) 銃砲刀剣類登録審査会 ……………50
(3) 埋蔵文化財出土遺物保存処理事業 ……31	(2) 三重県天然記念物紀州犬登録審査会 ……50
5 伊勢路と海の民俗文化財調査事業	(3) 三重県天然記念物日本鶏登録審査会 ……50
(1) 石造物調査 ……………31	2 文化財の管理
(2) 海女習俗基礎調査事業 ……………32	(1) 文化財パトロール ……………51
III 文化財補助事業等	(2) 文化財保護にかかる会議 ……………55
1 国庫補助事業	(3) 発掘調査届出・通知等 ……………57
(1) 建造物保存修理事業 ……………33	(4) 埋蔵文化財の発見（法第100条関係） ……58
(2) 建造物防災施設事業 ……………33	(5) 埋蔵物の文化財認定（法第102条関係） ……59
(3) 重要伝統的建造物群保存事業 ……………33	(6) 出土文化財の譲与 ……………64
(4) 美術工芸品保存修理事業 ……………33	3 国・県指定文化財の現状変更等
(5) 美術工芸品防災施設事業 ……………34	(1) 国指定文化財現状変更等 ……………66
(6) 美術工芸品調査事業 ……………34	(2) 県指定文化財現状変更等 ……………73
(7) 美術工芸品保存活用整備事業 ……………34	4 文化財の公開・普及
(8) 重要無形文化財保持団体補助事業 ……34	(1) 文化財関係の受賞 ……………78
(9) 民俗文化財伝承・活用事業 ……………34	(2) 三重県文化財講習会（第28回） ……79
(10) 史跡等・登録記念物・歴史の道 保存整備事業 ……………35	(3) 第52回近畿・東海・北陸ブロック 民俗芸能大会 ……………79
(11) 史跡等買上げ事業 ……………37	(4) 文化財保護強調週間行事 ……………80
(12) 史跡等保存管理計画策定事業 ……………38	(5) 文化財防火デー ……………80
(13) 天然記念物食害対策事業 ……………38	(6) 文化財保護の組織 ……………80
(14) 天然記念物緊急調査事業 ……………38	
(15) 天然記念物再生事業 ……………38	
(16) 市町遺跡発掘調査等 ……………39	

[表紙 多度のイヌナシ]  
[裏表紙 三重県内 国・県指定等文化財数]

# I 文化財の指定・登録

## 1 国指定文化財の指定

### 旧賓日館（きゅうひんじつかん）

種 別 重要文化財（建造物）  
員 数 3 棟（本館、大広間棟、土蔵）  
所 在 地 伊勢市二見町茶屋566-2  
年 代 近代  
所 有 者 伊勢市  
指 定 基 準 建造物の部（一） 意匠的に優秀なもの  
指 定 番 号 建 第2555号  
指 定 年 月 日 平成22年6月29日（平成22年6月29日付文部科学省告示第113号）

特徴・評価 旧賓日館は、景勝地二見浦に伊勢神宮の崇敬団体、神苑会によって、賓客の休泊のため明治20年に建設された。昭和前期に伊勢神宮の遷宮を担当した技師により大規模な改修、増築が行われ、現在の規模となっている。

本館の御殿の間は明治20年の創建時の姿を残しており、床の框（かまち）に螺鈿（らでん）を施すなど凝った意匠をもつ座敷である。昭和10年に建て替えられた大広間棟2階の120畳敷きの大広間は、能舞台も構えるなど、華やかな意匠で設えられている。

明治期から昭和前期にかけての建築技術や意匠の進展をよく示している大規模な近代和風建築として高い価値がある。



## 俳聖殿 附 厨子、棟札、門（はいせいでん）

種 別	重要文化財（建造物）
員 数	1棟 1基 1枚 1棟
所 在 地	伊賀市上野丸之内117-4
年 代	近代
所 有 者	伊賀市
指 定 基 準	建造物の部（一） 意匠的に優秀なもの
指 定 番 号	建 第2565号
指 定 年 月 日	平成22年12月24日（平成22年12月24日付文部科学省告示第170号）

特徴・評価 俳聖殿は、俳聖と称された松尾芭蕉の生誕300年を記念し、昭和17年に地元伊賀市出身の政治家川崎克が主導して建設された。芭蕉の旅姿を表現したいという川崎の構想をもとに東京帝国大学名誉教授の伊東忠太が設計指導を行ない、法隆寺夢殿を手本とした八角堂に、芭蕉の笠を模した変形屋根を乗せた円形の2階部分がのる建物となっている。

近代の大規模記念建造物のなかで、伝統的な建築を基礎としながら自由な意匠を採り入れた近代和風建築として価値が高いものである。



## 木造地藏菩薩立像（もくぞうじぞうぼさつりゅうぞう）

種別	重要文化財（美術工芸品 彫刻）
員数	一躯
所在地	伊勢市朝熊町
年代	鎌倉時代
所有者	宗教法人金剛證寺
指定基準	絵画・彫刻の部（三）題材、品質、形状又は技法等の点で顕著な特異性を示すもの
指定番号	彫 第3570号
指定年月日	平成22年6月29日（平成22年6月29日付文部科学省告示第98号）
特徴・評価	金剛證寺境内にある矢負地藏堂（やおいじぞうどう）の本尊で、実際の衣を着せることができるよう作られたヒノキ材の寄木造の仏像である。伏し目の内向的な表情や、静かな立ち姿など平安時代末期風の特徴が見られるが、X線透過撮影により像内に1205年初鑄の銭貨が納入されていることが確認されており、これが当初の納入品であれば、それ以後の製作と考えられる。実際の衣を着せる裸形着像（らぎょうちゃくそうぞう）という像形式の成立を考えるうえで重要な像である。



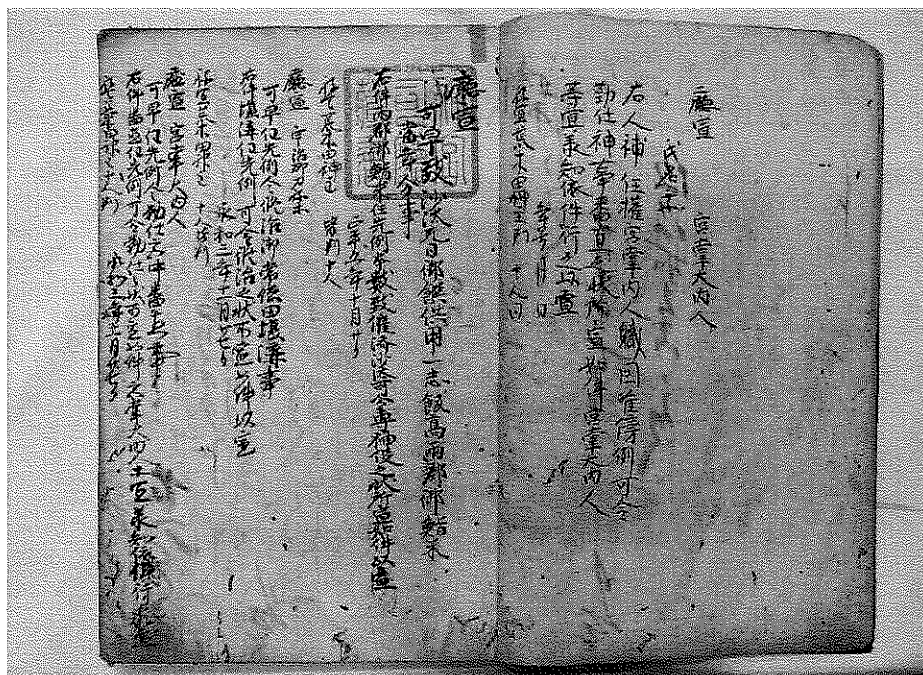
氏経卿神事記（うじつねきょうしんじき）

種 別 重要文化財（美術工芸品 古文書）  
 員 数 一冊  
 所 在 地 伊勢市宇治館町  
 年 代 室町時代  
 所 有 者 宗教法人神宮（神宮文庫保管）  
 指 定 基 準 古文書の部 （二）日記、記録類（絵図、系図類を含む。）は、その原本又はこれに準ずる写本で我が国の文化史上貴重なもの  
 指 定 番 号 文 第681号  
 指 定 年 月 日 平成22年 6 月29日（平成22年 6 月29日付文部科学省告示第101号）  
 特 徴 ・ 評 価 伊勢内宮の一瀬宜（長官）として内宮の祭祀を担当した荒木田氏経（あらかいだうじつね）（1402～1487）の自筆日記である。各種の神事について詳細に書きとめられており、室町時代における神宮祭祀の実情がわかる第一級の史料である。このほかにも北畠氏の動向など神宮周辺の様相についても記録されており、当時の地域の情勢を知ることができる史料として、学術的価値が高い。



氏経卿引付 (うじつねきょうひきつけ)

- 種 別 重要文化財 (美術工芸品 古文書)  
 員 数 七冊  
 所 在 地 伊勢市宇治館町  
 年 代 室町時代  
 所 有 者 宗教法人神宮 (神宮文庫保管)  
 指 定 基 準 古文書の部 (二) 日記、記録類 (絵図、系図類を含む。) は、その原本又はこれに準ずる写本で我が国の文化史上貴重なもの  
 指 定 番 号 文 第682号  
 指 定 年 月 日 平成22年 6 月 29 日 (平成22年 6 月 29 日付文部科学省告示第101号)  
 特 徴 ・ 評 価 伊勢内宮の一禰宜 (長官) として内宮の祭祀を担当した荒木田氏経 (1402~1487) が、在任期間55年間にわたって、職務上関わった文書を年次順に書きとめた自筆本である。当時の朝廷や幕府、北畠氏らとの関係がよくわかる史料であり、神宮や伊勢地域の状況を考察するうえで重要な史料である。



## 松坂城跡（まつさかじょうあと）

種別	史跡
面積	4,733.73㎡
所在地	松阪市殿町1536番1外
所有者	国・松阪市
指定基準	史跡の部（二）都城跡、国郡庁跡、城跡、官公庁、戦跡その他政治に関する遺跡
指定年月日	平成23年2月7日（平成23年2月7日付文部科学省告示第11号）
特徴・評価	松坂城跡は、松阪市街地の中央に位置する城跡である。天正13年（1585）頃に蒲生氏郷が築城を開始し、その後も豊臣秀吉の家臣が城主となって造営を続けた。城の中心部には堅固な石垣が築かれ、その保存状態は極めて良好である。発掘調査では安土桃山時代の瓦や建物の礎石が確認されるなど、織豊系城郭としての特徴を顕著に有している。また、御三家の一つ、和歌山藩領の飛地内に所在し、その支配の拠点となった城郭として明治期まで存続した点で特筆されるなど、近世の政治・軍事を知るうえで貴重である。





## 多度のイヌナシ自生地（たどのいぬなしじせいち）

種別	天然記念物
面積	3,182.22㎡
所在地	桑名市多度町多度字八壺1740番地1の一部
所有者	個人
指定基準	天然記念物 植物の部 (十) 著しい植物分布の限界地 (十二) 珍奇又は絶滅に瀕した植物の自生地
指定年月日	平成22年8月5日（平成22年8月5日付文部科学省告示第125号）
特徴・評価	イヌナシはバラ科ナシ属の落葉小高木で、朝鮮半島・中国大陸等に分布し、日本では愛知県・三重県・岐阜県のみ隔離分布する大陸要素の遺存種と考えられている。現在は愛知県中北部を中心に、同中南部、三重県北部などに点在する。分布地域が市街地に近いところが多く、開発等により分断縮小されるとともに、多くの生育地が公園として人為的に管理され、自然更新が困難になっており、絶滅が危惧されている。

多度のイヌナシ自生地は、多度川中流にある多度峡の南側の丘陵に位置し、周辺は里山の薪炭林として利用されてきた二次林である。その丘陵地内にある溜め池のみどりヶ池に流れ込む小さな谷とその周囲が対象地域である。ここでは、地域住民やNPO・行政などが協働して保全活動を行い、成木とともに多数の実生が見られ、日本最大級の自生地であり、自然状態での更新が進むと期待されている。

このように、多度のイヌナシ自生地は、隔離分布する希少なイヌナシの自然状態での更新が期待される日本最大級の自生地として学術的価値が高い。



## 国崎のノット正月（くざきののっとしょんがつ）

種 別 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

所 在 地 鳥羽市国崎町

保 護 団 体 国崎町内会

選択年月日 平成23年3月9日（平成23年3月9日付文化庁長官通知）

特徴・評価 鳥羽市国崎町で毎年1月17日に行われる、正月神を藁舟に乗せて送る行事である。

国崎町の各家から一人ずつの女性が、「ツメの札」と呼ばれる木札・神酒・赤飯・ナマス等に乗せた白木の膳と、藁一束を持って前の浜に集まり、「ツメの札」と赤飯・ナマス・神酒を海に供える。その後、持ち寄った藁で長さ180センチほどの歳徳丸という舟を作り、火を付けて沖に流す。

正月神を藁で造った舟に乗せて送り出す点、各家から一人ずつ出る女性を中心となっ  
て行われる点で全国的にも類例の少ない正月行事である。



## 2 国登録有形文化財の登録

### 三瀬谷神社本殿（みせだにじんじゃほんでん）

員 数 1棟

構 造 木造平屋建・銅板葺・建築面積3.5㎡

所 在 地 多気郡大台町佐原439

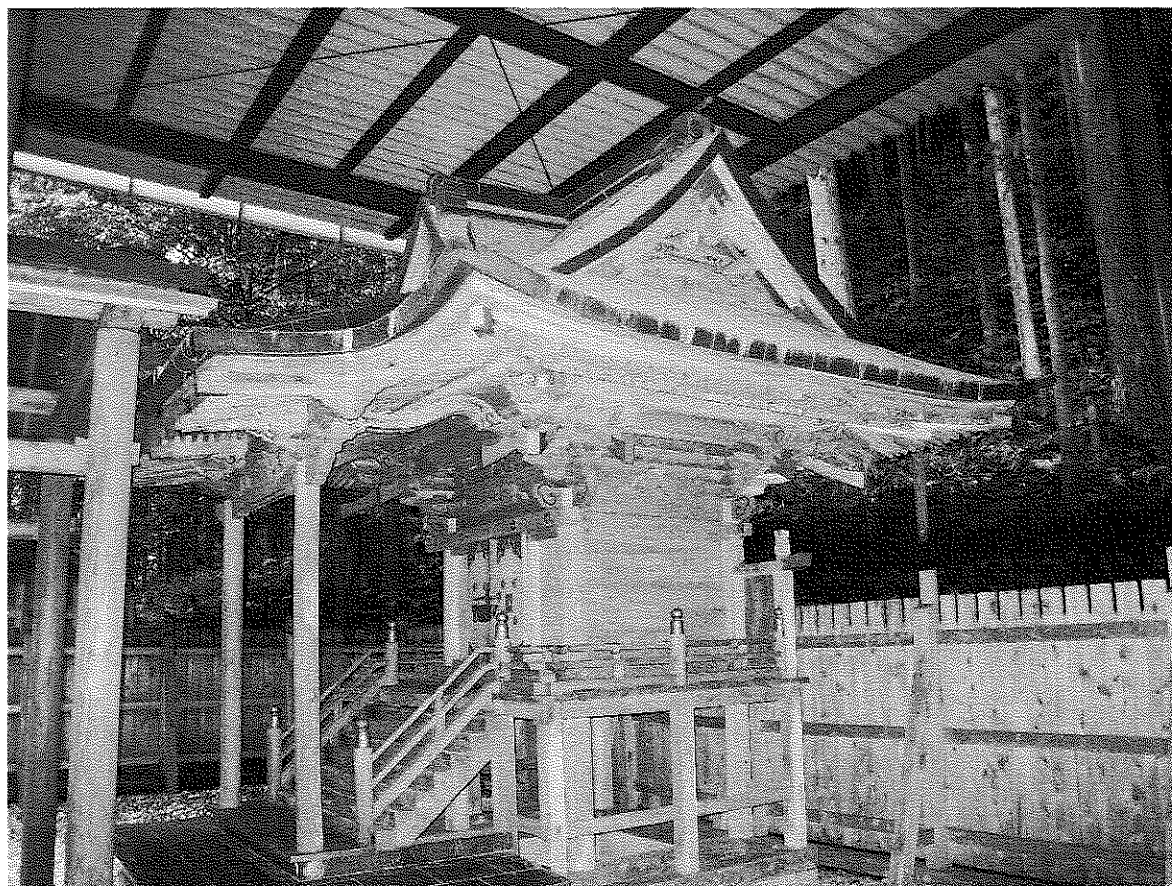
年 代 元禄3年（1690）／大正3年移築

登録基準 （二）造形の規範となっているもの

登録日 平成22年4月28日（平成22年5月20日付文部科学省告示第89号）

登録番号 24-0088

特徴・評価 東南に正面を向ける入母屋造りの社殿で、正面階段上には向拝が張り出している。三方の縁には擬宝珠が付いた欄干があり、正面には木製の階段が付いている。軒が深く気品のある社殿で、大台町大字菅にあった素賀神社本殿を移築したと伝えられている。



## 田中家住宅主屋（たなかけじゅうたくしゅおく）

員 数 1棟

構 造 木造平屋建・茅葺・建築面積110㎡

所 在 地 津市美杉町三多気

年 代 江戸後期

登録基準 (一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの

登録日 平成22年9月10日（平成22年9月10日付文部科学省告示第144号）

登録番号 24-0089

特徴・評価 南向き斜面の敷地中央に南面して建つ、桁行13m、梁間8.3mの木造平屋建、入母屋造茅葺の民家である。東側に土間、西側に座敷を配する伊賀地方南部からその周辺に分布した前座敷型三間取を基本とする建物である。すぐそばに国の名勝「三多気の桜」があり、この桜並木とともに豊かな山村景観を形成している。



## 浜松茂玄関棟（はままつもげんかんとう）

員 数 1 棟

構 造 木造 2 階建・瓦葺・建築面積152㎡

所 在 地 四日市市高砂町

年 代 明治期

登 録 基 準 (一) 国土の歴史的景観に寄与するもの

登 録 日 平成22年 9 月10日（平成22年 9 月10日付文部科学省告示第144号）

登 録 番 号 24-0090

特徴・評価 東洋紡績の創業者、伊藤伝七の別邸を利用した明治39年開業の老舗料亭である。玄関棟は木造 2 階建て、入母屋造及び寄棟造などとし、棧瓦葺の建物である。東面に大型の車寄を配し、北側 1 階に調理室や帳場、2 階に海を臨む座敷を配置している。さつき棟と合わせ、明治から昭和にかけての和風建築の特徴をよく示し、また四日市港の繁栄を伝える建物である。



## 浜松茂さつき棟（はままつもさつきとう）

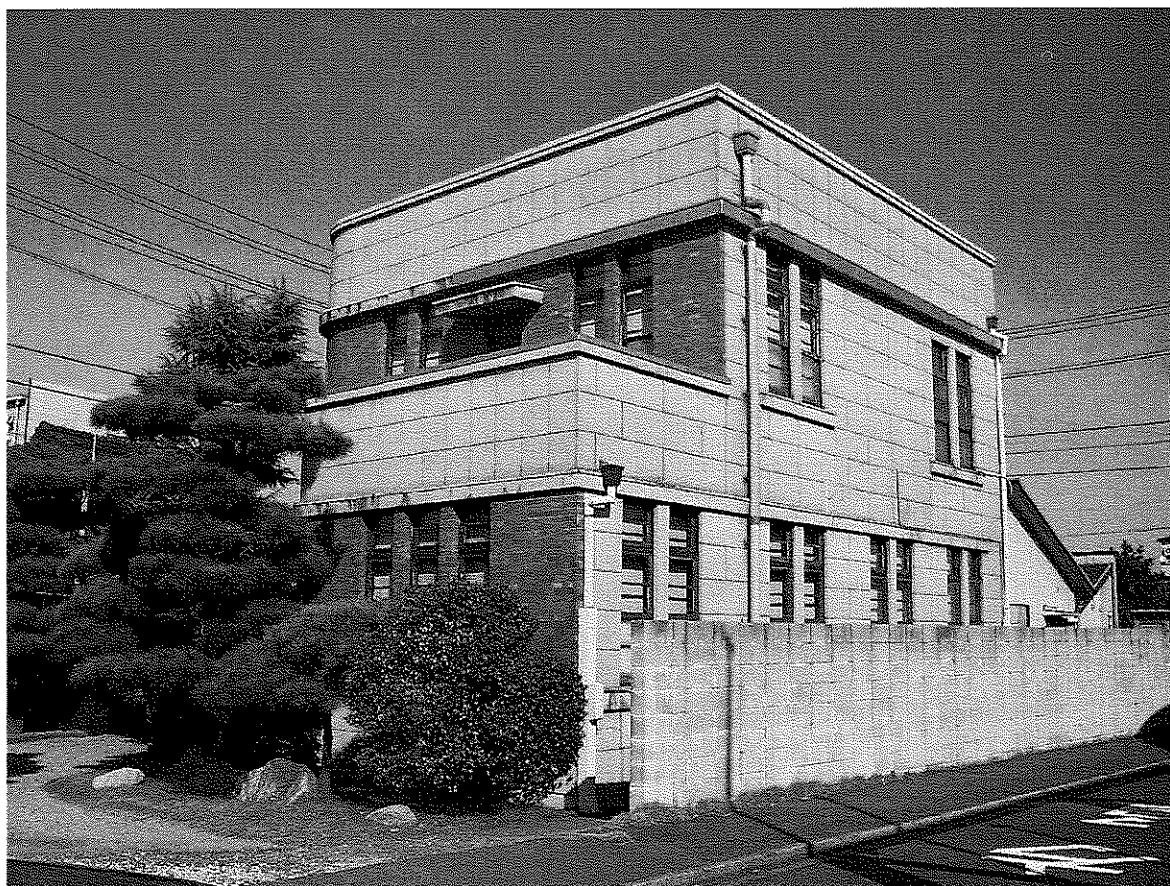
員 数 1 棟  
構 造 木造平屋建・瓦葺・建築面積56㎡  
所 在 地 四日市市高砂町  
年 代 昭和30年頃  
登 録 基 準 (二) 造形の規範となっているもの  
登 録 日 平成22年9月10日（平成22年9月10日付文部科学省告示第144号）  
登 録 番 号 24-0091  
特 徴 ・ 評 価

東洋紡績の創業者、伊藤伝七の別邸を利用した明治39年開業の老舗料亭である。さつき棟は敷地の北西隅に建ち、十畳と六畳の2間が縁を介して南の庭園に面する木造平屋建で開放的なつくりの離れ座敷である。十畳の座敷では琵琶棚付のトコやトコ脇、付書院を設け、長押に半割丸太を用いるなど、瀟洒な意匠である。玄関棟とあわせ、明治から昭和にかけての和風建築の特徴をよく示し、また四日市港の繁栄を伝える建物である。



## アミカン本社事務所（あみかんほんしゃじむしょ）

- 員 数 1 棟  
構 造 木骨コンクリート造 2 階建・塔屋付・建築面積100㎡  
所 在 地 四日市市富田浜元町  
年 代 昭和前期  
登 録 基 準 (一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの  
登 録 日 平成22年 9 月10日（平成22年 9 月10日付文部科学省告示第144号）  
登 録 番 号 24-0092  
特 徴 ・ 評 価 寛政 6（1794）年創業で漁網の生産と販売を行っている漁網会社の社屋である。旧東海道に面する敷地に建ち、事務所は木骨コンクリート造塔屋付の建物である。南西隅を四分一円弧とし、スクラッチタイル貼りや縦長窓を連続的に配置することで変化のある外観となっている。



## アミカン本社正門（あみかんほんしゃせいもん）

員 数 1基

構 造 コンクリート造・間口2.7m

所 在 地 四日市市富田浜元町

年 代 昭和前期

登録基準 (一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの

登録日 平成22年9月10日（平成22年9月10日付文部科学省告示第144号）

登録番号 24-0093

特徴・評価 寛政6（1794）年創業で漁網の生産と販売を行っている漁網会社の正門である。旧東海道に面する敷地の西側中央南寄りに建ち、南北に煉瓦塀を延ばす。コンクリート造の門柱は高さ3.1mで頂部をドーム状につくりボーダーをまわす。かつては左右に脇門を開いていたが南側は煉瓦で閉ざされている。門扉は後世に取り替えられている。





## アミカン本社煉瓦塀（あみかんほんしゃれんがべい）

- 員 数 1基  
構 造 煉瓦造・総延長46m  
所 在 地 四日市市富田浜元町  
年 代 昭和前期  
登 録 基 準 (一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの  
登 録 日 平成22年9月10日（平成22年9月10日付文部科学省告示第144号）  
登 録 番 号 24-0094  
特 徴 ・ 評 価 寛政6（1794）年創業で漁網の生産と販売を行っている漁網会社の煉瓦塀である。旧東海道に面する敷地の西側に建ち、事務所正面に構えた正門の両側に折れ曲がりに延びる。2.2mごとに柱型を現しており、各間を長手積煉瓦で充たし、頂部は柱と同幅の臥梁形に積んだ煉瓦で繋いでいる。重厚な外観で、近代産業による発展の面影を伝える。



## 赤井家住宅主屋（あかいけじゅうたくしゅおく）

- 員 数 1棟  
構 造 木造平屋建・瓦葺・建築面積160㎡  
所 在 地 伊賀市上野忍町  
年 代 明治中期  
登 録 基 準 (一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの  
登 録 日 平成22年9月10日（平成22年9月10日付文部科学省告示第144号）  
登 録 番 号 24-0095  
特 徴 ・ 評 価 近世、上野城下で肝煎目付などを務めた赤井家の住宅である。近世には中級武士の屋敷が建ち並んだ地域に所在する。主屋は角地に占める敷地の中ほどに東面して建ち、木造平屋建、切妻造棧瓦葺で下屋をまわす。正面北寄りに構える玄関の南に台所、北に六疊を突出させ、後方を座敷とする。武家住宅であった前身建物の間取を継承した建物である。



## 赤井家住宅茶室（あかいけじゅうたくちゃしつ）

- 員 数 1棟  
構 造 木造平屋建・銅板葺・建築面積12㎡  
所 在 地 伊賀市上野忍町  
年 代 昭和前期  
登 録 基 準 (二)造形の規範となっているもの  
登 録 日 平成22年9月10日（平成22年9月10日付文部科学省告示第144号）  
登 録 番 号 24-0096  
特 徴 ・ 評 価 主屋の東南、土蔵との間に建ち、木造平屋建、切妻造銅板葺の建物である。間取は三畳で庭に面した西面を貴人口として軒を差し出している。南面には円窓を穿ち、その東側に煤竹をトコ柱とするトコを備える。トコ脇に茶道口があり、一畳大の板間の水屋を備える。



## 赤井家住宅土蔵（あかいけじゅうたくどぞう）

員 数 1 棟

構 造 土蔵造 2 階建・瓦葺・建築面積22㎡

所 在 地 伊賀市上野忍町

年 代 明治28年

登 録 基 準 (一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの

登 録 日 平成22年 9 月10日（平成22年 9 月10日付文部科学省告示第144号）

登 録 番 号 24-0097

特徴・評価 屋敷地内の東南角地に建ち、桁行5.8m、梁間3.8mの土蔵造 2 階建、切妻造棧瓦葺の建物である。切石積基礎に建ち、腰高に豎板を張って、上部は白色の鉄板仮張とする。1 階西面に出入口を設け、額縁を漆喰塗とし、絵様持送り付の庇をかけるなど丁寧なつくりである。



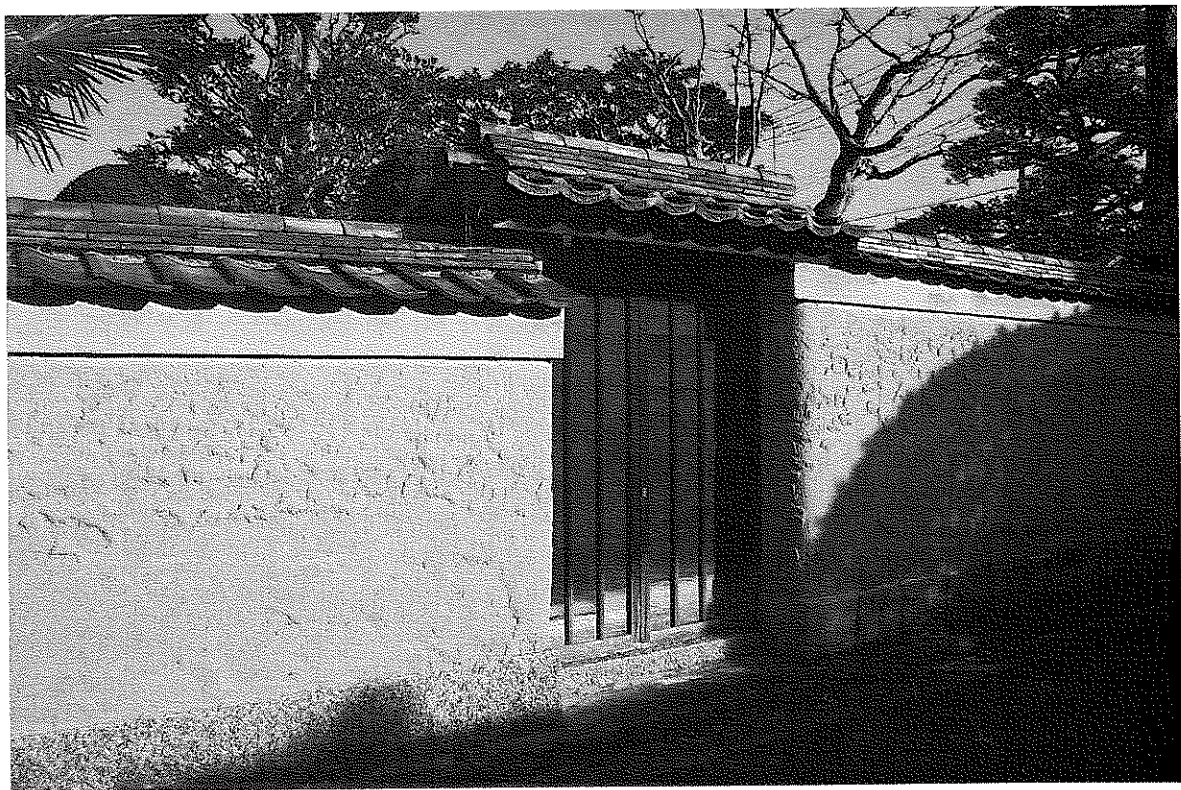
## 赤井家住宅長屋門（あかいけじゅうたくながやもん）

- 員 数 1棟  
構 造 木造平屋建・瓦葺・建築面積68㎡  
所 在 地 伊賀市上野忍町  
年 代 江戸末期  
登 録 基 準 (一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの  
登 録 日 平成22年9月10日（平成22年9月10日付文部科学省告示第144号）  
登 録 番 号 24-0098  
特 徴 ・ 評 価 表通りに東面して建ち、桁行15m、梁間4.0mの木造平屋建、入母屋造棧瓦葺の長屋門である。南・西面に下屋を張り出す。北寄りに門口を構え、正面は籠子下見板張で、上部は漆喰塗である。南端には出格子窓をつけている。重厚な外観であり、上野城下で数少ない武家住宅の遺構である。



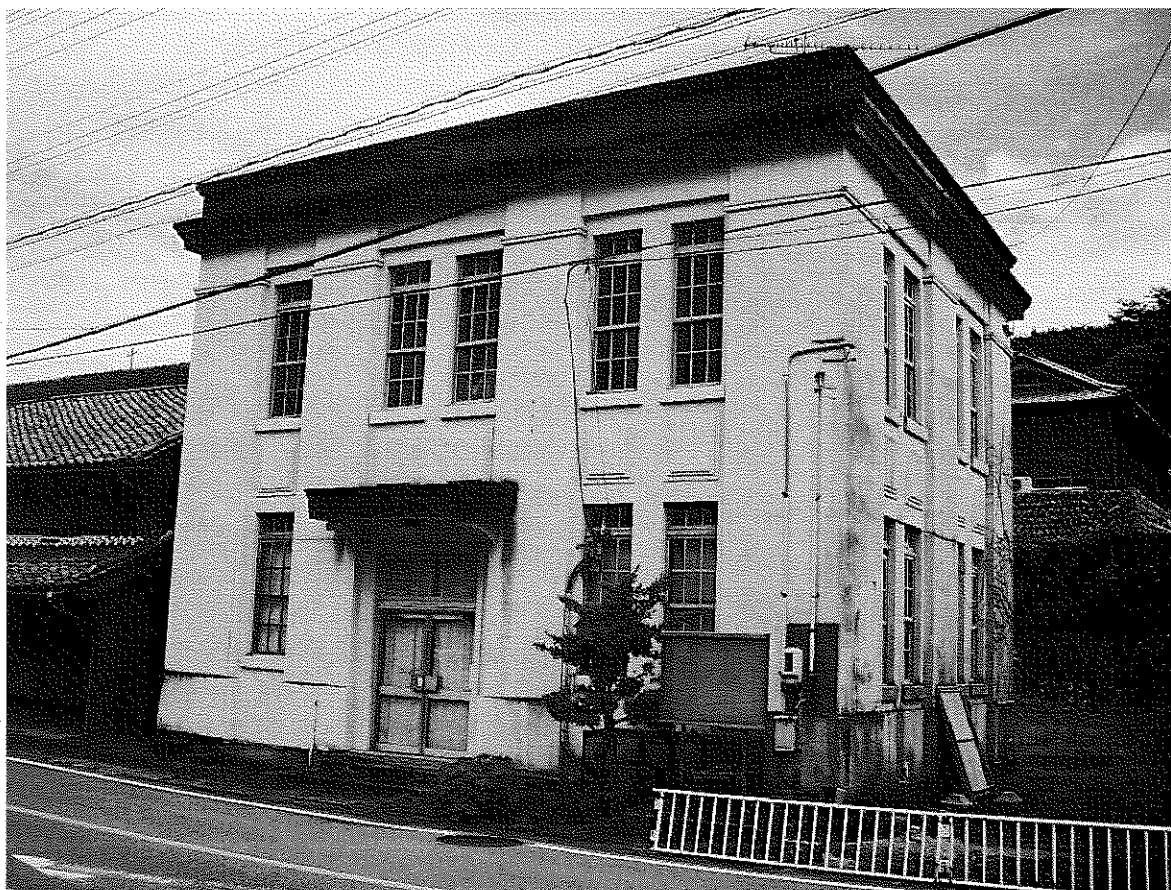
## 赤井家住宅土塀（あかいけじゅうたくどべい）

- 員 数 1棟  
構 造 土塀・瓦葺・総延長55m・木戸門付  
所 在 地 伊賀市上野忍町  
年 代 明治28年／昭和32年改修  
登 録 基 準 (一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの  
登 録 日 平成22年9月10日（平成22年9月10日付文部科学省告示第144号）  
登 録 番 号 24-0099  
特 徴 ・ 評 価 敷地東面の長屋門から北側と、長屋門と土蔵の間、敷地南面の土蔵西側に建つ。総延長は54m、高さは2m内外で、棧瓦葺である。南方土塀の中ほどには門を構える。切石積基礎上に築かれ、壁面は中塗り仕上げとする。もと武家町らしい歴史的な景観を形成している。



## 旧飯南郵便局局舎（きゅういなんゆうびんきょくきょくしゃ）

- 員 数 1棟  
構 造 鉄筋コンクリート造2階建・建築面積80㎡・塔屋付  
所 在 地 松阪市飯南町横野字殿垣内  
年 代 昭和7年  
登 録 基 準 (一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの  
登 録 日 平成23年1月26日（平成23年1月26日付文部科学省告示第2号）  
登 録 番 号 24-0100  
特 徴 ・ 評 価 昭和7年に建てられた郵便局の局舎である。柿野郵便局として開設され、平成元年まで利用されていた。和歌山街道に面して建ち、2連の縦長上下窓を開け、局舎として簡素で堅実な外観を構成している。飯南地域の中でもいち早く建てられた鉄筋コンクリート造の建物であり、この地域の近代化の歩みを示すものである。



## 桑名市石取会館（旧桑名信用金庫京町支店）（くわなしいしどりかいかん）

員 数 1 棟  
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建・建築面積168㎡  
所 在 地 桑名市京町  
年 代 大正14年／平成3年改修  
登 録 基 準 (一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの  
登 録 日 平成23年1月26日（平成23年1月26日付文部科学省告示第2号）  
登 録 番 号 24-0101  
特 徴 ・ 評 価

大正14年に四日市銀行桑名支店として建てられ、昭和10年から桑名信用金庫本店、京町支店として使用されていた。支店閉鎖後、平成3年に桑名市に寄贈され、平成4年から石取会館として国の無形民俗文化財（平成19年指定）である石取祭を紹介する施設として利用されている。建物は東南角を曲面とし、縦長の窓を2層開け、通りに面した南・東面の外壁には簡潔で幾何学的な柱型を現しており、陰影の深い意匠を見せている。鉄筋コンクリート造の建物としては桑名市の蔵前祭車庫（平成20年に登録有形文化財に登録）と並び県内でも最も早期に属するものである。





### 3 三重県文化財保護審議会

#### 三重県文化財保護審議会委員

氏名	担当分野	所属
菅原 洋一	建造物	三重大学教授
島田 敏男	建造物	奈良文化財研究所建造物研究室長
狩野 博幸	絵画・工芸	同志社大学教授
日高 薫	絵画・工芸	国立歴史民俗博物館准教授
関根 俊一	絵画・工芸	帝塚山大学教授
水野 敬三郎	彫刻	東京芸術大学名誉教授
熊田 由美子	彫刻	愛知県立公立大学法人芸術大学教授
赤川 一博	彫刻	奈良県立美術館学芸課長
稲本 紀昭	文書	元京都女子大学教授
高倉 一紀	文書	皇學館大学教授
植木 行宣	民俗	元京都学園大学教授
櫻井 治男	民俗	皇學館大学教授
千田 嘉博	史跡・考古	奈良大学教授
坂井 秀弥	史跡・考古	奈良大学教授
森 勇一	地質鉱物	金城学院大学講師
伊藤 進一郎	植物	三重大学教授
藤井 伸二	植物	人間環境大学准教授
名越 誠	動物	奈良女子大学名誉教授

#### 第1回審議会

期 日 平成22年10月29日  
 場 所 三重県教育委員会教育委員室（津市広明町13番地）  
 内 容 諮問 三重県指定文化財の指定等に関する諮問  
 審議 平成22年度 三重県指定候補文化財の選考及び調査について  
 報告 平成22年度文化財保護事業について  
 国指定等文化財の指定等について  
 国・県指定文化財の現状変更等について

#### 第2回審議会

期 日 平成23年1月13日  
 場 所 三重県教育委員会教育委員室（津市広明町13番地）  
 内 容 報告 三重県無形民俗文化財猪名部神社上げ馬神事、多度大社上げ馬神事について  
 建議 三重県無形民俗文化財猪名部神社上げ馬神事、多度大社上げ馬神事について

#### 第3回審議会

期 日 平成23年2月17日  
 場 所 三重県教育委員会教育委員室（津市広明町13番地）  
 内 容 審議 平成22年度三重県指定候補文化財の調査報告について  
 平成22年度三重県指定文化財の指定等について  
 答申 三重県指定文化財の指定等に関する答申  
 報告 国指定等文化財の指定等について  
 国・県指定文化財の現状変更等について

## 4 三重県指定文化財の指定等

### (1) 三重県指定文化財の指定

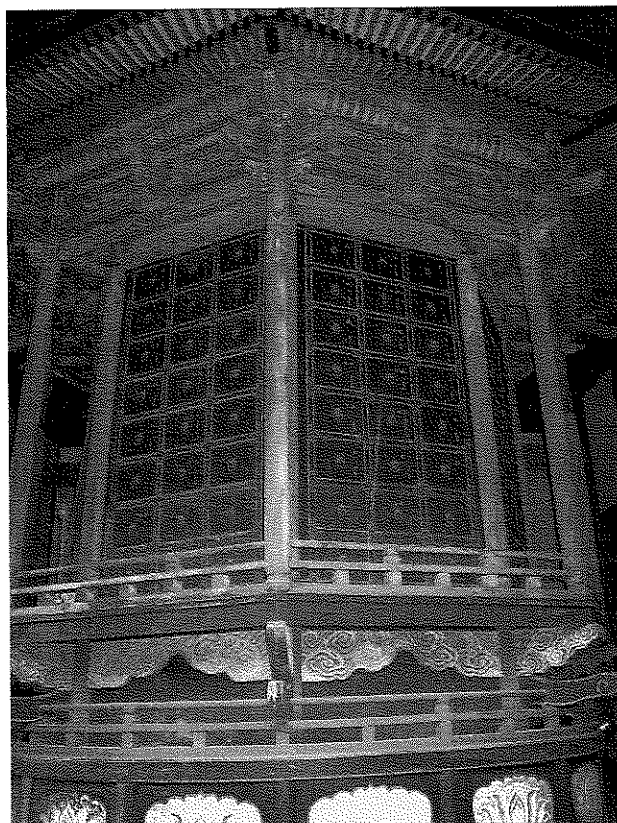
#### 廣禪寺輪蔵（こうぜんじりんぞう）

種別	有形文化財（建造物）
員数	1基
時代	江戸時代（享保4年頃）
所在地	伊賀市上野徳居町3260
所有者	宗教法人 廣禪寺
告示	教育公報第1626号 三重県教育委員会告示第8号
指定日	平成23年3月10日
指定番号	建 47
概要	廣禪寺は、旧上野城下町内に藤堂高虎の家臣渡辺勤兵衛が大壇那となり開基された曹洞宗の寺院である。

輪蔵は、一切経を収納する書架として、山門を入れて左手の転輪蔵（経蔵）の中に設置されている。構造は基壇より上を木製軸で固定し、軸と地面の間を鉄製の軸と軸受けで支え回転する。円形基壇の側面を16分割し、各間の格狭間内に蓮の浮き彫りを施す。基壇上には八角形平面となるように束を立て、雲紋を施した持ち送りを挿して、軸を受け、持ち送りの下にも独特な意匠の絵様肘木を飾る。束間は板壁で、上部に波紋彫刻を飾る。

側柱は、礎盤の上に立ち、粽付円柱とする。柱上端を虹梁型頭貫で繋ぎ、同高で入側柱との繫梁を納め、柱上では3方向に木鼻が突出する。柱上には、尾垂木付の変則的な和様の二手先組物を組み、軒蛇腹支輪を備える。柱間の頭貫上の詰組は、尾垂木のない二手先組物を置く。茨を持つ尾垂木、絵様肘木、拳鼻等、特徴ある造形となっている。入側柱は円柱で切目長押・内法長押・天井長押（台輪）で固め、内法内に、左右3列、上下8段に引き出しを配し、ここに一切経を収納する。軒は、二軒扇垂木とし、全体として和様の要素と禅宗様の要素が混在したつくりとなっている。

正面に向かって左隣面、最下段右端の引き出しの側面外側に、「西国順禮供養 為二世安楽経箱二箱 施主才良村権七内 享保四己亥年五月廿四日 一箱料銀子八匁」との墨書がある。様式的に、当輪蔵は、この頃の製作とみて問題はない。廣禪寺輪蔵は、県内最古の輪蔵であるとともに、特徴豊かな上質の輪蔵であり、三重県指定文化財としての価値が高い。

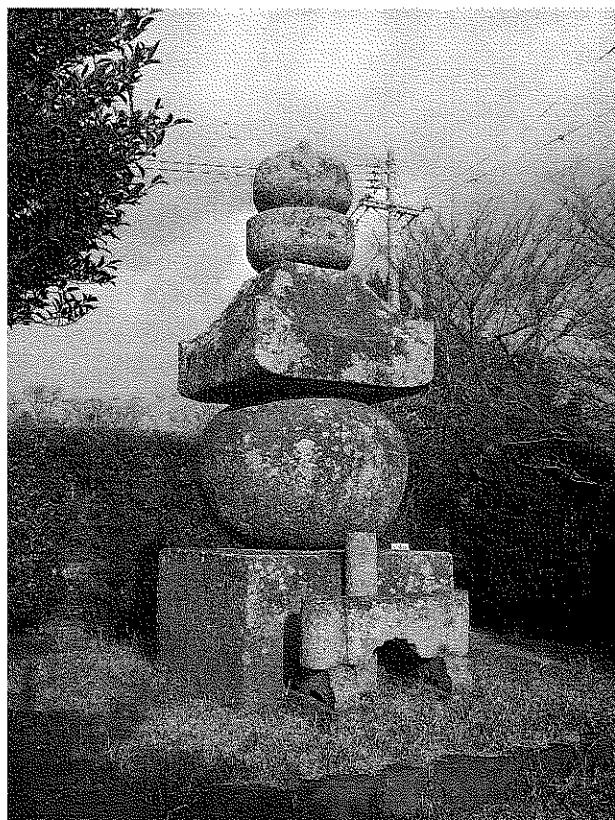


## 大五輪の五輪塔（おおごりのごりんとう）

種別	有形文化財（建造物）
員数	1基
時代	南北朝時代～室町時代
所在地	伊勢市楠部町字大五輪115
所有者	個人
告示	教育公報第1626号 三重県教育委員会告示第8号
指定日	平成23年3月10日
指定番号	建 48

概要 大五輪の五輪塔は、高さ約340cmの極めて大型の五輪塔である。石材は花崗岩で地輪は上下幅に差があり、側面形はやや台形状である。水輪の側面カーブは、やや直線的となっており、新しい様相を見せている。火輪は軒の厚さが26cmで、やや厚い傾向がある。空風輪は空輪・風輪共に直線的なラインが多い。さらに風輪部分では、場所によっては側面のカーブが内に凹む箇所が見られる。

総高は340cmで西大寺奥ノ院の叡尊廟五輪塔（以下、叡尊塔）と近似する。これは本塔の造立にあたり叡尊塔を採寸し、総高を模したものである可能性がある。しかし、両塔の細部表現は多くの部位に違いがあり、本塔は叡尊塔と比較するとかなり簡略化の進んだ形をしている。中世の五輪塔としては県内最大のものであり、保存状況も良好である。県内の中世史を考えるうえで貴重な資料である。



(2) 三重県指定文化財の解除

賓日館

種 別 有形文化財（建造物）  
員 数 3棟  
時 代 近代  
所 在 地 伊勢市二見町茶屋566-2  
所 有 者 伊勢市  
告 示 教育公報第1615号  
三重県教育委員会告示第25号  
解 除 日 平成22年6月29日  
理 由 国重要文化財の指定  
(平成22年6月29日付文部科学  
省告示第113号)

木造地藏菩薩立像

種 別 有形文化財（彫刻）  
員 数 一軀  
時 代 鎌倉時代  
所 在 地 伊勢市朝熊町  
所 有 者 宗教法人 金剛證寺  
告 示 教育公報第1615号  
三重県教育委員会告示第25号  
解 除 日 平成22年6月29日  
理 由 国重要文化財の指定  
(平成22年6月29日付文部科学  
省告示第98号)

俳聖殿

種 別 有形文化財（建造物）  
員 数 一棟  
時 代 近代  
所 在 地 伊賀市上野丸之内117-4  
所 有 者 伊賀市  
告 示 教育公報第1626号  
三重県教育委員会告示第10号  
解 除 日 平成22年12月24日  
理 由 国重要文化財の指定  
(平成22年12月24日付文部科学  
省告示第170号)

多度のイヌナシ自生地

種 別 天然記念物  
所 在 地 桑名市多度町多度字八壺谷1740-  
1の一部  
所 有 者 個人  
告 示 教育公報第1615号  
三重県教育委員会告示第26号  
解 除 日 平成22年8月5日  
理 由 国天然記念物の指定  
(平成22年8月5日付文部科学  
省告示第125号)

伊賀町のジンダイドジョウ

種 別 天然記念物  
所 在 地 伊賀市新堂  
管 理 団 体 伊賀市  
告 示 教育公報第1626号  
三重県教育委員会告示第9号  
解 除 日 平成23年3月10日  
理 由 絶滅

花垣の八重櫻

種 別 天然記念物  
所 在 地 伊賀市予野141  
所 有 者 花垣神社  
告 示 教育公報第1626号  
三重県教育委員会告示第9号  
解 除 日 平成23年3月10日  
理 由 枯死

霧生ノ熊谷草群落

種 別 天然記念物  
所 在 地 伊賀市霧生字樋口2274-21  
所 有 者 個人  
告 示 教育公報第1626号  
三重県教育委員会告示第9号  
解 除 日 平成23年3月10日  
理 由 群落の消滅

## 5 市町指定文化財の指定

市町名	種別	名称	員数	所在地	所有者・ 管理者・ 技術保持者	指定日
四日市市	無形民俗	富田の石取祭 (北村石取祭・茂福 石取祭・富田西町石 取祭)		四日市市南富田町 四日市市茂福町 四日市市富田3丁目	若宮八幡神社北村 石取り祭車保存会 茂福石取祭車保存会 富田西町連合自治会	H23. 1. 13
鈴鹿市	有形 (彫刻)	千手観音立像	1 軀	鈴鹿市飯野寺家町	飯野寺家町自 治会	H22. 8. 19
	有形 (歴史資料)	庄野宿関係文書・高 札等	1,522点	鈴鹿市神戸一丁目	鈴鹿市	
松阪市	有形 (建造物)	原田二郎旧宅	1 棟	松阪市殿町	松阪市	H22. 3. 29
	有形 (古文書)	一志村文禄三年検地帳 附 勝野兵衛書状写・ 矢野清観覚書写	1 点 附 2 点	松阪市嬉野一志町	個人	
	有形 (古文書)	多賀家文書 附 文書箱等	7,520点 附 10点	松阪市嬉野堀之内町	個人	
	有形文化財 (絵画)	絹本著色 虱 宇田菘邨筆		松阪市殿町	松阪市	H23. 3. 24
	有形文化財 (絵画)	絹本著色 梁 宇田菘邨筆		松阪市本町	松阪市	
	有形文化財 (歴史資料)	黒部儀兵衛家紺屋関 係資料		松阪市法田町	個人	
紀宝町	史跡	成川屋佐兵衛の墓		紀宝町成川	龍光寺	H22. 6. 1
	史跡	横手地藏尊		紀宝町井田	個人	
	史跡	徳本上人名号碑と恵 比寿像と灯籠	5	紀宝町井田	紀宝町	
	無形民俗 文化財	平尾井踊り		紀宝町平尾井	紀宝町平尾井 区	
	名勝	飛雪ノ滝		紀宝町浅里	国土交通省	
熊野市	有形民俗	若山家所蔵 熊野街道善根宿納札	5,305点	熊野市大泊町	個人	H22. 8. 19
伊賀市	有形文化財 (歴史資料)	鉄錆地六十二間筋兜 面頬付		伊賀市上野丸之内	(財)伊賀文 化産業協会	H23. 2. 24
	有形民俗	紅葉屋参宮講看板		伊賀市伊勢路	個人	
	文化財	大和屋参宮講看板		伊賀市伊勢路	個人	
	天然記念物	西念寺のカヤ		伊賀市島ヶ原	個人	

## II 県実施の調査・保護事業

### 1 特別天然記念物カモシカ（S30. 2.15指定）調査（国2/3 1,860千円補助・県 930千円）

#### (1) 紀伊山地カモシカ保護地域通常調査

##### ① 調査目的

おおむね5年に一度実施されるカモシカ特別調査を補完のため、特別調査の実施されない年度に、カモシカの生息状況や生息環境の年次変化を把握するための調査である。平成22年度は特別調査の行われぬ、紀伊山地保護地域及びその周辺地域で実施した。

##### ② 調査体制

調査主体 三重県教育委員会（幹事県）・奈良県教育委員会

紀伊山地カモシカ保護地域通常調査は、業務の効率化等を図るため、関係2県の中から幹事県を決め、幹事県が調査委託に関する事務及び指導委員会議の運営に関する事務を一括して実施する。幹事県は三重県。

調査指導 富田 靖男（元三重県立博物館長・指導委員会議会長）

武田 明正（元三重大学生物資源学部教授）

現地調査 三重県文化財保護指導委員（カモシカ調査員）

今西 隆次・河合 信行（松阪市）

岡本 宏之・水谷 哲也（大台町）

小倉 保則・宮坂幸治郎（紀北町紀伊長島区）

大西 克明・玉津 直人（紀北町海山区）

吉澤 映之・吉澤 重之（尾鷲市）

##### ③ 紀伊山地カモシカ通常調査連絡会議

開催日 平成22年8月24日（火）

場所 大台町役場 会議室

出席者 富田 靖男、三重県文化財保護指導委員（カモシカ調査員）

関係市町教育委員会・県教育委員会

#### (2) 鈴鹿山地カモシカ保護地域通常調査

##### ① 調査目的

おおむね5年に一度実施されるカモシカ特別調査を補完のため、特別調査の実施されない年度に、カモシカの生息状況や生息環境の年次変化を把握するための調査である。平成22年度は特別調査の行われぬ、鈴鹿山地保護地域及びその周辺地域で実施した。

##### ② 調査体制

調査主体 三重県教育委員会

調査指導 富田 靖男（元三重県立博物館長・指導委員会議会長）

武田 明正（元三重大学生物資源学部教授）

現地調査 三重県文化財保護指導委員（カモシカ調査員）

坂倉 義行・近藤 恒三（いなべ市藤原町）

小森 良一・出口 幸雄（いなべ市北勢町）

岩花 正己・山下 久雄（いなべ市大安町）

満田 学・内山 潔（菰野町）

棚瀬 順正・棚瀬賢一郎（四日市市）

前田 有・前田 伸士（鈴鹿市）

③ 鈴鹿山地カモシカ通常調査連絡会議

開催日 平成22年8月26日(木)  
場所 菰野町役場 4F会議室  
出席者 三重県文化財保護指導委員(カモシカ調査員)  
関係市町教育委員会・県教育委員会

(3) 特別天然記念物カモシカ保護指導委員並びに保護行政担当者会議

目的 特別天然記念物カモシカの保護地域内およびその周辺における生息状況・個体群の動態、食害状況等について情報収集を行うとともに、今後の施策、食害対策等について協議する。

主催 文化庁・奈良県教育委員会  
期日 平成22年10月7日(木)～8日(金)  
会場 奈良県立橿原考古学研究所、橿原オークホテル(紀伊山地カモシカ保護地域)  
参加者 冨田靖男・武田明正(三重県指導委員) 西村和也(県教育委員会事務局)

2 特別天然記念物オオサンショウウオ(S27.3.29指定)調査〔国 5,133千円〕

(1) 緊急雇用創出事業 オオサンショウウオ生息環境調査

① 調査目的

特別天然記念物オオサンショウウオについては、平成11・12年度に緊急調査、平成14年度に保護管理指針策定を行ったが、すでに調査から10年が経過した。木津川水系河川において、川幅、気温、植生などの河川環境調査を委託して実施した。

② 調査期間

平成22年6月18日～平成23年1月31日

③ 調査体制

委託先：株式会社 安全警備 調査員8名(のべ450人日)

3 ふるさと文化再興事業

(1) 目的

文化庁からの委嘱を受けて、ふるさと文化再興事業伝統文化総合支援研究委員会の指導により策定したふるさと文化再興マスタープランのもと、拠点内地域と分野別地域において、地域における伝統文化の保存・活用のため、伝承用映像記録作成や祭礼用具等修理などの総合的な支援・推進方策の研究を実施する。

ふるさと文化再興事業伝統文化総合支援研究委員

植木 行宣(三重県文化財保護審議会委員・元京都学園大学教授)  
岡田 照子(三重県文化財保護審議会委員・岐阜女子大学名誉教授)  
東條 寛(関西大学大学院講師・四日市市立図書館副館長)  
鬼頭 秀明(愛知県文化財保護審議会委員)  
櫻井 治男(三重県文化財保護審議会委員・皇學館大学教授)  
野村 史隆(鳥羽市教育委員会文化財専門員・元海の博物館学芸員)  
藤原 寛(元三重県立博物館長)

(2) 事業内容

① 拠点内地域(委嘱先：伊賀中勢地域伝統文化伝承事業実行委員会)

・日置神社の神事踊 映像記録の作成

委嘱金額 2,912,772円  
 制作会社 株式会社 CNインターボイス  
 編集委員 植木 行宣 (三重県文化財保護審議会委員・元京都学園大学教授)  
 青盛 透 (京都学園大学准教授)  
 長谷川嘉和 (同志社大学委託講師・民俗芸能学会評議員)

・大江の羯鼓踊 映像記録の作成

委嘱金額 3,650,015円  
 制作会社 有限会社 海プロダクション  
 編集委員 植木 行宣 (三重県文化財保護審議会委員・元京都学園大学教授)  
 青盛 透 (京都学園大学准教授)  
 長谷川嘉和 (同志社大学委託講師・民俗芸能学会評議員)

② 分野別 (委嘱先：三重県ふるさと文化再興事業連絡協議会)

・御頭神事 映像記録の作成

委嘱金額 5,115,925円  
 制作会社 株式会社 CNインターボイス  
 編集委員 植木 行宣 (三重県文化財保護審議会委員・元京都学園大学教授)  
 櫻井 治男 (三重県文化財保護審議会委員・皇學館大學教授)  
 久志本まどか (民俗研究者)  
 曾野 洋 (旧袴屋、郷土史家)

#### 4 埋蔵文化財緊急発掘調査等

(1) 斎宮跡発掘調査 [国1/2 10,494千円・県 10,494千円]

国史跡斎宮跡解明のために、計884㎡の計画調査を実施した。史跡東部の方格地割中枢部と考えられる柳原区画とその周辺部の実態を解明するための調査である。

次数	地区	面積㎡	現地調査期間	主要遺構・遺物
167	柳原地区	537	H22. 5. 17~ H22. 9. 9	奈良時代末期から平安時代の掘立柱建物、土坑、井戸など。土師器、須恵器、緑釉陶器、灰釉陶器、金属製品など。
168	柳原地区	239	H22. 7. 20~ H22. 8. 30	平安時代の区画道路、掘立柱建物、土坑など。土師器、須恵器、緑釉陶器、灰釉陶器など。
169	牛葉西地区	71	H22. 9. 27~ H22. 10. 25	平安時代の溝、ピット。
171	牛葉東地区	37	H22. 6. 24~ H22. 11. 18	平安時代の掘立柱建物、溝。土師器、緑釉陶器、灰釉陶器など。
計		884		

(2) 県営ほ場整備事業地内遺跡発掘調査

[農水商工部執行委任調査・埋蔵文化財センター 総事業費6,162千円うち農家負担分954千円]

国1/2 477千円・県 477千円]

農業基盤整備に伴う埋蔵文化財発掘調査費のうち、農家負担分補助事業。



(農業基盤整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査)

遺跡名	所在地	原因	期間	面積 (㎡)	主要遺構・遺物
寺田遺跡・ 田丸道遺跡・ 塚田古墳	度会郡玉城町 佐田・妙法寺	担い手育成整 備事業	H22.10.5～ H23.2.20	1,305	古墳・溝・川跡・堰・ 竪穴住居跡など 弥生土器・土師器・須 恵器・灰釉陶器・緑釉 陶器・木製品
川方城ノ越遺跡・ 川方川原遺跡	津市久居川方 町・牧町	担い手育成整 備事業			報告書作成
計				1,305	

(3) 埋蔵文化財出土遺物保存処理事業〔国1/2 1,250千円・県 1,250千円〕

伊勢市落合古墳群及び伊賀市近代古墳出土の鉄製品の内、劣化が進みつつあるものについて保存科学的処理を施し、その恒久保存を図る。

平成22年度は、甲冑、刀子、鏃等の保存処理を実施。(処理受託 財団法人元興寺文化財研究所)

## 5 伊勢路と海の民俗文化財調査事業

### (1) 石造物調査

世界遺産に登録されている東紀州地域と、それに隣接する南伊勢地域の石造物調査を行い、世界遺産登録地域に止まらず、伊勢神宮から熊野三山に至る熊野参詣道伊勢路の地域文化の豊かさを証明することを目的に、多気町、大台町、南伊勢町、伊勢市、度会町、玉城町を対象に、管内の石造物を悉皆調査を目的として実施した。事業費のうち、2,000千円については国庫補助事業「三重県石造物 史料調査」(国費補助率1/2)として実施し、石造物分布調査と打合せ会議を行った。

調査にあたっては、「石造物調査員」を任命して実施し、また、学術的な助言を得るため、学識経験者に助言を依頼した。

#### ① 調査員

〔多気町〕 遠 晴世、山添田鶴子、須崎節代、長森富次郎、御子暢秀、岡井幸代、西村尚士、長谷川源一、長谷川光宏、中北義郎、森本道生、西川昭雄、梅川節夫、森嶋みつ子、田畑佳子、笹木文夫、大久保久雄、小山秀司、中村 修、三井博之、池村健治、野村光雄、辻 洋史、川口 晃、長谷川順一、鈴木茂生

〔大台町〕 西村用蔵、梅本幸一、古戸 明、高松隆吉、河竹 守、巽 幸則、林 幸子、西村宣子

〔南伊勢町〕 幸田 壽、浅井正道、東 功、岡 与一、脇 佐武郎、加藤 實、加藤多喜男、岸井 明、中村英孝、村田喜久子、山本 篤、中世古祥道

〔伊勢市〕 浜口主一、石井昭郎、阿形次基、浜千代日出雄、辻村修一、福所邦彦、二見 進、西田恒郎、上田 實、中西 弘、上之郷勝、中瀬誠一、岡谷昌行、小林 薫

〔玉城町〕 田垣喜久雄、中世古俊治、岩崎 保

〔度会町〕 神森正春、真瀬瑞穂、北畠弘道、橋本文男、岡谷昌行、山下弥十郎、中津智美、馬瀬 章、世古武一

#### ② 助言者

塚本 明 (三重大学人文学部教授) \* 歴史学

野村史隆 (鳥羽市教育委員会) \* 民俗学

狭川真一 ((財)元興寺文化財研究所研究部長) \* 考古学

## (2) 海女習俗基礎調査事業

女性の素潜りによる海女漁は、世界中で日本と韓国（済州島）でのみ行われている貴重な民俗文化であり、未解明な部分の多い「海女習俗」に対して、学術的な民俗調査を実施し、基礎的な情報を把握することを目的として、海女漁の従事者がいる漁協支所を対象に、聞き取り調査や文書所在確認を実施した。当年度は国庫補助を受け、事業費のうち、1,644千円については国庫補助事業「海女習俗基礎調査 民俗文化財調査」（国費補助率1/2）として実施した。

事業に対して学術的な助言等を得るため、学識経験者に「調査指導委員」を依頼し、調査指導委員会議を開催した。また、現地調査にあたっては、「調査員」を依頼するとともに、現地調査を開始するにあたり合同調査会を実施した。

### ① 調査指導委員

植木 行宣（三重県文化財保護審議会委員）＊民俗学  
櫻井 治男（皇學館大学社会福祉学部教授）＊民俗学  
塚本 明（三重大学人文学部教授）＊歴史学  
野地 恒有（愛知教育大学教育学部教授）＊民俗学  
野村 史隆（鳥羽市教育委員会）＊民俗学  
吉村 利男（三重大学客員教授）＊歴史学

### ② 調査員

伊藤 芳正 崎川由美子 中井 裕子 山本恵美加 橋本 好史  
畑 純子 松村 春恵 山口 武徳 山下 良子 山本 実  
小川 真依 岡村 沙紀 鈴木 亜季 有瀧まりな 植月 愛  
服部 由貴 山本 千恵 湯澤 幸 大西 美紅 杉山亜有美  
酒井亜希子 馬場 景子 吉田 有里

### ③ 調査指導委員会議

#### 第1回

開催日時 平成22年5月28日（金） 13：30から  
開催場所 三重県教育委員会 第1会議室

#### 第2回

開催日時 平成22年7月7日（水） 13：30から  
開催場所 三重県庁 第106会議室

#### 第3回

開催日時 平成23年1月26日（水） 13：30から  
開催場所 三重県栄町庁舎 第62会議室

### ④ 合同調査会

#### 第1回

開催日時 平成22年8月19日（木） 13：00から  
開催場所 鳥羽市立図書館 2階研究室

#### 第2回

開催日時 平成22年8月20日（金） 17：30から  
開催場所 旧迫塩小学校

### Ⅲ 文化財補助事業等

#### 1 国庫補助事業

##### (1) 建造物保存修理事業

###### ① 諸戸家住宅主屋ほか5棟（財団法人 諸戸会・桑名市）〔H14.12.26指定〕

事業概要 平成22～31年度で、主屋ほか5棟について解体・半解体工事を行う。平成22年度は洋館の全解体格納及び広間の半解体を行った。

事業費 総事業費 2,200,000千円（平成22～31年度）  
平成22年度 78,000千円（国80% 66,300千円、県7.5% 5,850千円）

設計監理 公益財団法人文化財建造物保存技術協会

工事請負 株式会社 竹中工務店三重営業所

###### ② 旧松坂御城番長屋（合資会社苗秀社・松阪市）〔H16.12.10指定〕

事業概要 平成20～22年度の3ヵ年で、西棟・東棟の屋根葺替部分修理及び構造補強を行う。平成22年度は、東棟の屋根工事等を行った。

事業費 総事業費 282,900千円  
平成22年度 138,620千円（国50% 69,310千円、県10% 13,862千円）

設計管理 公益財団法人文化財建造物保存技術協会

工事請負 株式会社 中谷建設

##### (2) 建造物防災施設事業

専修寺御影堂及び如来堂並びに国宝西方指南抄（宗教法人専修寺・津市）〔S36.6.7指定ほか〕

事業概要 御影堂及び如来堂、国宝・重要文化財収蔵の宝物館の内部及びその周辺への防火・防犯設備の設置を行った。

事業費 44,871千円（国50% 22,417千円）

設計管理 株式会社 林廣伸建築事務所

工事請負 三機工業株式会社

##### (3) 重要伝統的建造物群保存事業

亀山市関宿重要伝統的建造物群保存地区（亀山市）〔S59.12.10選定〕

事業概要 亀山市関宿重要伝統的建造物群保存地区内における建造物等の保存のための修理工事。修理6件。（半解体修理4件、部分修理1件、屋根葺替1件）

事業費 30,176千円（国50% 15,000千円、県7% 1,400千円）

設計監理 亀山市文化部 まちなみ文化財室

工事請負 地元建築会社等

##### (4) 美術工芸品保存修理事業

###### ① 斎宮跡出土品（三重県）〔H21.7.10指定〕

事業概要 斎宮跡出土品について保存修理を行う。平成22年度は、土師器高杯・壺各1点、緑釉陶器1点、黒色土器壺1点、墨書土器1点、刻書土器1点、鉄製轡1点の解体、クリーニング、強化処置、再接合、復元、補彩を行った。

事業費 2,040千円（国50% 1,020千円）

修復受託 財団法人 元興寺文化財研究所

- ② 専修寺聖教（宗教法人専修寺・津市）〔H20. 7. 10指定〕
- 事業概要 専修寺聖教82点のうち2冊について修理を行う。平成22年度は「抄出」・「聞書」について調査、解装、本紙補修等を行った。
- 事業費 3,115千円（国50% 1,557千円）
- 修理請負 株式会社 松鶴堂

(5) 美術工芸品防災施設事業

木造十一面観音立像（宗教法人近長谷寺・多気町）〔T 2. 8. 20指定〕

- 事業概要 平成21～23年度までの3ヵ年で、保存管理計画を策定し、防火・防犯対策を施す。平成22年度は、防火・防犯施設の整備を行った。
- 事業費 24,192千円（国85% 20,559千円、県10% 2,418千円）
- 施工監理 有限会社 伊藤平左エ門建築事務所
- 工事請負 株式会社 日本土建

(6) 美術工芸品調査事業

長谷川家文書 史料調査（松阪市）

- 事業概要 平成20～24年度の5ヵ年事業として史料調査を行う。平成22年度の調査については、長谷川家において、指導委員会の指導のもと、月2回実施し、調査カード化及びマイクロフィルム撮影を行った。
- 事業費 3,000千円（国50% 1,500千円、県7% 210千円）
- 調査主体 松阪市
- 指導委員 下村登良男（松阪市文化財保護審議会会長）  
門 暉代司（松阪市文化財保護審議会委員）  
高倉 一紀（皇學館大学教授）  
塚本 明（三重大学教授）  
茂木 陽一（三重短期大学教授）

(7) 美術工芸品保存活用整備事業

木造薬師如来坐像（宗教法人長隆寺・伊賀市）〔T 4. 8. 10指定〕

- 事業概要 老朽化した長隆寺仏像安置所（収蔵庫）の修理のため、実施設計を行い、修理工事および防災施設の新設を行った。
- 事業費 7,787千円（国80% 6,229千円、県10% 778千円）
- 施工監理 一級建築士事務所 タック設計室
- 工事請負 株式会社 福森組

(8) 重要無形文化財保持団体補助事業

伊勢型紙（伊勢型紙技術保存会・鈴鹿市）〔H 5. 4. 15認定〕

- 事業概要 技術錬磨のため復刻作品の作成や伝承者の養成のための研修会、関連産地の視察の実施、原材料（型地紙）や諸道具の確保を行い、技術の保存を図る。普及啓発のため、文化庁主催展覧会「日本のわざと美」などに作品を出品した。
- 事業費 7,000千円（国定額（77%） 5,400千円、県10% 700千円）

(9) 民俗文化財伝承・活用事業

① 上野天神祭のダンジリ行事（上野小玉町自治会・伊賀市）〔H14. 2. 12指定〕

- 事業概要 小玉町楼車「小叢山」見送幕について、現在の技術を駆使して、素材と共に可能な限り現品に近い復元新調を行う。

事業費 7,011千円（国50% 3,500千円、県10% 700千円）  
工事請負 株式会社 龍村美術織物

② 安乗の人形芝居（安乗人形芝居保存会・志摩市）〔S55. 1.28指定〕

事業概要 安乗の人形芝居用具修理・新調等検討委員会の指導のもと、芝居に使用する人形の修理・新調を行う。

事業費 3,190千円（国50% 1,595千円、県10% 319千円）  
工事請負 株式会社 雅舎

③ 鳥出神社の鯨船行事（富田鯨船保存会連合会・四日市市）〔H9. 12.15指定〕

事業概要 南島組「感應丸」の横幕について、現在の技術を駆使して、素材とともに可能な限り現品に近い復元新調を行う。

事業費 7,043千円（国50% 3,521千円、県10% 704千円）  
工事請負 百武打敷店

(10) 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

① 旧諸戸氏庭園（桑名市）〔H13. 8.13指定〕

事業概要 名勝旧諸戸氏庭園の北西に位置する瓦葺土塀（約26m）と西側瓦葺土塀（約37m）が庭園側に傾斜し倒壊の危険性がある。現在、北西瓦葺土塀については仮設の支え柱で支えている。平成22年度から24年度にかけて学識経験者の指導を得ながら土塀の修理を実施する。

22年度事業 庭園の構成要素である土塀の修復に向けて修理箇所や手法の検討を行い、現況調査及び調査設計業務を実施した。

事業費 2,559千円（国50% 1,277千円、県7% 178千円）

指導委員 菅原洋一（三重大学教授）

指導年月日 平成23年3月4日

② 諸戸氏庭園（財団法人諸戸会・桑名市）〔H14. 12.19指定〕

事業概要 諸戸氏庭園は、江戸初期に造営され、明治初期に諸戸氏により増改築、大正年間に現在の形となった庭園であるが、庭園を構成する施設群の毀損や劣化があり、調査を行って修理内容の検討を行ったうえで修復、整備工事を進める。

22年度事業 庭園の修復、整備に向けて、庭園の調査を継続して実施した。また庭園の特徴である汐入を復元するため、溝渠の浚渫と石垣の実測を実施した。さらに庭園の空間性を取り戻すための修復剪定を実施した。

事業費 36,700千円（国50% 18,350千円、県10% 3,670千円）

指導委員 尼崎 博正（京都造形芸術大学教授）

大橋 則久（桑名市教育委員会教育長）

菅原 洋一（三重大学教授）

平澤 毅（奈良文化財研究所文化遺産部遺跡整備研究室長）

麓 和善（名古屋工業大学大学院教授）

指導委員会 平成22年4月23日、11月17日

③ 伊勢国分寺跡（鈴鹿市）〔T11. 10.12指定〕

事業概要 平成18年度に作成した「史跡伊勢国分寺跡整備基本計画」に基づき、隣接する鈴鹿市考古博物館と一体となった整備事業を実施する。

22年度事業 前年度に継続して、造成工・雨水排水工等の造成工事をした。また基盤整備終了

後の整備について検討を実施した。

事業費 43,700千円（国50% 21,850千円、県7% 3,059千円）  
検討委員 伊藤 久嗣（鈴鹿市文化財調査会委員）  
小野 健吉（奈良文化財研究所）  
加藤二三子（元鈴鹿市青少年育成市民会議会長）  
桐生 明光（国分町自治会長）  
桐生 悦夫（元河曲地区青少年育成町民会議会長）  
箱崎 和久（奈良文化財研究所主任研究員）  
橋爪 貴子（NPO法人五十鈴塾理事）  
八賀 晋（三重県文化財保護審議会委員・三重大学名誉教授）  
林 紘（博物館サポーター）  
渡辺 寛（皇學館大學文学部名誉教授）  
検討委員会 平成22年12月2日

④ 上野城跡（伊賀市）〔S42.12.27指定〕

事業概要 「史跡上野城跡保存整備（前期）実施計画」にもとづき、城代家老屋敷跡を中心に発掘調査等により遺構の解明を図り、その成果を踏まえて保存整備を進めることにより文化財としての価値を顕在化し活用を図る。（平成14年度～）

22年度事業 前年度から開始した台所門付近西側斜面周辺石垣の積み直し及び消失石垣の復元工事を継続実施し、大部分の修復を完了した。また城代屋敷地の遺構表示などについても検討を進めた。

事業費 20,000千円（国50% 10,000千円、県7% 1,400千円）  
指導委員 八賀 晋（三重大学名誉教授）  
増渕 徹（京都橘大学教授）  
高瀬 要一（紀伊風土記の丘 館長）  
千田 嘉博（奈良大学教授）  
菅原 洋一（三重大学教授）  
藤田 達生（三重大学教授）  
福井 健二（伊賀市文化財保護審議会委員）  
指導委員会 第1回 平成22年12月10日  
第2回 平成23年3月7日

⑤ 旧崇広堂（伊賀市）〔S5.11.19指定〕

事業概要 史跡旧崇広堂の東・南・西土塀は平成17年頃より壁面のひび割れと漆喰壁の剥落箇所が見られるので、保存修理を実施する。

22年度事業 東・南・西土塀の排水路工事を行った。

事業費 5,600千円（国50% 2,800千円、県7% 392千円）  
指導委員 鈴木 嘉吉（元奈良国立文化財研究所長）  
菅原 洋一（三重大学教授）

⑥ 天白遺跡（松阪市）〔H12.4.11指定〕

事業概要 天白遺跡は縄文時代後期の配石遺構や祭祀遺物が確認された遺跡である。遺構を保存した盛土の上部に配石遺構を復元するなどの整備を実施する（平成14年度～、20年度は中断）。

22年度事業 史跡指定地内の造成、植栽といった基盤整備や説明板、四阿、車止め、園路などの整備工を実施した。

事業費 15,751千円（国50% 7,875千円、県7% 1,102千円）  
 指導委員 八賀 晋（三重大学名誉教授）  
 小玉 道明（松阪市文化財審議会委員）  
 泉 拓良（京都大学大学院教授）  
 岡村 道雄（元奈良文化財研究所）  
 仲 隆裕（京都造形芸術大学教授）  
 橋爪 貴子（NPO法人 五十鈴塾理事）  
 清水 一夫（嬉野釜生田町自治会長）  
 野口 正彦（嬉野釜生田町自治会代理）

⑦ 斎宮跡（三重県）〔S54. 3. 27指定〕

事業概要 平成21年度に作成した「史跡斎宮跡東部整備基本計画書」に基づき、平安時代の斎宮寮の寮庁の一面だったと考えられる柳原区画とその周辺部の整備事業を実施する。

22年度事業 基盤整備のための実施設計と整備事業地の実態解明のための発掘調査を実施した。

事業費 29,246千円（国50% 14,623千円）

検討会委員 増渕 徹（京都橋大学教授）

浅野 聡（三重大学大学院准教授）

平澤 毅（奈良文化財研究所）

島田 敏男（奈良文化財研究所）

千種 清美（フリーライター）

西村 和浩（第三銀行経済研究所所長）

辻 孝雄（国史跡斎宮跡協議会）

作野かおる（財団法人国史跡斎宮跡保存協会副理事長）

検討会 平成22年12月24日、平成23年1月21日

⑧ 赤目の峡谷（名張市）〔T14. 10. 8指定〕

事業概要 平成21年10月の台風18号に伴う集中豪雨で、き損した護岸及び遊歩道他を復旧した。

事業費 7,287千円（国70% 5,098千円）

(1) 史跡等買上げ事業

① 斎宮跡（直接買上げ）（明和町）〔S54. 3. 27指定〕

事業概要 史跡斎宮跡の公有化（平成54年度～継続事業）

22年度事業 7,972.99㎡（25筆）の買上

事業費 230,160千円（国80% 184,128千円、県15% 34,524千円）

② 斎宮跡（先行取得償還）（明和町）〔S54. 3. 27指定〕

事業概要 平成12～14年度、平成19年度および平成21年度先行取得による公有化にかかる起債の償還

22年度事業 平成12～14年度、平成19年度および平成21年度の償還分

事業費 208,161千円（国80% 166,527千円、県15% 31,223千円）

③ 伊賀国庁跡（直接買上げ）（伊賀市）〔H21. 7. 23指定〕

事業概要 史跡伊賀国庁跡の公有化（平成22年度新規事業）

22年度事業 3,817㎡（3筆）の買上

事業費 15,380千円（国80% 12,304千円、県10%以内 1,400千円）

(12) 史跡等保存管理計画策定事業

① 伊賀国庁跡（伊賀市）〔H21. 7. 23指定〕

事業概要 平成21年度に国史跡に指定されたことを受けて、平成22年度から史跡を適切に保存管理する計画の策定を行う。

22年度事業 保存管理計画策定の基礎資料となる地形測量図の作成を行うとともに、保存管理計画策定委員会を組織し、策定をすすめた。

事業費 2,580千円（国50% 1,290千円）

(13) 天然記念物食害対策事業

① カモシカ（大台町、紀北町、尾鷲市）〔S30. 2. 15指定（地域を定めず）〕

事業概要 カモシカ保護地域が設定されている市町での食害対策用保護柵の設置。

総事業費 53,840千円（国2/3 35,893千円、県1/6以下 2,768千円）

市町名	事業費 (千円)	箇所数	面積 (ha)	柵総延長 (m)	受託者
大台町	42,659	11	17.53	8,057	宮川森林組合
紀北町	5,572	2	6.00	2,500	森林組合おわせ
尾鷲市	5,609	3	6.35	2,640	森林組合おわせ
計	53,840	16	29.88	13,197	

(14) 天然記念物緊急調査事業

① ネコギギ（いなべ市）〔S52. 7. 2指定（地域を定めず）〕

事業概要 絶滅の危機に瀕している員弁川水系のネコギギ個体群の再生を図るため、同水系に残存しているネコギギの生息状況調査ならびに保護増殖を行う。

22年度事業 野外に残存しているネコギギの継続調査および周辺の生息環境調査、志摩マリランドでの保護増殖、鳥羽水族館での危険分散目的の飼育

事業費 2,500千円（国50% 1,250千円、県7% 175千円）

指導委員 森 誠一（岐阜経済大学教授）  
渡辺 勝敏（京都大学大学院理学研究科准教授）  
原田 泰志（三重大学生物資源学部教授）  
田代 喬（名古屋大学工学部助教）

指導委員会 6月21日・3月10日

② ネコギギ（亀山市）〔S52. 7. 2指定（地域を定めず）〕

事業概要 絶滅が危惧される鈴鹿川水系のネコギギ個体群の生息状況把握を行い、保護のための計画を立案し実施する。

22年度事業 鈴鹿川水系のネコギギを現状把握するため、生息状況調査と生息環境調査を行う。

事業費 2,002千円（国50% 1,000千円、県7% 140千円）

指導委員 名越 誠（三重県文化財保護審議会委員・奈良女子大学名誉教授）  
原田 泰志（三重大学生物資源学部教授）  
渡辺 勝敏（京都大学大学院理学研究科准教授）  
川北 要始補（亀山市文化財保護審議会委員）

指導委員会 8月26日

(15) 天然記念物再生事業

① 金生水沼沢植物群落（鈴鹿市）〔S12. 4. 17指定〕

事業概要 乾燥化が進行し危機的な状況にある金生水沼沢植物群落の再生を目的とする。植



生調査ならびに管理計画を策定し、計画に基づいた環境整備を進める。

22年度事業 観察路の設置、植物プレート設置、植生調査等  
 事業費 5,647千円（国50% 2,823千円、県7% 395千円）  
 指導委員 武田 明正（三重大学生物資源学部名誉教授）  
 木本 凱夫（元三重大学生物資源学部助教授）  
 近藤 雅秋（三重大学生物資源学部助教）  
 鈴木 慎一（鈴鹿市文化財調査委員）  
 加田 勝敏（金生水沼沢植物調査会代表）  
 市川 雄二（金生水植物群落調査会副代表）  
 大谷 充興（地子町自治会代表）  
 伊藤 仁（西条自治会代表）

推進委員会 7月6日

(16) 市町遺跡発掘調査等

① 鈴鹿市 事業費 6,000千円（国1/2 3,000千円、県1/6以内 660千円）

平成14年に伊勢国府跡として国史跡に指定された長者屋敷遺跡の計画調査を実施し、国府の範囲確認やその全体構造を明らかにする。あわせて市内重要遺跡の範囲確認調査・本調査を実施した。（伊勢国府跡）

遺跡名	所在地	原因	期間	面積 (㎡)	調査概要
長者屋敷遺跡 (28次)	鈴鹿市広瀬町	保存目的	H22. 11. 1 ~ H23. 1. 31	59.0	北方官衙の北側の広がりを確認するため調査を実施したが、遺構・遺物ともに確認されなかった。

(市内遺跡 範囲確認調査)

遺跡名	所在地	原因	面積 (㎡)	調査概要
山ノ原遺跡	上田町字赤土	個人住宅建設	6	遺構なし・遺物なし
三日市東遺跡	竹野一丁目	共同住宅建設	11	遺構なし・遺物なし
稲生天雷山遺跡	稲生二丁目	個人住宅建設	27	遺構なし・遺物なし
平田遺跡	弓削一丁目	個人住宅建設	27	遺構あり・遺物あり
西川遺跡	郡山町	個人住宅建設	18	遺構なし・遺物あり
平田遺跡	弓削一丁目	個人住宅建設	15	遺構なし・遺物あり
船ヶ谷B遺跡	越知町	砂利採取	15	遺構なし・遺物なし
上箕田遺跡	上箕田二丁目	個人住宅建設	6	遺構なし・遺物あり
岸岡山Ⅲ遺跡	岸岡町	共同住宅建設	34	遺構なし・遺物なし
今村A遺跡	稲生塩屋三丁目	個人住宅建設	10	遺構なし・遺物なし
神戸中学校遺跡	十宮四丁目	個人住宅建設	12	遺構あり・遺物あり
三日市東遺跡	三日市東二丁目	店舗併用 住宅建設	10	遺構なし・遺物なし
白鳥中学校遺跡	加佐登三丁目	駐輪場建設	7	遺構なし・遺物なし
上箕田遺跡	上箕田一丁目	個人住宅建設	43	遺構あり・遺物あり
本郷遺跡	国府町	道路改良工事	24	遺構なし・遺物あり
津賀東部遺跡	高塚町	個人住宅建設	8	遺構なし・遺物なし
西ノ野遺跡	国府町	介護施設建設	16	遺構あり・遺物なし
間瀬口遺跡	木田町	福祉施設建設	35	遺構あり・遺物あり
長者屋敷遺跡	広瀬町	個人住宅建設	24	遺構なし・遺物なし
河田宮ノ北遺跡	河田町	個人住宅建設	6	遺構なし・遺物なし
萱町遺跡	神戸八丁目	個人住宅建設	10	遺構あり・遺物あり
大口野遺跡	岸岡町	宅地造成	6	遺構なし・遺物なし

遺跡名	所在地	原因	面積 (㎡)	調査概要
神大寺遺跡	南堀江一丁目	学童保育所建設	16	遺構あり・遺物あり
山越知南遺跡	郡山町	福祉施設建設	21	遺構なし・遺物なし
津賀東部遺跡	高塚町	個人住宅建設	5	遺構なし・遺物なし
大鳥居遺跡	郡山町	個人住宅建設	2	遺構なし・遺物なし
高田遺跡	神戸三丁目	個人住宅建設	2	遺構なし・遺物なし
宮ノ前遺跡	十宮四丁目	宅地造成	15	遺構なし・遺物なし
上箕田北遺跡	上箕田町	携帯電話基地局建設	12	遺構なし・遺物なし
須賀遺跡	須賀一丁目	個人住宅建設	5	遺構なし・遺物あり
三宅神社西遺跡	国府町	個人住宅建設	10	遺構なし・遺物なし
阿らこ遺跡	小田町	個人住宅建設	4	遺構なし・遺物あり
八重垣神社遺跡	十宮町	中学校駐車場整備	5	遺構なし・遺物あり
口山遺跡	河田町	個人住宅建設	10	遺構あり・遺物あり
西浦遺跡	上田町	個人住宅建設	15	遺構なし・遺物なし
計			492	

(市内重要遺跡 本調査実施分)

遺跡名	所在地	原因	面積 (㎡)	調査概要
平田遺跡20次	鈴鹿市弓削一丁目	個人住宅	6	古墳時代の土坑1基、時期不明のピットを確認。想定された古墳の周溝は確認できず。
磐城山遺跡3次	鈴鹿市木田町	個人農地改良	740	多数の弥生時代及び古墳時代の堅穴住居とともに、木田城跡に関わると推定される堀状の遺構も確認された。
神戸中学校遺跡4次	鈴鹿市十宮四丁目	個人住宅	115	柱穴を多数検出。縄文土器出土。
上箕田遺跡8次	鈴鹿市上箕田一丁目	個人住宅	32	土坑、柱穴を検出。弥生土器出土。
口山遺跡1次	鈴鹿市河田町	個人住宅	115	土坑、溝を検出。土師器と推定される破片が僅かに出土。
計			1,008	

指導委員 八賀 晋 (三重大学名誉教授)  
川越 俊一 (奈良文化財研究所名誉研究員)  
伊藤 久嗣 (鈴鹿市文化財調査会委員)  
金田 章裕 (人間文化研究機構機構長)  
渡辺 寛 (皇學館大学文学部名誉教授)  
和田 勝彦 (前東京純心女子大学事務局長)

指導委員会議 平成22年12月2日

② 亀山市 事業費 5,247千円 (国1/2 2,515千円、県1/6以内 553千円)

鈴鹿関跡の範囲や性格を明確にするための範囲確認調査や現地地形測量を実施した。また、正法寺山荘跡の現地地形測量を実施した。このほか、市内の遺跡について試掘調査を実施した。

(鈴鹿関跡) 鈴鹿関跡の西城壁築地を探るため発掘調査を実施した。築地の痕跡は確認されなかったが、布目痕跡のある瓦が4点出土した。また鈴鹿関跡の国史跡指定のデータ収集を目的として、平成18年度から同遺跡西城築地周辺の現地地形測量を実施しており、今年度は5,200㎡の現地地形測量を行った。

(正法寺山荘跡現地地形測量) 近年の縄張り調査で史跡指定範囲外に遺構が存在することが確

認されており、将来的に国史跡指定範囲を拡張することを目的に、3,600㎡の現地地形測量を実施した。

(市内遺跡範囲確認調査) 市内に存在する遺跡について、開発行為に円滑に対処するため、発掘調査を実施した。

遺跡名	所在地	原因	面積 (㎡)	主要遺構・遺物
鈴鹿関跡	亀山市関町木崎	個人住宅	4	遺構・遺物なし
長者屋敷遺跡	亀山市能褒野町	開発事業	72	溝・土坑・柱穴、布目瓦
計			76	

③ 津市 事業費 9,700千円 (国1/2 4,850千円、県1/6以内 1,298千円)

(多気北畠氏遺跡発掘調査)

多気北畠氏遺跡の地割の根幹部分と推察される上多気六田地区において学術調査を実施し、遺構の状況を確認した。また、『多気北畠遺跡第32次発掘調査報告』を刊行した。

遺跡名	所在地	原因	面積 (㎡)	主要遺構・遺物
多気北畠氏遺跡第34次調査 (上多気六田地区第7次)	津市美杉町上多気字六田	実態解明の学術調査	364	集石土坑・石組井戸 土師器・陶器・瓦器等

指導委員 稲本 紀昭 (元京都女子大学教授)  
 金田 章裕 (大学共同利用機関法人人間文化研究機構機構長)  
 服部 英雄 (九州大学大学院比較社会文化研究院教授)  
 藤澤 良祐 (愛知学院大学文学部歴史学科教授)  
 増淵 徹 (京都橘大学文学部教授)  
 山中 章 (三重大学人文学部教授)  
 渡辺 寛 (皇學館大学文学部名誉教授)

指導委員会議 第1回 平成22年5月14日

第2回 平成22年8月24日

(市内遺跡範囲確認調査)

遺跡名	所在地	原因	面積 (㎡)	主要遺構・遺物
牧遺跡	津市牧町	個人住宅	608.01	溝、土師器鍋
北興遺跡	津市安濃町野口	個人住宅	255.67	遺構・遺物なし
多気北畠氏城館跡	津市美杉町上多気	個人住宅	5.28	遺構・遺物なし
計			868.96	

(詳細遺跡分布調査)

平成18年度から平成22年度まで5ヶ年事業で市内遺跡の詳細分布調査を実施した(20年度に1年延長を決定)。平成22年度は津市遺跡地図を編集・刊行した。

(出土遺物保存処理)

薬師谷古墳群ほか出土の鉄製品の内、劣化が進みつつあるものについて保存科学的処理を施し、その恒久保存を図る。平成22年度は鍔、小刀など33点の保存処理を行なった。

④ 松阪市 事業費 3,300千円 (国1/2 1,650千円、県1/6以内 363千円)

市内の重要遺跡の発掘調査および範囲確認調査を実施し、埋蔵文化財保護の基礎データを得た。

## (範囲確認調査)

遺跡名	所在地	原因	面積 (㎡)	主要遺構・遺物
草山遺跡	久保町字森戸	宅地造成	16.00	遺構なし。無釉陶器碗
一色垣内遺跡	嬉野中川町字一色垣内	個人住宅	8.00	遺構・遺物なし。
(仮称)立町遺跡	小野江町立町	住宅 (共同住宅)	16.00	遺構なし。古代・中世土師器小片
観音寺推定地	甚目町土亀	その他の建物	32.00	遺構なし。中世土師器・陶器片
松坂城跡	殿町	個人住宅	12.00	堀。遺物なし。
伊勢寺遺跡	伊勢寺町字寺北	個人住宅	80.00	柱穴。土師器および須恵器の破片
松坂城下町遺跡	本町	個人住宅	4.00	礎石。土師器皿、土師器・陶器の破片
ヶ所垣外遺跡	美濃田町字下でん	その他の開発	8.00	遺構なし。土師器片、須恵器片、陶器片
久米南遺跡	塚本町字西ノ口	その他の建物	8.00	遺構・遺物なし。
草山遺跡	久保町字森戸	宅地造成	4.00	遺構なし。土器片(弥生土器高杯、須恵器杯、土師器皿・羽釜)
中林・中道遺跡	中道町字上野田	宅地造成	16.00	土坑、溝。中世土師器、陶器、土錘
中林・中道遺跡	曾原町字与力	宅地造成	8.00	遺構なし。少量の土師器細片
井之尻・長井遺跡	久米町	河川	6.00	遺構・遺物なし。
南出遺跡	鎌田町南出	住宅 (集合住宅)	24.00	遺構・遺物なし。
権現角遺跡	市場庄町字権現角	住宅 (共同住宅)	4.00	遺構・遺物なし。
中林・中道遺跡	中林町字北浦	宅地造成	37.00	溝。土師器小片
天白遺跡	嬉野釜生田町地内	その他の開発	32.00	遺構なし。わずかな中世遺物
草山遺跡	久保町字深泥	宅地造成	12.00	遺構なし。中世陶器片
新田町遺跡	大黒田町字新田町	宅地造成	10.50	遺構なし。古代・中世土師器小片
中林・中道遺跡	中林町字山ノ腰	宅地造成	32.00	溝、縄文土器、弥生土器、土錘
伊勢寺遺跡	伊勢寺町字北田	その他の建物	178.00	古代土師器、須恵器、中世土師器
伊勢寺遺跡	伊勢寺町字寺北浦	その他の建物	18.00	遺構なし。磨滅の著しい土師器細片微少
松坂城跡	殿町	その他の開発	29.00	土塁(基底部)。天目茶碗、土師器小片
下之庄東方遺跡	嬉野中川町	住宅 (共同住宅)	25.00	遺構・遺物なし。
ノバコ遺跡	嬉野平生町三反蔵垣内	その他の建物	12.00	遺構・遺物なし。
奥新田遺跡	飯南町粥見字奥新田、中新田	砂利採取	6.00	遺構なし。磨滅の著しい土師器細片、陶器片
舞出南遺跡	舞出町字保登田	宅地造成	70.00	複数の溝状落込み、磨滅の著しい土師器細片、陶磁器片微少
佐久米遺跡 四常遺跡	佐久米町、朝田町	砂利採取	520.00	円筒埴輪、無釉陶器、土師器
計			1227.50	

## ⑤ 明和町 事業費 2,000千円(国1/2 1,000千円、県1/6以内 220千円)

遺跡地内における個人住宅の申請に対応し、事前に遺跡の規模、内容等について緊急に発掘調査する。

遺跡名	所在地	原因	面積 (㎡)	主要遺構・遺物
史跡斎宮跡 第170-1次調査	明和町斎宮	個人住宅	64	溝(区画道路側溝)

遺跡名	所在地	原因	面積 (㎡)	主要遺構・遺物
史跡齋宮跡 第170-2次調査	明和町竹川	個人住宅	40	溝
史跡齋宮跡 第170-3次調査	明和町齋宮	個人住宅	62	土坑・小穴
史跡齋宮跡 第170-4次調査	明和町齋宮	集合住宅	60	溝・土坑
史跡齋宮跡 第170-6次調査	明和町齋宮	個人住宅	4	遺構・遺物なし
史跡齋宮跡 第170-7次調査	明和町齋宮	個人住宅	10	溝・小穴
史跡齋宮跡 第170-8次調査	明和町齋宮	個人住宅	3	遺構、遺物無し
史跡齋宮跡 第170-9次調査	明和町齋宮	個人住宅	30	小穴
史跡齋宮跡 第170-10次調査	明和町齋宮	個人住宅	38	遺構無し・土師器片
史跡齋宮跡 第170-11次調査	明和町齋宮	個人住宅	42	溝、土師器・陶器
史跡齋宮跡 第170-12次調査	明和町齋宮	個人住宅	9	溝、土師器・陶器
史跡齋宮跡 第170-13次調査	明和町齋宮	個人住宅	25	溝、土師器・陶器
計			387	

⑥ 度会町 事業費 5,100千円 (国1/2 2,550千円、県1/6以内 561千円)

三重県内有数の縄文遺跡である森添遺跡の範囲確認調査を行い、遺跡の範囲や性格を確認するとともに、発掘調査結果をとりまとめ、報告書として刊行することにより公開し、広く活用に資することを目的とする。平成22年度は森添遺跡の範囲確認調査を実施するとともに、遺跡の発掘調査報告書を刊行した。

⑦ 志摩市 事業費 3,090千円 (国1/2 1,545千円、県1/6以内 340千円)

昭和42年の発掘調査で出土した金属製品について保存処理を実施し、変質・劣化を防止する。平成22年度は鏡、直刀、鎌など合計14点について保存処理を実施した。

## 2 県費単独補助事業

### (1) 建造物保存修理事業

① 専修寺唐門、御廟拝堂及唐門 (専修寺・津市) [S35. 5.17指定]

事業概要 専修寺唐門及び御廟唐門の檜皮屋根が経年により摩滅し、雨漏りが生じており、御廟拝堂についても経年により本瓦屋根の谷部から雨漏りが生じ、木部に腐朽が見られるため、3棟とも屋根全面葺替え並びに破損部分の修理を行う。

22年度事業 専修寺唐門 基礎工事・屋根工事、御廟拝堂 仮設工事・解体工事・木工事

事業費 67,650千円 (県1/3以内 22,550千円)

設計監理 公益財団法人文化財建造物保存技術協会

工事請負 株式会社 児島工務店

② 経蔵 (寂照寺・伊勢市) [S27. 3.13指定]

事業概要 全体計画 平成16~22年度までの7ヵ年で半解体修理、輪蔵修理及び自動火災報

知設備の設置を行った。

22年度事業 工事報告書作成  
事業費 1,440千円（県50% 720千円）  
設計監理 株式会社 林廣伸建築事務所

(2) 史跡等保存整備事業

① 真盛廟（西蓮寺・伊賀市）〔H 7. 3. 13指定〕

事業概要 檜皮屋根の傷みが激しいため、屋根を解体して檜皮屋根の葺き替えを行うなどの保存修理を行った。  
事業費 5,250千円（県37.5% 1,968千円）  
受託者 河村社寺工殿社

(3) 天然記念物再生事業

川俣神社のスタジイ（川俣神社・鈴鹿市）〔S 44. 4. 17指定〕

事業概要 カミキリムシ駆除  
事業費 226千円（県50% 113千円）  
受託者 木楽

(4) 文化財全国大会等事業

第19回全国重要無形文化財保持団体協議会鈴鹿大会開催及び第18回重要無形文化財保持団体秀作展  
事業概要 全国に展開する重要無形文化財保持団体の伝統工芸の技術の練磨と今後の展開を研究するために、全国重要無形文化財保持団体協議会大会等を、平成22年11月11日（木）から21日（日）の間、三重県鈴鹿市において実施した。  
事業費 5,215千円（県定額 500千円）

### 3 活かそう美し国の文化財事業

(1) 事業概要

活かそう美し国の文化財事業は、市町による文化財を活かしたまちづくりマスタープランの提案あるいは、地域からの文化財を介した自主的な活用事業とあわせて、文化財の修復等を行うという提案に対して、これを認証し、支援します。文化財の修復を契機とし、身近な文化財の魅力をあらためて見直し、文化財の活用による人づくり、まちづくりを推進するものです。

活用事業は、地域の精神的な拠り所となってきた文化財を見直し、再生や活用を図るため、事業者を中心として地域住民・NPOなどが行う自主的な活動で、認証手続きは下記による。

- ア 市町による文化財を活かしたまちづくりマスタープランの提案あるいは、所有者・地域住民・NPOなどによる文化財の活用に関する自主的で具体的な補助事業案を、申請書にまとめる。また文化財の保存事業についても、所有者や管理団体が補助事業案として申請書にまとめる。市町の教育委員会は、2つの申請書を一对提案事業としてまとめ、県教育委員会に提出する。
- イ これらの中から、文化財の修復や活用などを契機として、伝統文化が復興する等、伝統的な地域のまとまりや郷土愛が強まるような提案を、活かそう美し国の文化財事業認証委員会で審査し、認証する。

ウ 認証した事業には、活用などの活動と合わせて、損傷や老朽化が進んで公開や活用が困難となっている当該文化財の修復事業を支援する。

① 事業費（活用事業・保存事業）

807,903千円（県費支出額113,696千円：活用事業584千円、保存事業113,112千円）

② 期待される効果

- ア 保存事業と、活用事業あるいはマスタープラン策定を一对の事業と位置づけ、所有者や地域住民が文化財の保存修理だけではなく活用事業に取り組むことで、地域における文化財に対する愛護意識が高まるとともに、文化財の活用による人づくりやまちづくりにつながる。
- イ 活用事業においては、文化財の理解を深めるための普及事業のほか、世代間交流や次世代育成などに効果的な事業の実施により、文化財への理解と愛着、地域の活性化、地域への愛着がもたらされ、地域づくりに発展する取組が盛んになる。

(2) 認証委員会

市町より提案された保存と活用の各事業について、事業化の可否を審査するために認証委員会を、設置した。提案された各事業内容が、「活かそう美し国の文化財事業」の趣旨に合致するものであれば、社会教育・文化財保護室長に対し、その評価・認証について建議するとともに、専門的見地から事業にかかる指導・助言も行った。

委員は、下記の a から f の項目を専門分野とする有識者の中から 5 名以内で選び、社会教育・文化財保護室長が委嘱した。

- a 有形文化財の保存と活用
- b 埋蔵文化財の保存と活用
- c 史跡・名勝・天然記念物・民俗文化財の保存と活用
- d 文化財保存と活用にかかる教育活動
- e 町おこしなどの地域活性化や人材育成の推進を目的とした活動
- f 観光政策と広報活動 など

平成22年度活かそう美し国の文化財事業 認証委員会委員

八 賀 晋	前三重県文化財保護審議会会長
名 越 誠	三重県文化財保護審議委員
菅 原 洋 一	三重県文化財保護審議会会長
平 井 俊 圭	社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会事務局長
橋 爪 貴 子	NPO法人五十鈴塾理事

(3) 平成22年度事業実績

提案件数	認証件数	提案者数	マスタープラン	活用事業者数	保存事業者数
20	20	12 (10市2町)	2	17	15

① 平成22年度活用事業

補助事業者	補助事業名 活用事業 [事業額・県費補助額]	事業内容
財団法人諸戸会	重文 諸戸家住宅主屋ほか5棟 建造物保存修理 活用事業 [事業総額94千円、県補助額46千円]	普段みることのできない修理中の建造物などの見学会と、木材を使ったストラップづくりをあわせて実施し、文化財建造物の修理の必要性を伝えた。
宗教法人近長谷寺	重文 木造十一面観音立像 美術工芸品防災施設 活用事業 [事業総額100千円、県補助額50千円]	近長谷寺の文化財と防災工事についてパンフレット作成配布するとともに、文化財を守り活用する地域の絆についての講演会を開催した。
NPO東海道関宿	重伝建 亀山市関宿 重伝建保存地区・保存修理 活用事業 [事業総額54千円、県補助額27千円]	関宿の歴史文化をカルタ形式にまとめた関宿カルタを使い、小学校での普及、カルタ大会、歴史講座などを実施し、関宿の魅力を伝えた。

補助事業者	補助事業名 活用事業 [事業額・県費補助額]	事業内容
十社小学校親師会	天 ネコギギ 天然記念物緊急調査 活用事業 [事業総額100千円、県補助額50千円]	十社小学校の児童とその保護者により、地元河川の水生物や水質、ネコギギについて学習し、観察し、河川の清掃活動や環境保全を呼びかけた。
飯野地区自治会総代会	天 金生水沼沢植物群落 天然記念物 再生 活用事業 [事業総額20千円、県補助額10千円]	地元住民を主対象として、金水生沼沢の歴史、再生の取組、現在の様子とこれからの取組について植物の専門家から話を聞く学習会を開催した。
財団法人諸戸会	名 諸戸氏庭園 史跡等・登録記念物 ・歴史の道保存整備 活用事業 [事業総額42千円、県補助額20千円]	庭園維持造園の専門家による名勝庭園の価値や管理についての説明、剪定体験を実施し、庭園の魅力と管理の必要性を伝えた。
伊賀市	マスタープラン上野城下町再発見～ 上野城から城下町へ～ (2年計画の1年目)	史跡上野城跡を核とし、上野城下町に分布する文化財や歴史的施設を結ぶ回遊コースやビューポイント、交流拠点等の設定を検討し、さらに上野城下町に分布する文化財を掘り起こした。
児童の郷土愛育成のための文化財・観光施設等開放事業実行委員会	史 旧崇廣堂 史跡等・登録記念物・ 歴史の道保存整備 活用事業 [事業総額176千円、県補助額88千円]	伊賀市の小学生に、ふるさと学習スタンプラリーを配布し、旧崇廣堂等を保護者とともに見学する機会を設けた。また旧崇廣堂ではワークシートを作成配布し、問題を解きながら見学できる工夫をした。
鈴鹿市考古博物館サポート会	史 伊勢国分寺跡 史跡等・登録記念物 ・歴史の道保存整備 活用事業 [事業総額20千円、県補助額10千円]	国分寺跡に関する知識理解を深めるため美濃国分寺跡と文化財の活用について講演会を開催した。また子どもたちに史跡への関心を高めるため、万灯づくりを行い観月の夕べに参加するイベントを行った。
NPO法人みえ自然・文化財保護サークル	史 天白遺跡 史跡等・登録記念物・ 歴史の道保存整備 活用事業 [事業総額112千円、県補助額50千円]	遺跡縄文キャンプで火おこし体験、土笛やオカリナを使った「縄文音楽会」を開催し、「嬉野ドングリまつり」では縄文衣装試着体験、天白遺跡見学会などを行った。
上野文化美術保存会	重無民 上野天神祭のダンジリ行事 民俗文化財伝承・活用等事業 活用事業 [事業総額30千円、県補助額15千円]	小学生を対象とした上野天神祭のダンジリ行事のお囃子について資料を使って学習し、体験する講座を開催した。また上野天神祭の歴史について講演会を開催した。
安乘人形芝居保存会	重無民 安乗の人形芝居 民俗文化 財伝承・活用等事業 活用事業 [事業総額80千円、県補助額40千円]	小学生向けに作成したパンフレットも使って、志摩市内の小学校3校において人形体験教室を行った。
富田鯨船保存会連合会	重無民 鳥出神社の鯨船行事 民俗 文化財伝承・活用等事業 活用事業 [事業総額20千円、県補助額10千円]	地元小学校の協力を得て、総合学習での鯨船学習、実技体験と演技披露を行った。また鯨船行事に関するリーフレットを作成・配布し行事と祭りに重要な用具(横幕)について周知を行った。
竹茗舎	史跡 齋宮跡 史跡等買上げ(先行 取得償還) 活用事業 [事業総額106千円、県補助額53千円]	「竹の都」と呼ばれた齋宮跡について「竹」を使った「竹灯籠ライトアップ」や「笹飾り」「七夕まつり」など地域の協力を得た取組を行い、齋宮跡への関心を高めた。
明和町	マスタープラン史跡齋宮跡を活かした まちづくり	明和町の概要や齋宮跡周辺の特性、齋宮跡を活かしたまちづくりに向けた課題を整理し、齋宮の認知度向上や、齋宮の魅力を堪能できる環境形成など、齋宮跡を活かしたまちづくりへの取組をまとめた。
府中地区住民自治協議会	史 伊賀国庁跡 史跡等買上げ(直接 買上げ) 活用事業 [事業総額50千円、県補助額25千円]	伊賀国庁跡と周辺の遺跡(御墓山古墳など)をめぐる文化財ウォークを実施し、また伊賀国庁について伊勢国府跡との違いから学習する文化財講演会を開催した。



補助事業者	補助事業名 活用事業 [事業額・県費補助額]	事業内容
伊勢本街道を活かした地域づくり協議会	市内遺跡 発掘調査等 活用事業 [事業総額18千円、県補助額9千円]	多気北畠遺跡と周辺地域を案内するボランティアガイドを育成するため、歴史研修会を行った。
宗教法人専修寺	専修寺唐門、御廟唐門及拜堂 保存 修理 活用事業 [事業総額69千円、県補助額34千円]	文化財建造物において小学生が畳拭きを行い文化財に直接触れるとともに、広大な建造物を体感する体験会を行った。また修理中の唐門等をはじめ専修寺の様々な文化財について説明を受けて見学し、印象に残った文化財について紙粘土製作を行った。
宗教法人寂照寺	経蔵部分修理 活用事業 [事業総額75千円、県補助額37千円]	修理が終わった経蔵の内部公開と輪蔵回し体験、月僊展を合わせて開催した。
川俣神社役員会	川俣神社のスタジイ 天然記念物再生 活用事業 [事業総額20千円、県補助額10千円]	地元小学校の協力を得て、地域の中で守られ続けたスタジイについて学習会を開催し、学んだことを地域の人たちに伝える掲示を行った。またボランティアによる清掃、除草作業を行った。

#### 4 民間団体による助成

民間団体による文化財保護助成事業について、市町教育委員会の推薦を受けた文化財を推薦し、次の団体が助成を受けた。

- (1) 地域文化活動助成（財団法人 冲永文化振興財団）
  - ・戸木東組かんこ踊り保存会（津市） 助成額 150千円  
用具の新調等
- (2) 地域の伝統文化助成（財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団）
  - ・牛蒡祭保存会（津市） 助成額 400千円  
用具の新調
- (3) 文化財維持・修復事業助成（公益財団法人 住友財団）
  - ・一色町能楽保存会（伊勢市） 助成額 1,050千円  
能面の修復
  - ・斎宮歴史博物館 助成額 3,000千円  
資経本「斎宮女御集」保存修理

## IV 世界遺産の保存管理

### 1 世界遺産熊野古道保存管理事業

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」（平成16. 7. 7 登録）の良好な保全管理のため、文化庁、奈良・和歌山県、関係市町と連携した取組を行った（総事業費；919千円）。

- (1) 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会（事業費；443千円 うち負担金；220千円）
  - ① 趣旨と構成

『世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会』（以下、三県協議会という）は、三重・奈良・和歌山の三県が、登録資産の保存・管理・活用の推進を目的に、平成17年度に設置した。三県協議会は、会長・副会長・委員及び監事で組織されている。前年度に引き続き、会長に和歌山県知事、副会長に奈良県・三重県知事が就任した。事務局は和歌山県（商工観光労働部観光振興課）に置かれた。三重県における委員及び監事の構成は以下とおり。

- ・副会長 野呂 昭彦（県知事）
- ・委員 向井 正治（三重県教育長）、河上 敢二（熊野市長）、安部 正美（紀北町教育長）
- ・監事 田畑 知治（県教育委員会社会教育・スポーツ分野総括室長）

② 三県協議会連絡会議の開催

開催地 たかつガーデン（大阪府大阪市天王寺区）  
 開催日時 平成22年6月25日（金）14：00～15：30  
 議事内容 平成21年度の事業報告・決算・監査報告、平成22年度事業計画・予算案  
 事業計画 定期報告と保存管理の実施  
 専門委員会の運営

③ 平成22年度三県協議会決算

収入	支出	繰越金	収入のうち三重県負担額
1,699,121円	985,500円	713,621円	220,000円

④ 「紀伊山地の霊場と参詣道」シンボルマークの使用届出の受理

「紀伊山地の霊場と参詣道」シンボルマークは、三県協議会あて（各県教育委員会文化財主管課が事務）に使用届出書を提出することで、世界遺産関連行事や商品などに用いることができる。平成22年度に三重県が受理し届出受領書を発行したのは2件である。

(2) 県内の世界遺産保存管理（293千円）

① 三重県世界遺産保全推進協議会

三県協議会と連携して熊野参詣道（伊勢路）の保存と活用に取り組むため、三重県教育長及び大紀町・紀北町・尾鷲市・熊野市・御浜町・紀宝町の教育長を委員とする「三重県世界遺産保全推進協議会」が構成されている。

また、史跡等の保護のため、本協議会の下に幹事会を設置し、文化財保護法に基づく史跡等の保護に万全を期する体制を布いている。平成22年度は幹事会を3回開催した。第1回は平成22年5月27日（木）、第2回は9月22日（木）、第3回は平成23年3月23日（水）に開催し、当該6市町教育委員会との連絡・協議に万全を期した。

② 世界遺産定期報告の作成

ユネスコ世界遺産委員会は、世界遺産一覧表に登録された遺産の価値を維持するため、世界遺産条約締約国内における世界遺産の保全状態等について定期的な報告の実施を締約国に求める旨、第22回世界遺産委員会（平成10年）において採択している。これは、世界遺産条約第29条に基づき、世界遺産を保有する国が、世界遺産条約を適用するために採った立法措置、行政措置やその他の行動に関する定期報告である。平成22年度はユネスコの定期報告を作成する年度にあたり、文化庁、和歌山県、奈良県、県内関係市町と連携して定期報告を作成し、プロパティマネージャーである和歌山県を通じて文化庁へ提出した。

③ 平成22年度世界遺産関係道府県主管課長会議

世界遺産の保存・継承を主目的に、平成11年度から構成資産を擁する道府県の共催で開催されている。

開催地 沖縄県那覇市（琉球王国のグスク及び関連遺産群）

開催日 9月2・3日

○ 文化庁文化財部記念物課 伊藤明子課長補佐

『第34回世界遺産委員会における審議と世界遺産の現状について』

○ 環境省自然環境局自然環境計画課 羽井佐 幸宏 世界遺産専門官

『世界遺産条約の履行に関する定期報告について』

- ・ 遡及的SOUVとセクション2の提出

○ 協議内容

- ・ 海外などにおける世界遺産の情報発信について
- ・ 世界遺産への特別措置と特区制度の活用について
- ・ 「石見銀山遺跡とその文化的景観」の登録範囲の拡大（軽微な変更）について

(3) 活用事業

① セミナー「熊野古道と文化的景観」(183千円)

世界遺産登録5周年を過ぎ、改めて熊野古道の価値を考え、現代に繋がる熊野古道の基底をなす地域を持つ景観と歴史を再認識することを目的に実施した。なお、セミナーの開催にあたっては、日本イコモス国内委員会の共催を得ると共に、県、開催市町、東紀州観光まちづくり公社の三者主催で実施した。

- ・ 第1回 平成22年9月12日(日)  
熊野市文化交流センター 参加者47名  
講師：河内将芳(奈良大学文学部教授)  
演題：「熊野古道の歴史的背景～九鬼氏と信長～」
- ・ 第2回 平成22年10月5日(火)  
尾鷲市立中央公民館 参加者35名  
講師：大國晴雄(大田市教育委員会 教育部長)  
演題：「熊野古道の文化的景観の価値  
～世界遺産石見銀山から学ぶ～」



2 他部局との連携事業

- ・ メコン5か国文化遺産保護と観光開発プログラム訪日団  
(生活・文化部国際室主管)

21世紀東アジア青少年年代交流計画(JENESYS)の一環として、メコン地域諸国の地方自治体・文化遺産保護関係者を招へいし、日本側関係者と交流プログラムを実施すること、日本とメコン地域諸国との文化遺産保護、観光開発を含めた幅広い分野での交流を通して関係強化を促進すること等を目的に実施されたものである。このうち、三重県にはベトナム、カンボジア、ラオスの代表約30名が訪問した。社会教育・文化財保護室は、『三重県の文化財保護行政について』と題して講演するとともに、現地視察や熊野古道センター展示見学に同行して参加者と意見交換や交流をおこなった。

## V 文化財の管理・普及

### 1 登録審査

#### (1) 銃砲刀剣類登録審査会

目 的 銃砲刀剣類所持等取締法の定めるところにより、美術品もしくは骨董品として価値のある火縄式銃砲等の古式銃砲又は美術品として価値のある刀剣類を審査のうえ登録する。

開催期日 5月18日 県津庁舎会議室 8月17日 県津庁舎会議室  
10月19日 県尾鷲庁舎会議室 11月16日 県津庁舎会議室  
1月25日 県津庁舎会議室

新規登録 刀剣類 188件 銃砲類 25件 登録件数累計 52,167件  
登録証再交付 刀剣類 26件 銃砲類 1件  
製作承認 刀剣類 0件(新規内数)  
所有者変更 刀剣類 493件 銃砲類 38件

登録審査委員(五十音順) 東 敏平(日本美術刀剣保存協会 三重県支部)  
岡本 喆雄(元三重県警察官)  
菊本 和男(元三重県警察官)  
早川 繁一(日本美術刀剣保存協会 三重県支部長)  
東世古晃弘(日本美術刀剣保存協会 三重県支部)  
福井 款彦(日本美術刀剣保存協会 三重県副支部長)

#### (2) 三重県天然記念物紀州犬登録審査会

目 的 天然記念物紀州犬の保存を図り、その繁殖を助長するため、審査会を経て、保存の必要を認めた紀州犬を優良紀州犬として、県教育委員会に備える紀州犬台帳に登録する。

日 時 平成22年5月23日(日)

場 所 結城神社駐車場(津市)

審 査 員 中谷 和生(社団法人日本犬保存会審査員・同三重支部長)  
岸川 徳成(社団法人日本犬保存会副審査員・同三重支部専務)  
木村二三利(社団法人日本犬保存会審査員・同三重支部顧問)

#### 登録紀州犬

	登録日	登録番号	犬名	性	所有者住所
1	H22. 7. 2	782	貴峰	雄	伊勢市
2	H22. 7. 2	783	齊乃刀	雄	伊勢市
3	H22. 7. 2	784	志麻	雌	津市
4	H22. 7. 2	785	鈴春女	雌	津市
5	H22. 7. 2	786	紀乃龍峰	雄	鈴鹿市
6	H22. 7. 2	787	種乃和光	雄	多気町

#### (3) 三重県天然記念物日本鶏登録審査会

目 的 天然記念物日本鶏の保存を図り、繁殖を助長するため、審査会の審査を経て、保存の必要を認めた日本鶏を優良日本鶏として、県教育委員会に備える日本鶏台帳に登録する。

日 時 平成22年5月16日(日)

場 所 斎宮歴史博物館南側駐車場(多気郡明和町竹川503番地)

審 査 員 河村 逸彦(全国日本鶏保存会参与)

富田 靖男（元三重県立博物館長）

西川 祥一（日本家禽会三重県支部長・天然記念物三重県五鶏保存会会長）

佐々木健二（三重県農水商工部畜産研究所）

登録日本鶏

	登録日	登録番号	鶏種	内種	性	所有者住所
1	H22. 7. 2	974	小国鶏	白藤種	番	玉城町
2	H22. 7. 2	975	河内奴鶏		雄	玉城町
3	H22. 7. 2	976	軍鶏（八木戸）	黒色	番	玉城町
4	H22. 7. 2	977	軍鶏（八木戸）	黒色	雄	玉城町
5	H22. 7. 2	978	地鶏	猩々種	番	玉城町
6	H22. 7. 2	979	小国鶏	白色種	番	玉城町

## 2 文化財の管理

### (1) 文化財パトロール

**事業概要** 県内における指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地の管理、保存状況を把握し、適切な処置を講じて文化財保護に万全を期するために、三重県文化財保護指導委員を任命して巡視活動等を行っている。巡視活動の報告は、毎月、社会教育・文化財保護室に報告される。社会教育・文化財保護室では写しを当該市町教育委員会に送付し、行政対応を行っている。

**巡視報告** 各委員による巡視活動の結果は次掲のA表のとおりである。その中で特に指摘のあったものをB表に示した。

#### A：パトロール実施状況一覧

地区	市 町	建造物	彫 刻	絵 画 文 書	考 古	民 俗	史 跡	天 然 記 念 物	埋 蔵	計
北勢	桑名市						2	5	13	20
	木曾岬町									0
	東員町									0
	いなべ市							3		3
	四日市市							6		6
	菰野町							2		2
	朝日町									0
	川越町									0
	鈴鹿市	3	2				1		15	21
龜山市	4					5	1	1	11	
中勢	津市							36	115	151
松阪	松阪市	1						5	34	40
	多気町								39	39
	明和町									0
	大台町							5	32	37
南勢 志摩	伊勢市	2							29	31
	玉城町								4	4
	南伊勢町							3	21	24
	大紀町						1		29	30
	度会町	1							10	11
	鳥羽市	1							2	3
志摩市							2	5	7	

地区	市 町	建造物	彫 刻	絵 文 画 書	考 古	民 俗	史 跡	天 然 記念物	埋 蔵	計
伊賀	名張市						1	16	5	22
	伊賀市	8					8	41	92	149
尾鷲	尾鷲市						2	5		7
	紀北町						5	10		15
熊野	熊野市						10	3	11	24
	御浜町						2		3	5
	紀宝町								4	4
計		20	2	0	0	0	37	143	464	666

B：巡視報告で指摘等のあったもの

市町名	問題文化財の名称	指 摘 事 項	市町への連絡内容
鈴 鹿 市	保子里古墳群	保護環境が悪化	市へ連絡済み 適切な措置について協議中
	沢城跡	開発が進んでいるため保護措置が必要	適切な保護措置を検討中
	上箕田遺跡、岸岡山遺跡群	両遺跡で開発が進んでいるため保護措置が必要	市へ連絡済み 保護措置を検討中
	大久保城跡、小岐須城	周辺で開発が進み、適切な保護措置が必要	市へ連絡済み 市が調査中
亀 山 市	伊勢国府跡	亀山市域で開発が著しく保護措置が必要	市へ連絡済み 市が調査中
	鈴鹿関跡、山下古墳、小野城跡	周辺の開発が予想されるため適切な保護措置が必要	市が確認し、適切な保護措置を検討中
	宗英寺のイチョウ	常緑の植物とスイセンに留意 根元を踏み固めた可能性あり 根元の踏み固めは厳禁との指摘	市へ確認を要請済み
	鈴鹿峠の鏡岩	標識柱、案内板の整備が必要との指摘	市へ必要に応じた現地確認を要請
	野登山のブナ林	三角点、雨池の説明板が必要	市へ連絡済み
津 市	垂水城跡	一部土塁状の地形が残存するが、遺跡範囲外に及ぶ可能性があり、確認が必要	市で確認中 対応を協議中
	四天王寺廃寺、四天王寺瓦窯跡	中世墓、陣城の可能性があり、確認必要	市で確認中 適切な措置を検討中
	三多気の桜	石碑倒伏、幹・枝枯損、シカの食害等指摘	市へ連絡済み
松 阪 市	来迎寺本堂	コウモリが建物内で営巣、基礎沈下、柱遊離、内陣天井画に虫食い等を確認	市へ連絡済み 今後聞き取り調査を実施し、対応を検討
	朝見地内遺跡	佐久米古墳群にて砂利採取予定とのこと	砂利採取の申請があった場合には、適切な措置を予定
	月出の中央構造線	崩壊箇所の土砂が、構造線を不明瞭にしていることの指摘	市へ連絡済み 再度、安全管理や活用の方向性について、県教委と協議予定
多 気 町	小又A遺跡・舟戸遺跡	遺跡内で住宅建設中とのこと 許可申請手続きの有無を確認	範囲内であれば文化財保護法上の適切な措置必要
大 台 町	浜井場遺跡他	遺跡内で住宅建設中とのこと 許可申請手続きの有無を確認	町で調査中 遺跡内であれば取り扱いを協議必要

市町名	問題文化財の名称	指摘事項	市町への連絡内容
伊勢市	荘北遺跡、荘遺跡、東山前遺跡、山田遺跡、石川遺跡、離宮院跡、掛橋遺跡	開発行為が行われている	市へ確認依頼済み
	野垣外遺跡、皆戸遺跡、中楽山遺跡、鹿海1号墳、鹿海2号墳	開発行為が行われているとのこと	確認のうえ対応について協議
	隠岡遺跡	説明板に遺跡分布地図が必要	対応について市へ連絡済み
	松下社の大クス	立札の根元腐食と他植物の生育にも留意 ネズミモチが樹勢に悪影響との指摘	市へ連絡済み ネズミモチ切除計画について検討中
	伊勢河崎商人館	土塀の頂部の瓦が落ちているとの指摘	市へ現地の確認を要請
玉城町	赤坂古墳、天神山城址、鴨垣内遺跡、田丸城址	周辺で開発行為が行われているとのこと	町へ連絡済み 確認し対応済み
南伊勢町	五ヶ所城跡、馬山城跡、岡山遺跡、飯満城跡、飯満里中遺跡、宿浦地内遺跡、田曾浦遠見番所	自然浸食による破壊や消滅が進んでいるとの通報あり	旧南勢町の詳細な遺跡分布地図の必要があり、作成計画協議
	鬼ヶ城暖地性シダ群落	石柱の転倒確認とキクシノブの生育に留意（移動、撤去時には注意）	町へ連絡済み
	野見坂の地層褶曲	案内板の位置の変更必要	町へ連絡済み 活用方法の検討を依頼
鳥羽市	洲崎の古墳	現状と異なるとの指摘あり	市へ連絡済み 市で確認済
	旧鳥羽小学校、旧広野家住宅	旧鳥羽小学校は腐朽、腐食につき早急対応の必要性を指摘 旧広野家住宅は屋根、外壁修理の必要性を指摘	今年度以降に修理対応を予定 県教委と要協議
志摩市	アホウドリ	放鳥するも翼が濡れてしまうので、再保護の必要性あり	大阪府の獣医による保護飼育中 県自然環境室が環境省と継続協議中
	和具大島暖地性砂防植物群落	説明板の修理必要 アツバキミガヨラン、アメリカネナシカズラ等の移入種が、本来の植生を脅かす危険性を指摘	市へ連絡済み 外来種対応策を今後検討
名張市	宇曾田古墳、竹原氏城東側丘陵	遺跡地図の記載内容に誤りあり、竹原氏城東側丘陵にて古墳が認められるとの通報	市へ連絡済み 市で適切な措置について協議中
伊賀市	旧崇廣堂	柱間装置にカビ、雨漏り跡あり 縁板が一部外れ、外土塀漆喰剥離ありとの通報	市で確認済み 今後、修復計画を協議予定
	上野城、国分寺跡	忍者博物館西側の使用許可申請の有無 筒井天守登り口、トイレ・物置の撤去説明 塔跡推定地東側の不要物撤去を要請	市へ連絡済み 現状確認後県へ報告済み
	山内氏城跡、雨乞山城跡（雨請山城）	山内氏城跡、雨乞山城跡（雨請山城）で新たな削平曲輪が確認されたとの通報あり	市へ連絡済み 市で協議後範囲変更を行う予定
	川上砦・川上北砦	川上砦の北側で、郭を発見との通報あり 包蔵地カードで照合必要	市へ連絡済み 現地を確認し、遺跡発見届等手続き完了
	服部氏城跡	主郭曲輪の北側が掘削されている 施主不在のため改めて対応が必要	市へ連絡済み 対応について協議中
	沢氏西館跡	土塁の一部が重機で壊されているとの通報あり	市へ連絡済み 確認中とのこと
	野木山古墳	掘削が見受けられるとの指摘あり	対応を協議中

市町名	問題文化財の名称	指 摘 事 項	市町への連絡内容
伊 賀 市	真泥神明神社跡隣接地	新発見の遺跡の可能性ありとの通報	市へ連絡済み 今後、確認予定
	八王子跡、此城屋敷跡	遺跡地図の照合を依頼済み	保護措置について対応を協議中
	吉沢氏城跡	土塁や堅堀の遺構を確認	市へ確認依頼済み、適切な措置を協議中
	服部氏城跡	土塁崩落の可能性ありとの指摘	市で確認中
	大村神社宝殿	大村神社の柱の一部に木食い虫の害跡あり	市へ連絡済み 虫害対策の要請
	高倉神社本殿、観音寺本堂、観音寺桜門	高倉神社本殿背面の屋根に草木が生えている 早急に除去が必要	確認のうえ、適切な措置を協議
	愛宕神社本殿	ブロック塀の一部が破損し、倒壊の恐れありとの指摘	市へ確認のうえ、適切な措置を依頼
紀 北 町	熊野参詣道【荷坂峠】	ゴミの投棄を確認する必要あり	町へ連絡済み 確認予定
	鈴島暖地性植物群落、豊浦神社社叢	鈴島暖地性植物群落はシカによる食害が目立つ 豊浦神社社叢は、モウソウチクの侵入ありとの指摘	町へ連絡済み 対応を検討
熊 野 市	水車谷鉦山跡	応急措置の必要性ありとの指摘	市へ連絡済み 今後県と協議予定
	田平子峠刑場跡・赤木城跡	説明板の劣化が進んでいる	必要に応じて確認するよう依頼済み
	熊野の鬼ヶ城附獅子巖	崩落箇所がある 説明板等の整備必要との指摘	市へ確認依頼済み 適切な措置が必要
	楯ヶ崎、徳司神社樹叢	楯ヶ崎千畳敷の手すりが破損している	市と熊野農林商工環境事務所へ連絡済み
	おおだいがはらさんしょううお	林道工事後のモニタリング調査が必要	熊野農林商工環境事務所へ連絡済み
南伊勢町	鬼ヶ城暖地性シダ群落	石柱の転倒確認とキクシノブの生育に留意（移動、撤去時には注意）	町へ連絡済み
	野見坂の地層褶曲	案内坂の位置の変更必要	町へ連絡済み 活用方法の検討を依頼
御 浜 町	神木のイヌマキ、引作の大クス、市木のイブキ	イブキは樹勢回復の措置必要 引作の大クスへは添え木をあてる必要ありとの指摘	樹勢回復の措置必要 町へ連絡済み
大 紀 町	七保のオハツキイチョウ	落葉の利用や樹勢保持の指摘	保存について方策を検討中
尾 鷲 市	九木神社樹叢	案内板設置位置検討、シカによる食害を指摘	市へ現地確認を依頼済み
		シカによる食害が目立つ クサマルハチは絶滅寸前との指摘	防護策の設置等検討を依頼

(三重県文化財保護指導委員)

埋蔵文化財	松本 覚	渡辺 尚登	三枝 義久	浅尾 悟	西脇 智広
	浅生 悦生	新田 洋	榎本 義讓	奥野 実	増田 安生
	村上 喜雄	竹内 正弘	奥 義次	北畠 充生	寺岡 光三
	市田 進一	水口 昌也	大花 健生	縣 拓也	福村 直人
天然記念物	川添 護	桐生 定巳	鈴木 伸治	西川 浩之	三井 博之
	高松 隆吉	清水 善吉	中野 恵子	坂部 元宏	中村みつ子
	松月 茂明	山野 直也	杉澤 学	山本 和彦	林 伸行
建 造 物	嶋村 明彦	大城 哲也	久安 典之	山田 幸三	松月 久和
	滝井 利彰	田崎 通雅	縣 拓也		
彫 刻	福村 直昭	采翠 真澄	藤田 直信	瀧川 和也	縣 拓也
熊野参詣道	吉田 金好	花尻 薫			



(2) 文化財保護にかかる会議

① 三重県文化財保護連絡会議・三重県文化財保護指導委員会会議

県内における指定文化財及び埋蔵文化財などの保護行政を一層充実させるため、市町教育委員会文化財保護行政担当者、三重県文化財保護指導委員との打ち合わせ及び協議を実施した。

地 区	開 催 日 時	場 所
北勢・中勢・伊賀	平成22年5月25日(火) 13:30~16:30	県鈴鹿庁舎
尾鷲・熊野	平成22年5月27日(木) 13:30~16:30	県尾鷲庁舎
松阪・南勢志摩	平成22年5月31日(月) 13:30~16:30	県松阪庁舎

内 容 平成22年度文化財保護事業の概要  
指定文化財に関する事務手続き等について  
文化財パトロールの実施について

出 席 者 市町教育委員会文化財保護行政担当者・三重県文化財保護指導委員

② オオサンショウウオ保護連絡会議

目 的 オオサンショウウオの保護管理について、県関係部局および関係市町に周知するとともに、研究者からの助言を得て保護管理についての情報を共有する。

日 時 平成23年2月18日(金) 13:30~16:30

場 所 名張市役所303・304会議室

講 演 「大阪府能勢町天王地区におけるオオサンショウウオ保護の取り組みについて」  
大阪府北部農と緑の総合事務所 耕地課 栗栖 和道

報告事項

オオサンショウウオ保全対策について

○三重県伊賀建設事務所

- ・災害復旧工事を含め、55箇所で136個体保護
- ・川上ダムの簡易型人工巣穴の改良型を設置

○伊賀市産業建設部 建設課

- ・岡田の事業について説明。川幅を狭めるとともに、左岸側護岸に転石設置
- ・伊賀市主催の観察会の報告

○伊賀市産業建設部 農村整備課

三重県農水商工部 農村基盤室 水利防災G

- ・堰堤改修工事報告に加え、魚道の設置とともに、オオサンショウウオの遡上を可能にする工法を採用。

○独立行政法人 水資源機構 川上ダム建設所

- ・オオサンショウウオの遡上する様子を紹介
- ・簡易型人工巣穴を利用状況の報告

○三重県教育委員会事務局

- ・H23年度には奈良県と協働で保護管理指針を策定予定
- ・河床設置型の人工巣穴の一時的役割について

助 言 者 松井 正文 (京都大学大学院人間・環境学研究科教授)  
富田 靖男 (元三重県立博物館長)  
佐藤 孝則 (天理大学教授)  
松月 茂明 (元日本サンショウウオセンター所長)  
清水 善吉 (元三重県立養護学校玉城わかば学園教諭)

③ ネコギギ保護連絡会議

目 的 ネコギギの保護管理について、県関係部局および関係市町に周知するとともに、研究者からの助言を得て保護管理についての情報共有を行う

日 時 平成23年3月15日（火）13：30～17：00

場 所 三重県松阪庁舎6階 大会議室

事例報告

- ・ 多自然川づくり勉強会について  
岐阜県県土整備部 河川課 新<sup>あたらし</sup> 和博
- ・ 亀山市ネコギギ緊急調査事業について  
亀山市 まちなみ・文化財室 嶋村 明彦
- ・ いなべ市ネコギギ緊急調査事業について  
いなべ市教育委員会 生涯学習課 後藤 健宏
- ・ 雲出川水系 農業井堰災害復旧工事について  
松阪市 嬉野地域振興局地域整備課 橋本 英幸
- ・ 宮川水系 ネコギギ配慮工法  
三重県伊勢建設事務所 流域課 河邊 努
- ・ 平成22年度ネコギギ生息状況調査報告  
三重県教育委員会 社会教育・文化財保護室 西村 和也

助 言 者 原田 泰志（三重大学生物資源学部教授）  
渡辺 勝敏（京都大学大学院理学研究科准教授）  
佐川 志朗（独立行政法人土木研究所 自然共生研究センター）

④ おおだいがはらさんしょうお学習会

目 的 三重森林管理署、三重県環境森林部、三重県及び奈良県、和歌山県教育委員会で協働して、おおだいがはらさんしょうおの学習会を開催することで、本種の保護について関係者の理解を深める。

日 時 平成22年7月22日（木）13：00～17：00

場 所 大杉谷国有林

内 容 おおだいがはらさんしょうおの生態について調査するとともに、幼生個体の現地視察を実施した。

(3) 発掘調査届出・通知等

文化財保護法の規定により、埋蔵文化財包蔵地の発掘（土木工事等）に対しては、通知・届出をおこなうことが義務づけられている。平成22年4月から平成23年3月までに処理をおこなった当該通知・届出の件数は以下のとおりである。

	93 条											94 条											99 条	合計				
	住宅	個人住宅	工場	店舗	住宅兼工場・店舗	その他建物	宅地造成	公園造成	ガス・電気・水道等	土砂採取	学校	道路	その他開発	計	鉄道	道路	河川	港湾・ダム	学校	その他建物	公園造成	ガス・電気・水道等			農業関係	その他開発	保存目的	計
桑名市	2	24		1		5		5	1				38						1		2		3	6	4	48		
木曾岬町													0												0	0		
東員町													0												0	0		
いなべ市		4										1	5						1						1	2	8	
四日市市	12	18	1	1	1	6	8	20	2			3	72		4						2		2	8		80		
菰野町													0												0	0		
朝日町	1												1										1	1		2		
川越町													0												0	0		
鈴鹿市	2	57		1	1	11	5	17	1			18	113		11				2	1	2		2	18	8	139		
亀山市		9						7				1	17											2	2	3	22	
津市	6	15				11	5	19	1	1		7	65		4				1	5	1	9	2	7	29	4	98	
松阪市	4	113	1	1	3	20	11	9	2			5	169						1	3	1	23			28	2	199	
多気町													0												0	0		
明和町		5				1							6								1			1	8	15		
大台町													0												0	0		
伊勢市	2	18		1		2						3	26							3	1				4	30		
玉城町		1											1												0	1		
度会町													0												0	1	1	
大紀町												1	1												0	1		
南伊勢町								1					1												0	1		
鳥羽市													0												0	0		
志摩市				1				7					8		4						3				7	15		
伊賀市	1	1				1	3					1	7		1					1					2	1	10	
名張市													0												0	0		
尾鷲市													0												0	0		
紀北町													0												0	0		
熊野市	4											1	5												0	5		
御浜町													0												0	0		
紀宝町		2											2		1					1					2	4		
三重県													0		8				11	5		5	8	37	12	49		
国・旧公団													0		7										7	7		
計	34	267	2	6	5	50	39	0	85	7	1	0	41	537	0	40	0	0	18	18	2	43	7	25	0	153	45	735

## (4) 埋蔵文化財の発見 (法第100条関係)

	物件名	箱数	発見場所	遺跡の名称	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	通知日
1	土師器皿・山茶碗等	1	多気郡明和町斎宮2890-5	史跡斎宮跡 (第162-4次)	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H22. 3. 29	H22. 6. 1
2	土師器甕・皿等	1	多気郡明和町竹川字古里 592-9、592-10番地	史跡斎宮跡 (第162-2次)	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H22. 3. 29	H22. 6. 1
3	土師器片、須恵器片、 山茶碗片等	1	津市久居相川町	相川西方遺跡 (第1次調査)	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H22. 7. 2	H23. 2. 22
4	縄文土器、弥生土器、 土師器、青磁、山茶碗等	26	伊勢市辻久留3丁目	万所遺跡 (第3次)	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H22. 8. 23	H23. 2. 22
5	縄文土器、土師器、 山茶碗、山皿、施釉 陶器等	10	伊勢市辻久留3丁目	万所遺跡 (第4次)	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H22. 10. 18	H23. 2. 22
6	弥生土器、須恵器、 土師器、山茶碗等	20	多気郡多気町相可50	相可出張遺跡 (第2次)	三重県	三重県教育委員会 教育長	三重県埋蔵文化財センター	H22. 11. 4	H23. 2. 22
7	鉄製品・埴輪・土器・ 陶器・石造物など	13	伊賀市沖	沖打越中世墓・ 沖打越1号墳	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H22. 11. 4	H23. 2. 22
8	土師器・須恵器・長 胴甕等	2	松阪市小阿坂町向川	西蔵寺廃寺	三重県	松阪市長	三重県埋蔵文化財センター	H22. 11. 26	H23. 2. 22
9	弥生土器・土師器・須 恵器・韓式土器・山 茶碗・近世陶磁器等	7	松阪市立田町	朝見遺跡	三重県	朝見上土地改良 区理事長	三重県埋蔵文化財センター	H22. 12. 8	H23. 2. 22
10	須恵器・土師器・磁 器など	3	伊賀市大野木字婦毛	婦毛遺跡 (第2次)	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H22. 12. 27	H23. 2. 22
11	土器・陶器・鉄製品 など	20	津市安濃町草生地内	石塚遺跡・高樋 遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H23. 1. 5	H23. 2. 22
12	弥生土器・土師器・ 須恵器・山茶碗・中 世陶器等	7	津市牧町池田・前・山室	山室遺跡 (第2次 [範囲 確認調査])	三重県	桃園西部地区土 地改良区	三重県埋蔵文化財センター	H23. 1. 6	H23. 2. 22
13	土師器・須恵器	1	津市牧町八太垣内	八田垣内遺跡	三重県	桃園西部地区土 地改良区	三重県埋蔵文化財センター	H23. 1. 6	H23. 2. 22
14	弥生土器・土師器・ 須恵器	1	津市牧町地藏堂	地藏堂遺跡	三重県	桃園西部地区土 地改良区	三重県埋蔵文化財センター	H23. 1. 6	H23. 2. 22
15	木製品・土師器・陶 器・瓦など	9	松阪市本町	松阪城下町遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H23. 1. 7	H23. 2. 22
16	弥生土器・土師器・ 須恵器・石鏃・石錘・ 土錘等	94	津市野田	林垣内遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H23. 1. 7	H23. 2. 22
17	土師器・須恵器・陶器	1	四日市市伊坂町	伊坂城跡	三重県	中日本高速道路 株式会社	三重県埋蔵文化財センター	H23. 1. 17	H23. 2. 22
18	土師器・陶器等	88	多気郡明和町斎宮字西加 座2669・2670・2671・2671 第1・2672・2673-2番地	史跡斎宮跡 (第167次調査)	三重県	明和町	斎宮歴史博物館	H23. 1. 13	H23. 2. 22
19	土師器・陶器等	30	多気郡明和町斎宮字西加 座2675-1・2	史跡斎宮跡 (第168次調査)	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H23. 1. 5	H23. 2. 22
20	土師器・須恵器・瓦等	1	多気郡明和町斎宮字御館 2972-1・2973-1番地	史跡斎宮跡 (第169次調査)	三重県	明和町	斎宮歴史博物館	H23. 1. 13	H23. 2. 22
21	土師器・須恵器・陶 器・鉄製品など	196	多気郡明和町斎宮字柳原 2779-14番地	史跡斎宮跡 (第171次調査)	三重県	明和町	斎宮歴史博物館	H23. 1. 13	H23. 2. 22
22	弥生土器・土師器・ 須恵器	16	四日市市北山町字中野山	中野山遺跡 (第2次)	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H23. 1. 28	H23. 3. 31
23	弥生土器片・土師器 片・石器等	18	津市久居相川町	相川西方遺跡 (第3次調査)	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H23. 2. 2	H23. 3. 31
24	弥生土器・土師器・ 須恵器・山茶碗・中 世陶器等	23	度会郡玉城町佐田	寺田遺跡 (第2次)	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H23. 3. 1	H23. 3. 31
25	弥生土器・土師器・ 山茶碗等	2	多気郡多気町相可50	相可出張遺跡	三重県	三重県教育委員会 教育長	三重県埋蔵文化財センター	H23. 3. 1	H23. 3. 31
26	台付甕、須恵器大甕・ S字甕・土師器・灰 釉陶器・緑釉陶器・ 木製品等	21	度会郡玉城町妙法寺	田丸道遺跡 (第 2次)・塚田1号 墳・塚田2号墳	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H23. 3. 7	H23. 3. 31

	物件名	箱数	発見場所	遺跡の名称	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	通知日
27	土師器・陶器等	1	多気郡明和町斎宮字木葉山95-1	史跡斎宮跡(第170-3次調査)	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H23. 3. 9	H23. 3. 22
28	土師器・陶器等	3	多気郡明和町斎宮字鈴池561-1	史跡斎宮跡(第170-4次調査)	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H23. 3. 9	H23. 3. 22
29	土師器・陶器等	1	多気郡明和町斎宮字西前沖2645-3・2646-2	史跡斎宮跡(第170-7次調査)	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H23. 3. 9	H23. 3. 22
30	土師器・陶器等	1	多気郡明和町斎宮字牛葉3014-2	史跡斎宮跡(第170-9次調査)	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H23. 3. 8	H23. 3. 22
31	土師器・陶器等	1	多気郡明和町竹川字南裏256-1	史跡斎宮跡(第170-10次調査)	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H23. 3. 9	H23. 3. 22
32	土師器・陶器等	1	多気郡明和町竹川字中垣内455-1	史跡斎宮跡(第170-11次調査)	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H23. 3. 9	H23. 3. 22
33	土師器・陶器等	6	多気郡明和町斎宮字柳原2779・2779-1	史跡斎宮跡(第170-1次調査)	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H23. 3. 15	H23. 3. 22
34	土師器・陶器等	4	多気郡明和町竹川字古里579-2	史跡斎宮跡(第170-2次調査)	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H23. 3. 15	H23. 3. 22
35	土師器・陶器等	1	多気郡明和町斎宮字牛葉574-1	史跡斎宮跡(第170-12次調査)	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H23. 3. 15	H23. 3. 22
36	土師器、陶磁器、瓦、硯、木製品など	5	伊勢市宮後・一之木	高河原遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H23. 3. 22	H23. 3. 31
37	土師器・陶器等	1	多気郡明和町竹川字中垣内460-2・434-7・435-2・436-4・430-6	史跡斎宮跡(第170-13次調査)	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H23. 3. 18	H23. 3. 28

(5) 埋蔵物の文化財認定(法第102条関係)

	物件名	箱数	発見場所	遺跡の名称	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	認定日	認定者
1	北垣内遺跡ほか出土遺物 土師器ほか	37	津市高茶屋1丁目ほか	北垣内遺跡ほか	津市教育委員会教育長	不明	津市埋蔵文化財センター	H22. 3. 29	H22. 5. 10	三重県教育委員会
2	(仮称) 斎宮北野C遺跡 出土遺物 土師器(皿・杯・甗)、須恵器(杯・蓋)、灰釉陶器(碗・壺)、砥石ほか	14	多気郡明和町大字斎宮字北野3544、3545、3546、3547	(仮称) 斎宮北野C遺跡	明和町長	多気郡農業協同組合	明和町出土遺物格納庫	H22. 3. 15	H22. 5. 10	三重県教育委員会
3	[仮] 高野尾窯跡ほか出土遺物 須恵器ほか	12	津市高野尾町ほか	[仮] 高野尾窯跡ほか	津市教育委員会教育長	不明	津市埋蔵文化財センター	H22. 3. 29	H22. 5. 10	三重県教育委員会
4	北八反田遺跡 出土遺物 土師器・陶器	1	津市香良洲町字北八反田415-2	北八反田遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H22. 3. 30	H22. 5. 10	三重県教育委員会
5	土師器・陶器・磁器・瓦・石仏等	4	伊賀市上野丸之内106の3番地	園史跡上野城跡	伊賀市教育委員会教育長	伊賀市長	伊賀市教育委員会	H22. 3. 31	H22. 5. 10	三重県教育委員会
6	谷川土清旧宅隣接地出土遺物(陶磁器)	1	津市八町3丁目240-3	谷川土清旧宅隣接地	津市教育委員会教育長	津市長	津市埋蔵文化財センター	H22. 4. 15	H22. 5. 20	三重県教育委員会
7	金剛坂遺跡 第3次調査 出土遺物 弥生土器、須恵器、土師器ほか	1	多気郡明和町大字金剛坂字辰ノ口地内	金剛坂遺跡	明和町長	明和町長	明和町出土遺物格納庫	H22. 3. 24	H22. 5. 20	三重県教育委員会
8	金剛坂遺跡 第8-1次調査出土遺物 弥生土器(壺・高杯・甗)、土師器(甗・杯)、須恵器(杯・蓋・甗)	5	多気郡明和町大字金剛坂字辰ノ口1099	金剛坂遺跡	明和町長	個人	明和町出土遺物格納庫	H22. 3. 15	H22. 5. 20	三重県教育委員会
9	金剛坂遺跡 第8-2次調査出土遺物 土師器(甗・杯)ほか	1	多気郡明和町大字金剛坂字辰ノ口1086	金剛坂遺跡	明和町長	明和町	明和町出土遺物格納庫	H22. 3. 15	H22. 5. 20	三重県教育委員会

物件名	箱数	発見場所	遺跡の名称	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	認定日	認定者
10 古堀遺跡 第4-1次調査出土遺物 土師器(皿・杯・甕)ほか	3	多気郡明和町大字上野字古堀82-36	古堀遺跡	明和町長	民間	明和町出土遺物格納庫	H22.3.15	H22.5.20	三重県教育委員会
11 古堀遺跡 第4-6次調査出土遺物 土師器(皿・杯・甕・鍋・甌)ほか	7	多気郡明和町大字上野字古堀82-20	古堀遺跡	明和町長	個人	明和町出土遺物格納庫	H22.3.15	H22.5.20	三重県教育委員会
12 多気北畠氏遺跡(上多気六田地区H21-2次)出土遺物 土師器・陶器・瓦器片	1	津市美杉町上多気1167番地	多気北畠氏遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H22.4.15	H22.5.20	三重県教育委員会
13 山茶碗	1	鈴鹿市弓削二丁目497番1	圓太神社遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H22.4.22	H22.6.1	三重県教育委員会
14 露越遺跡出土遺物 土師器、須恵器、山茶碗、陶器ほか	1	多気郡明和町大字竹川字露越1071	露越遺跡	明和町長	個人	明和町	H22.3.24	H22.6.1	三重県教育委員会
15 弥生土器・須恵器・中世陶器・石器等	35	四日市市大矢知町字久留倍・字矢内谷	久留倍遺跡	四日市市教育委員会教育長	国土交通省中部地方整備局北勢国道事務所	四日市市教育委員会	H22.4.23	H22.6.1	三重県教育委員会
16 久居城下町遺跡出土遺物 陶器、陶磁器	1	津市久居西鷹跡町404番3、404番6	久居城下町遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H22.4.27	H22.6.1	三重県教育委員会
17 須恵器、轆の羽口	1	鈴鹿市国府町字木曾田906、9114、9115、9117、9135、9138、9144、9147	包蔵地外(天王山西遺跡隣接地)	鈴鹿市長	鈴鹿市長	鈴鹿市考古博物館	H22.3.25	H22.6.15	三重県教育委員会
18 津城跡出土遺物(陶磁器)	1	津市中央82番地	津城跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H22.5.21	H22.6.15	三重県教育委員会
19 中林・中道遺跡出土遺物	3	松阪市曾原町字堀ノ内118-1、118-2、118-3、118-4	中林・中道遺跡	松阪市教育委員会教育長	個人	松阪市文化財センター嬉野整理所	H22.4.23	H22.6.29	三重県教育委員会
20 井ノ尻・長井遺跡出土遺物	5	松阪市久米町字二ツ縄手1015-2 外20筆(別紙参照)	井ノ尻・長井遺跡	松阪市教育委員会教育長	個人	松阪市文化財センター嬉野整理所	H22.4.23	H22.6.29	三重県教育委員会
21 松阪城下町遺跡出土遺物	1	松阪市魚町1800番2	松阪城下町遺跡	松阪市教育委員会教育長	個人	松阪市文化財センター嬉野整理所	H22.4.23	H22.6.29	三重県教育委員会
22 松阪城跡出土遺物	1	松阪市殿町1467番地35	松阪城跡	松阪市教育委員会教育長	個人	松阪市文化財センター嬉野整理所	H22.4.23	H22.6.29	三重県教育委員会
23 小野江・菖目遺跡出土遺物	3	松阪市肥留町字寺門812、813-1、819-2	小野江・菖目遺跡	松阪市教育委員会教育長	個人	松阪市文化財センター嬉野整理所	H22.4.23	H22.6.29	三重県教育委員会
24 小望遺跡出土遺物	2	松阪市川井町字小望155-2、156-2、157-2、158-3	小望遺跡	松阪市教育委員会教育長	松阪市	松阪市文化財センター嬉野整理所	H22.4.23	H22.6.29	三重県教育委員会
25 中ノ庄遺跡出土遺物	1	松阪市中ノ庄町字天神525	中ノ庄遺跡	松阪市教育委員会教育長	個人	松阪市文化財センター嬉野整理所	H22.4.23	H22.6.29	三重県教育委員会
26 菅生遺跡出土遺物	1	松阪市菅生町字北浦44番1	菅生遺跡	松阪市教育委員会教育長	個人	松阪市文化財センター嬉野整理所	H22.4.23	H22.6.29	三重県教育委員会
27 土師質土器	1	鈴鹿市郡山町字北下野田1071-3、1071-4、1071-5の一部	西川遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H22.5.27	H22.6.29	三重県教育委員会
28 三重県史跡及名勝専修寺庭園(専修寺境内遺跡H22-1次)出土遺物(陶器・瓦)	1	津市一身田町2819	三重県史跡及名勝専修寺庭園(専修寺境内遺跡H22-1次)	津市教育委員会教育長	民間	津市埋蔵文化財センター	H22.6.3	H22.6.29	三重県教育委員会
29 今徳城跡出土遺物(土師器・須恵器・山茶碗・陶器・瓦質土器・瓦・石器)	1	津市安濃町今徳字北出232、230-3	今徳城跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H22.6.3	H22.6.29	三重県教育委員会

	物件名	箱数	発見場所	遺跡の名称	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	認定日	認定者
30	川口北方遺跡(H22-1次)出土遺物 縄文土器、土師器、 山茶碗	1	津市白山町川口字笠張 3141	川口北方遺跡	津市教育委員 会教育長	個人	津市埋蔵文化 財センター	H22. 6. 8	H22. 6.29	三重県教 育委員会
31	土師器、須恵器	1	鈴鹿市弓削一丁目46番1、 47番、618番6	平田遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博 物館	H22. 5.18	H22. 8. 4	三重県教 育委員会
32	土師器、須恵器、 山茶碗、中世陶器、 近世陶器、近世瓦	1	鈴鹿市弓削町一丁目206 番地	平田遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博 物館	H22. 6.23	H22. 8. 4	三重県教 育委員会
33	土師器	1	鈴鹿市岸岡町字岩ヶ谷2569 -1、2570、2537-1の一部	岸岡山Ⅲ遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博 物館	H22. 6.23	H22. 8. 4	三重県教 育委員会
34	縄文土器、弥生土 器、土師器、須恵 器、黒色土器、石 鏃、土鏃、灰釉陶 器、緑釉陶器、山 茶碗、山皿、青磁、 円面碗、鉄釘、瓦	64	鈴鹿市平田本町一丁目57-2・ 58-2・59-2の一部、60、62- 2の一部、63-1、63-2、63- 3、64、65、66、67、68、 69、70、71の一部、72、73、 74-1、74-2、74-3、75・76- 1・76-2・77の一部、78、 80-2、81-1、81-2、82-1、 82-2、83、84、85、86、87- 1、87-3、88-1・88-2、88- 3・90-1・91-2の一部、96- 1・97・99の一部、100、101、 102、103、104・105-1・105 -2・107-2・108-3の一部	平田遺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市長	鈴鹿市考古博 物館	H22. 7. 8	H22. 8.16	三重県教 育委員会
35	土師器	1	鈴鹿市神戸八丁目289-2・ 423-1・416-2・420-3の 一部	須賀遺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市長	鈴鹿市考古博 物館	H22. 7. 8	H22. 8. 6	三重県教 育委員会
36	中野遺跡出土遺物 土師器	1	津市一志町小山字中野76 番1、81番1	中野遺跡	津市教育委員 会教育長	個人	津市埋蔵文化 財センター	H22. 7.22	H22. 9. 1	三重県教 育委員会
37	田尻垣内田遺跡出 土遺物 土師器	1	津市一志町田尻593-2	田尻垣内田 遺跡	津市教育委員 会教育長	津市長	津市埋蔵文化 財センター	H22. 7.26	H22. 8.25	三重県教 育委員会
38	専修寺境内遺跡 (H22-2次) 出土遺物 (土師器・陶磁器・ 瓦質土器・瓦)	2	津市一身田町2819番地	専修寺境内 遺跡	津市教育委員 会教育長	民間	津市埋蔵文化 財センター	H22. 8. 2	H22. 8.25	三重県教 育委員会
39	常滑焼	1	鈴鹿市国府町字平井2476、 2477、2481 国府町字木 曾田3500-1	木郷遺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市長	鈴鹿市考古博 物館	H22. 8.11	H22. 8.31	三重県教 育委員会
40	縄文土器・弥生土 器・土師器・近世 瓦	1	鈴鹿市十宮四丁目1019-1、 1015-6	神戸中学校 遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博 物館	H22. 8.11	H22. 9.15	三重県教 育委員会
41	弥生土器・軽石・ 土製品・木片	2	鈴鹿市上箕田一丁目2581-4	上箕田遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博 物館	H22. 8.25	H23. 2.16	三重県教 育委員会
42	須恵器	1	鈴鹿市弓削一丁目206番地	平田遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博 物館	H22. 6.15	H22. 8. 1	三重県教 育委員会
43	山茶碗	1	鈴鹿市上箕田二丁目218番- 1の一部、221番の一部	上箕田遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博 物館	H22. 6.21	H22. 8. 1	三重県教 育委員会
44	端山遺跡(H22-1 次)出土遺物 土師器、須恵器、 山茶碗	1	津市一志町高野字端山 1459-1、1560-2・3・4	端山遺跡	津市教育委員 会教育長	個人	津市埋蔵文化 財センター	H22. 9. 6	H22. 12.28	三重県教 育委員会
45	川口北方遺跡(H 22-2次)出土遺物 土師器	1	津市白山町川口字笠張 3141	川口北方遺跡	津市教育委員 会教育長	個人	津市埋蔵文化 財センター	H22. 9. 6	H22. 12.28	三重県教 育委員会
46	陶器・磁器・瓦・ 木製品等	30	伊賀市上野丸之内37-1、 37-2番地ほか 別紙のとおり	上野城跡	伊賀市教育委 員会教育長	民間	伊賀市教育委 員会	H22. 9. 3	H22. 12.28	三重県教 育委員会
47	土師器・須恵器・ 灰釉陶器・砥石	1	鈴鹿市木田町字間瀬口 1961番・2793番、国分町 字念佛山2421番	間瀬口遺跡	鈴鹿市長	民間	鈴鹿市考古博 物館	H22. 10. 1	H22. 12.28	三重県教 育委員会
48	陶磁器、瓦、炭等	2	桑名市船馬町29、30	桑名城下町 遺跡	桑名市教育委 員会教育長	個人	桑名市教育委 員会	H22. 10. 4	H22. 12.28	三重県教 育委員会
49	南稲葉遺跡(H22- 1次)出土遺物	1	津市河芸町上野字山ノ一 色69-1、70-4	南稲葉遺跡	津市教育委員 会教育長	個人	津市埋蔵文化 財センター	H22. 9. 6	H22. 12.28	三重県教 育委員会

	物件名	箱数	発見場所	遺跡の名称	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	認定日	認定者
50	土師器、須恵器、山茶碗、陶器等	1	桑名市多度町柚井548番地	一ノ谷A遺跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市	桑名市教育委員会	H22.10.4	H22.12.28	三重県教育委員会
51	柱遺跡(H22-1次)出土遺物(土師器、陶磁器、瓦)	1	津市安濃町安濃字柱1416番地	柱遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H22.10.14	H22.12.28	三重県教育委員会
52	多気北畠氏遺跡伝慶正寺跡出土遺物(土師器、陶磁器、石製品)	7	津市美杉町上多気字六田1212-1、1219-2、1219-3、1220、1222-1、1222-2、1223、1228	多気北畠氏遺跡伝慶正寺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H22.10.8	H22.12.28	三重県教育委員会
53	久居城下町遺跡(H22-5次)出土遺物(土師器、陶磁器、瓦、鉄釘)	2	津市久居西臈跡町382番1	久居城下町遺跡	津市教育委員会教育長	津市長	津市埋蔵文化財センター	H22.10.14	H22.12.28	三重県教育委員会
54	山茶碗、陶器、瓦等	1	桑名市多度町多度1672-1	愛宕中世墓群	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H22.10.4	H22.12.28	三重県教育委員会
55	山茶碗等	1	桑名市多度町下野代字一丁目928番、930番、931番、932番、933番、934番-2、927番、926番-3、926番-1、925番、923番、921番	下野代遺跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市	桑名市教育委員会	H22.10.4	H22.12.28	三重県教育委員会
56	土師器、陶器等	1	桑名市大字江場字貝戸477、477-1	江場貝戸遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H22.10.4	H22.12.28	三重県教育委員会
57	土師器、陶磁器等	1	桑名市多度町多度字山下1660-1、1660-2、1664	多度A遺跡・多度B遺跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市	桑名市教育委員会	H22.10.4	H22.12.28	三重県教育委員会
58	陶磁器等	1	桑名市北寺町35	桑名城下町遺跡 隣接地	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H22.10.4	H22.12.28	三重県教育委員会
59	土師器・須恵器	1	鈴鹿市神戸八丁目361番7	萱町遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H22.10.20	H22.12.28	三重県教育委員会
60	土師器	1	鈴鹿市国分町字堂跡306番地	伊勢国分寺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市	鈴鹿市考古博物館	H22.10.22	H22.12.28	三重県教育委員会
61	埴輪、土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、中世陶器、近世陶器、近世瓦、石斧	4	鈴鹿市弓削一丁目40番1、44番1、45番1、45番2、46番1、618番2、618番3、618番6	平田遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H22.10.22	H22.12.28	三重県教育委員会
62	陶磁器等	1	桑名市吉之丸46	桑名城跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市	桑名市教育委員会	H22.11.5	H23.2.1	三重県教育委員会
63	陶磁器等	1	桑名市大字西方字北之広835、858、860、861、877、878、879、880、881、882、883、884、885	高塚山下遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H22.11.5	H23.2.1	三重県教育委員会
64	陶磁器等	1	桑名市多度町小山2415-1	天王平遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H22.11.5	H23.2.1	三重県教育委員会
65	陶器、木製品、種等	1	桑名市大字神田字柳944番地	出口遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H22.11.5	H23.2.1	三重県教育委員会
66	山茶碗、土師器、陶磁器、貝、骨等	1	桑名市大字江場字中繩927-2、929-1	寺跡遺跡	桑名市教育委員会教育長	民間	桑名市教育委員会	H22.11.5	H23.2.1	三重県教育委員会
67	陶磁器等	1	桑名市吉之丸46-1番地先	桑名城跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市	桑名市教育委員会	H22.11.5	H23.2.1	三重県教育委員会
68	陶磁器、貝等	1	桑名市宝殿町67	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H22.11.5	H23.2.1	三重県教育委員会
69	土師器	1	鈴鹿市南堀江一丁目168番1、168番9、168番15の一部	神大寺遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H22.11.9	H23.2.1	三重県教育委員会
70	牧遺跡(H22-1次)出土遺物(土師器、陶器)	1	津市牧町字馬場山337番地2、337番3	牧遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H22.11.12	H23.2.1	三重県教育委員会
71	須恵器	1	鈴鹿市須賀一丁目1585番地3	須賀遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H22.11.24	H23.2.1	三重県教育委員会
72	端山遺跡出土遺物(土師器、須恵器)	1	津市一志町高野字端山1459-1、1460-2・3・4	端山遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H22.11.24	H23.2.1	三重県教育委員会



	物件名	箱数	発見場所	遺跡の名称	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	認定日	認定者
73	久居城下町遺跡(H22-6次)出土遺物 土師器・陶磁器・瓦、鉄製品、石製品	2	津市久居東鷹跡町310番地1	久居城下町遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H22.11.24	H23.2.1	三重県教育委員会
74	弥生土器・土師器・須恵器・灰釉陶器・青磁・白磁・山茶碗・播鉢・近世陶器・瓦・近世瓦・繻の羽口	1	鈴鹿市国府町字木曾田9106・9107・9108・9109・9110・9111・9112・9113・9114・9115・9116・9117・9118・9119・9120・9121・9122・9123・9124・9125・9126・9127・9128・9129・9130・9131・9132・9133・9134・9135・9136・9137・9138・9139・9140・9141・9142・9143・9144・9145・9146・9147・9148・9149	本郷遺跡 本郷遺跡隣接地 天王山西遺跡隣接地	鈴鹿市長	鈴鹿市長	鈴鹿市考古博物館	H22.12.10	H23.2.1	三重県教育委員会
75	下之川富田遺跡出土遺物 銅銭	1	津市美杉町下之川6222	下之川富田遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H22.12.15	H23.2.1	三重県教育委員会
76	多気北畠氏遺跡(上多気六田地区)出土遺物 土師器・陶器・陶磁器・金属製品・石製品・弥生土器	18	津市美杉町下多気字六田1番地 ほか	多気北畠氏遺跡(上多気六田地区)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H22.12.21	H23.2.1	三重県教育委員会
77	久居城下町遺跡(H22-7次)出土遺物 陶器	1	津市久居東鷹跡町310番地1	久居城下町遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H23.2.1	H23.2.16	三重県教育委員会
78	土師器・瓦	1	鈴鹿市小田町字あらこ1067番1	阿らこ遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H23.2.7	H23.2.25	三重県教育委員会
79	土師器・瓦	1	津市一身田町2819番地	三重県指定史跡及名勝 専修寺庭園(H22-2次)・ 専修寺境内遺跡(H22-3)	津市教育委員会教育長	民間	津市埋蔵文化財センター	H23.2.4	H23.2.25	三重県教育委員会
80	土師器	1	津市一身田町2819番地	専修寺境内遺跡(H22-4次)	津市教育委員会教育長	民間	津市埋蔵文化財センター	H23.2.9	H23.2.25	三重県教育委員会
81	片野遺跡(H22-1次)出土遺物 土師器	1	津市一志町片野字北浦443-1、444-1、472	片野遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H23.2.24	H23.3.23	三重県教育委員会
82	殿畑遺跡第3次調査出土遺物 土師器、山茶碗、陶器等	33	志摩市阿見町国府2426	殿畑遺跡	志摩市教育委員会教育長	志摩市	志摩市教育委員会	H23.2.16	H23.3.23	三重県教育委員会
83	津城跡(H22-3次)出土遺物 土師器、瓦質土器、陶器、瓦	1	津市丸之内23番1号、3番30号	津城跡	津市教育委員会教育長	津市長	津市埋蔵文化財センター	H23.2.22	H23.3.23	三重県教育委員会
84	津城跡隣接地(H22-1次)出土遺物 土師器、陶器、陶磁器	1	津市西丸之内550	津城跡隣接地	津市教育委員会教育長	津市長	津市埋蔵文化財センター	H23.2.28	H23.3.23	三重県教育委員会
85	梅ヶ広遺跡(H22-1次)出土遺物 土師器、陶器	1	津市美杉町八手俣48番地1	梅ヶ広遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H23.2.28	H23.3.23	三重県教育委員会
86	豊野A～D遺跡隣接地出土遺物 土師器、陶磁器、瓦	1	津市一身田豊野877	豊野A～D遺跡隣接地	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H23.3.4	H23.3.23	三重県教育委員会
87	見上遺跡出土遺物 土師器・須恵器・山茶碗等	27	いなべ市大安町大井田3424番地1	見上遺跡	いなべ市教育委員会教育長	いなべ市長	いなべ市教育委員会	H23.3.7	H23.3.24	三重県教育委員会
88	近世陶器・近世瓦等	13	いなべ市北勢町東村478番地1、3	東村B城跡	いなべ市教育委員会教育長	個人	いなべ市教育委員会	H23.3.7	H23.3.24	三重県教育委員会

## (6) 出土文化財の譲与

	申請日	申請者	譲与文化財の名称	箱数	発見場所	遺跡名	発見の日付
1	H22. 4. 6	鈴鹿市長	瓦	1	鈴鹿市国分町字南條1363番地の一部	国分遺跡	H21. 8. 20
2	H22. 6. 15	鈴鹿市長	弥生土器・土師器・須恵器等	1	鈴鹿市神戸七丁目1091-6	神戸中学校遺跡	H21. 11. 11
3	H22. 7. 8	伊賀市教育委員会教育長	陶器・磁器・瓦・木製品等	57	伊賀市上野丸之内37-1、37-2番地	上野城跡	H21. 9. 5
4	H22. 7. 13	鈴鹿市長	弥生土器・土師器・須恵器・山茶碗・羽釜・常滑焼・近世陶器等	4	鈴鹿市神戸七丁目1091-6	神戸中学校遺跡	H21. 12. 8
5	H22. 7. 23	鈴鹿市長	瓦・土師器・須恵器等	5	鈴鹿市広瀬町字長塚1244番	長者屋敷遺跡（伊勢国府跡）	H21. 12. 16
6	H22. 8. 3	津市教育委員会教育長	久居城下町遺跡第9次調査出土遺物 土師器、陶磁器、瓦質土器、瓦、鉄製品	13	津市久居東鷹跡町298番地3、298番地4	久居城下町遺跡	H21. 12. 16
7	H22. 8. 2	津市教育委員会教育長	牧遺跡出土遺物 陶器、土師器	1	津市牧町字西馬場山289-2	牧遺跡	H22. 8. 21
8	H22. 8. 3	津市教育委員会教育長	上出遺跡出土遺物 （土師器、須恵器）	1	津市庄田町字上出585番1号、587番地	上出遺跡	H22. 9. 11
9	H22. 8. 2	津市教育委員会教育長	光明寺遺跡出土遺物 （土師器）	1	津市安濃町光明寺字東垢部17-1	光明寺遺跡	H21. 6. 1
10	H22. 8. 10	津市教育委員会教育長	育成小校庭遺跡出土遺物 （土師器）	1	津市下弁財津興1580番地	育成小校庭遺跡	H21. 12. 25
11	H22. 10. 1	鈴鹿市長	縄文土器・弥生土器等	1	鈴鹿市岡田三丁目274番1、275番、276番、277番 地先	岡田南遺跡（第2次）	H21. 12. 18
12	H22. 10. 1	鈴鹿市長	土師器・瓦・陶器等	1	鈴鹿市国分町字南條1356番2	国分遺跡	H21. 12. 22
13	H22. 11. 8	四日市市教育委員会教育長	弥生土器・土師器・灰釉陶器・中世陶器等	6	四日市市南いかるが町4450	井詰遺跡	H20. 9. 26
14	H22. 11. 8	四日市市教育委員会教育長	木製品、瓦、土師器、須恵器、山茶碗、輸入陶磁器	14	四日市市日永町西五丁目831・843・844・847番地	古里遺跡	H21. 9. 29
15	H22. 11. 8	四日市市教育委員会教育長	須恵器・土師器・近世陶器等	1	四日市市大矢知町字久留倍・字矢内谷	久留倍遺跡	H20. 4. 24
16	H22. 11. 8	四日市市教育委員会教育長	弥生土器・木製品・石器・中世陶器等	300	四日市市大矢知町字久留倍・字矢内谷	久留倍遺跡	H21. 2. 3
17	H22. 11. 8	四日市市教育委員会教育長	弥生土器・須恵器・山茶碗・石器等	7	四日市市大矢知町字久留倍・字矢内谷	久留倍遺跡	H21. 6. 9
18	H22. 11. 8	四日市市教育委員会教育長	土師器・須恵器・鉄屑等	3	四日市市大矢知町字久留倍・字矢内谷	久留倍遺跡	H21. 7. 10
19	H22. 11. 8	四日市市教育委員会教育長	弥生土器・木製品・石器等	40	四日市市大矢知町字久留倍・字矢内谷	久留倍遺跡	H21. 10. 29
20	H22. 11. 8	四日市市教育委員会教育長	土師器・須恵器・中世陶器・石器等	22	四日市市大矢知町字久留倍・字矢内谷	久留倍官衙遺跡	H21. 10. 22
21	H22. 11. 8	四日市市教育委員会教育長	弥生土器・須恵器・中世陶器・石器等	35	四日市市大矢知町字久留倍・字矢内谷	久留倍遺跡	H22. 4. 23
22	H22. 11. 11	松阪市教育委員会教育長	松阪城跡出土遺物	1	松阪市殿町	松阪城跡	H21. 5. 13
23	H22. 11. 11	松阪市教育委員会教育長	松阪城下町遺跡出土遺物	1	松阪市新町	松阪城下町遺跡	H21. 5. 13
24	H22. 11. 11	松阪市教育委員会教育長	前田町屋遺跡出土遺物	1	松阪市星合町	前田町屋遺跡	H21. 5. 13
25	H22. 11. 11	松阪市教育委員会教育長	南曾原遺跡出土遺物	1	松阪市曾原町	南曾原遺跡	H21. 5. 13
26	H22. 11. 11	松阪市教育委員会教育長	星合里中遺跡出土遺物	1	松阪市星合町	星合里中遺跡	H21. 5. 13
27	H22. 11. 11	松阪市教育委員会教育長	浄眼寺境内遺跡出土遺物	17	松阪市大阿坂町	浄眼寺境内遺跡	H21. 5. 13
28	H22. 11. 11	松阪市教育委員会教育長	井出ノ里遺跡出土遺物	1	松阪市井口中町	井出ノ里遺跡	H21. 5. 13
29	H22. 11. 11	松阪市教育委員会教育長	村竹コノ遺跡	28	松阪市上川町	村竹コノ遺跡	H21. 5. 13
30	H22. 11. 11	松阪市教育委員会教育長	本願寺遺跡出土遺物	1	松阪市嬉野中川町	本願寺遺跡	H21. 5. 13
31	H22. 11. 11	松阪市教育委員会教育長	大蓮寺跡遺跡出土遺物	7	松阪市上ノ庄町	大蓮寺跡遺跡	H21. 5. 13
32	H22. 11. 11	松阪市教育委員会教育長	田村2号墳出土遺物	8	松阪市田村町	田村2号墳	H21. 5. 13
33	H22. 12. 1	伊賀市教育委員会教育長	陶器壺・土師器皿	1	伊賀市島ヶ原町字西追付4127番地	西追付寺跡	H21. 12. 14

	申請日	申請者	譲与文化財の名称	箱数	発見場所	遺跡名	発見の日付
34	H22.12.2	津市教育委員会教育長	片野遺跡出土遺物 (土師器、陶器)	1	津市一志町片野字北浦452-1、469-1	片野遺跡	H21.12.25
35	H22.12.2	津市教育委員会教育長	西浦遺跡出土遺物 (須恵器・土師器・陶器・瓦)	1	津市河芸町西千里字西浦2033-3、2034-2、2041-2、2042-2、2073-2、2077-2、2079-2、2080-2	西浦遺跡	H22.2.3
36	H22.12.2	津市教育委員会教育長	津城跡出土遺物 (土師器・陶磁器・瓦)	1	津市西丸之内地内	津城跡	H22.3.8
37	H22.12.2	津市教育委員会教育長	垂水A遺跡出土遺物 (縄文土器・土師器)	1	津市垂水地内	垂水A遺跡	H22.2.1
38	H22.12.2	津市教育委員会教育長	津城跡出土遺物 (土師器・山茶碗・陶磁器・瓦)	1	津市西丸之内161番地	津城跡	H22.2.26
39	H22.12.2	津市教育委員会教育長	津城跡出土遺物(陶器)	1	津市西丸之内地内	津城跡	H22.3.8
40	H22.12.2	津市教育委員会教育長	北八反田遺跡出土遺物 土師器・陶器	1	津市香良洲町字北八反田415-2	北八反田遺跡	H22.3.30
41	H22.12.21	鈴鹿市長	山茶碗	1	鈴鹿市弓削二丁目497番1	岡太神社遺跡	H22.4.22
42	H23.1.14	津市教育委員会教育長	多気北畠氏遺跡第32次(上多気六田地区第6次)調査出土遺物 土師器、陶磁器、金属製品等	21	津市美杉町上多気1184番地1	多気北畠氏遺跡(上多気六田地区)	H22.2.1
43	H32.1.17	津市教育委員会教育長	今徳城跡出土遺物 (土師器・須恵器・山茶碗・陶器・瓦質土器・瓦・石器)	1	津市安濃町今徳字北出232、230-3	今徳城跡	H22.6.3
44	H23.1.14	津市教育委員会教育長	谷川土清旧宅隣接地出土遺物 (陶磁器)	1	津市八町3丁目240-3	谷川土清旧宅隣接地	H22.4.15
45	H23.1.14	津市教育委員会教育長	久居城下町遺跡出土遺物 陶器、陶磁器	1	津市久居西鷹跡町404番3、404番6	久居城下町遺跡	H22.4.27
46	H23.2.9	津市教育委員会教育長	三重県史跡及名勝専修寺庭園(専修寺境内遺跡H22-1次)出土遺物 (陶器・瓦)	1	津市一身田町2819番地	三重県史跡及名勝専修寺庭園(専修寺境内遺跡H22-1次)	H22.6.3
47	H23.2.9	鈴鹿市長	土師器	1	鈴鹿市岸岡町字岩ヶ谷2569-1、2570、2537-1の一部	岸岡山Ⅲ遺跡	H22.6.23
48	H23.2.9	鈴鹿市長	土師器、須恵器、山茶碗、中世陶器、近世陶器、近世瓦	1	鈴鹿市弓削一丁目206番地	平田遺跡(第20次)	H22.6.23
49	H23.2.9	鈴鹿市長	山茶碗	1	鈴鹿市上箕田二丁目218番1の一部、221番の一部	上箕田遺跡	H22.6.21
50	H23.2.9	鈴鹿市長	須恵器	1	鈴鹿市弓削一丁目206番地	平田遺跡	H22.6.15
51	H23.2.9	鈴鹿市長	須恵器、輪の羽口	1	鈴鹿市国府町字木曾田906、9114、9115、9117、9135、9138、9144、9147	包蔵地外(天王山西遺跡隣接地)	H22.3.25
52	H23.2.9	鈴鹿市長	土師質土器	1	鈴鹿市郡山町字北下野田1071-3、1071-4、1071-5の一部	西川遺跡	H22.5.27
53	H23.2.3	津市教育委員会教育長	陶磁器	1	津市中央82番地	津城跡	H22.5.21
54	H23.2.9	鈴鹿市長	土師器、須恵器	1	鈴鹿市弓削一丁目46番1、47番、618番6	平田遺跡	H22.5.18
55	H23.3.4	鈴鹿市長	縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、黒色土器、石鏃、土錘、灰釉陶器、緑釉陶器、山茶碗、山皿、青磁、円面硯、鉄釘、瓦	64	鈴鹿市平田本町一丁目57-2、58-2、59-2の一部、60、62-2の一部、63-1、63-2、63-3、64、65、66、67、68、69、70、71の一部、72、73、74-1、74-2、74-3、75、76-1、76-2、77の一部、78、80-2、81-1、81-2、82-1、82-2、83、84、85、86、87-1、87-3、88-1、88-2、88-3、90-1、91-2の一部、96-1、97、99の一部、100、101、102、103、104、105-1、105-2、107-2、108-3の一部	平田遺跡	H22.7.8
56	H23.3.4	鈴鹿市長	土師器	1	鈴鹿市神戸八丁目289-2・423-1・416-2・420-3の一部	須賀遺跡	H22.7.8

	申請日	申請者	譲与文化財の名称	箱数	発見場所	遺跡名	発見の日付
57	H23. 3. 22	鈴鹿市長	常滑焼	1	鈴鹿市国府町字平井2476、2477、2481、国府町字木曾田3500-1	本郷遺跡	H22. 8. 11
58	H23. 3. 18	津市教育委員会教育長	専修寺境内遺跡 (H22-2次) 出土遺物 (土師器・陶磁器・瓦質土器・瓦)	2	津市一身田町2819番地	専修寺境内遺跡	H22. 8. 2
59	H22. 8. 3	津市教育委員会教育長	津城跡出土遺物 (土師器・陶磁器、瓦、木材片)	2	津市丸之内26番8号ほか丸之内内地内道路 (津城跡)	津城跡	H21. 12. 4

### 3 国・県指定文化財の現状変更等 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

#### (1) 国指定文化財現状変更等

##### ① 国指定史跡及び名勝等現状変更

(\*印は県の法定受託事務等による許可)

件名	所有者	申請(協議)日	許可(同意)日	完了日	申請者	変更理由
名勝 諸戸氏庭園	財団法人 諸戸会 理事長	H22. 4. 1	H22. 5. 21		財団法人諸戸会 理事長	仮設工作物設置の期間延長及び表門一時移設
		H22. 4. 27	H22. 6. 18		財団法人諸戸会 理事長	仮設養生
		H22. 4. 27	H22. 6. 18		財団法人諸戸会 理事長	溝渠浚渫
		H22. 8. 6	H22. 9. 17		財団法人諸戸会 理事長	支障木伐採
		H22. 8. 6	H22. 9. 17		財団法人諸戸会 理事長	仮設工作物設置の内容変更
		H22. 10. 14	H22. 11. 19		財団法人諸戸会 理事長	建物修理
		H23. 1. 11	H23. 2. 28		財団法人諸戸会 理事長	小屋設置
名勝 旧諸戸氏庭園	桑名市	H22. 4. 30	H22. 6. 18		桑名市長	樹木伐採
		H22. 8. 13	H22. 9. 17	H23. 2. 16	桑名市教育委員会教育長	地質調査
		H22. 10. 13	H22. 11. 19	H23. 2. 16	桑名市長	表門修理
		H22. 11. 5	H22. 12. 10	H23. 2. 16	桑名市長	地質調査
史跡 伊勢国分寺跡	鈴鹿市	H22. 7. 1	H22. 9. 17	H23. 3. 31	鈴鹿市長	史跡整備
		H23. 3. 25			鈴鹿市長	史跡整備
史跡 谷川士清旧宅	津市	H22. 4. 23	H22. 6. 18		津市長	旧宅壁面及び屋根修復
史跡 長野氏城跡	津市	H22. 9. 30	H22. 9. 30*		美里ボランティアガイド会会長	階段復旧
			H23. 3. 28*		津市長職務代理者	丸木橋・案内板設置
史跡 多気北畠氏城館跡	宗教法人 北畠神社		H22. 12. 2*		津市長	案内看板設置
	宗教法人北畠神社代表 役員・個人・津市	H21. 11. 27	H21. 12. 25	H22. 3. 25	津市長	法面崩落防止
	個人	H23. 1. 24	H23. 3. 18		個人	浄化槽設置及び配管埋設

件名	所有者	申請(協議)日	許可(同意)日	完了日	申請者	変更理由
史跡 明合古墳	農林水産省		H22.12.2*		三重県知事	境界杭復旧
史跡 天白遺跡	松阪市	H21.10.9	H21.11.20	H22.3.31	松阪市長	史跡整備にともなう 盛土及び遺構表示
		H22.4.16	H22.5.21		松阪市長	盛土及び東屋設置
史跡 水池土器製作 遺跡	明和町	H22.5.10	H22.6.18	H23.1.11	明和長	便所建替及び給排水 管理設
		H22.9.21	H22.10.4*	H23.1.11	明和町長	コンクリート舗装
		H23.1.11	H23.1.21*		明和町長	便所建替及び給排水 管理設
史跡 離宮院跡	伊勢市 官舎神社	H22.4.22	H22.6.18	H22.10.20	伊勢市長	集合住宅及びコン クリート塀撤去
史跡 上野城跡	財務省および伊賀市	H21.8.27	H21.9.25	H22.3.31	伊賀市長	発掘調査及び石垣 修理
		H22.1.15	H22.2.19	H22.3.30	伊賀市長	藤棚改修
		H22.6.15	H22.7.16		伊賀市水道事 業管理者	水道管撤去及び埋設
			H22.7.22*	H22.9.17	伊賀市観光協 会会長	伊賀流忍者博物館 東通路補修工事
		H22.9.6	H22.10.15	H23.3.31	伊賀市長	石垣修復工事
		H22.12.7	H23.1.31		伊賀市長	建物耐震工事
		H22.12.27	H23.2.14*	H23.3.31	伊賀市長	石溝補修
		H23.2.21	H23.2.22*	H23.3.17	伊賀市長	樹木伐採
史跡 旧崇広堂	伊賀市	H18.6.7	H18.7.21	H22.3.15	伊賀市長	土塀修理
		H20.4.2	H20.5.1	H22.3.15	伊賀市長	排水管設置
		H21.12.1	H22.1.15	H22.5.31	伊賀市長	講堂屋根補修
		H22.6.1	H22.7.16		伊賀市長	土塀保存修理
		H22.10.26	H22.11.19		伊賀市長	側溝改修
史跡 熊野参詣道	御浜町	H20.12.19	H21.1.8	H22.3.30	三重県知事	横垣峠地すべり対策
	熊野市	H21.11.17	H21.12.11	H22.3.20	熊野市長	路面復旧
	国土交通省	H22.6.7	H22.7.16		三重県知事	防波堤設置
		H22.6.7	H22.7.16		三重県知事	導流堤復旧
	花の窟神社		H22.9.15*	H22.9.27	花の窟神社宮司	玉垣復旧
	御浜町	H22.8.16	H22.9.17		三重県知事	横垣峠地すべり対策
	国土交通省	H22.9.2	H22.10.15		三重県知事	橋梁耐震補強
		H22.9.15	H22.10.15		三重県知事	階段設置
名勝 二見浦	国土交通省・ 伊勢市ほか	H21.12.7	H22.2.19	H23.1.6	三重県知事 (伊勢建設事務所)	養浜及び突堤整備 の期間延長
		H22.3.19	H22.4.16	H23.3.30	三重県知事 (伊勢建設事 務所流域課)	第3突堤等の整備
		H22.8.17	H22.9.17	H22.12.24	三重県知事 (伊勢農林水産 商工環境事務所)	音無山法面復旧工事
		H22.11.2	H22.12.10		三重県知事 (伊勢建設事務所)	第一突堤の補修
名勝 三多気の桜	個人	H22.12.22	H23.1.21	H23.2.28	津市長	桜の補植

② 国指定史跡齋宮跡にかかる現状変更

申請内容	件数	備考
個人・民間企業などによる申請	50件	内、法定受託事務等による許可 21件
公共機関等による地域環境整備に伴う申請	3件	内、法定受託事務等による許可 0件
史跡環境整備及び維持管理等に伴う申請	9件	内、法定受託事務等による許可 5件
計画的発掘調査のための申請	4件	内、国庫補助金による計画発掘調査 4件
計	66件	

③ 国指定天然記念物現状変更

(\*印は県市の法定受託事務等による許可)

件名	所有者	申請(協議)日	許可(同意)日	完了日	申請者	変更理由
御池沼沢植物群落	四日市市ほか	H22. 8. 23	H22. 9. 17	H22. 12. 24	横浜国立大学大学院環境情報研究院 研究員	DNA 評価用試料の採取
		H22. 11. 12	H22. 12. 10	H23. 3. 31	四日市市教育委員会教育長	植生管理 高茎植物(ヨシ、セイタカアワダチソウなど)除去
		H23. 3. 22*			弘前大学農学生命科学部准教授	花粉採取のため、花を採取
大島暖地性植物群落	紀北町	H22. 6. 25	H22. 8. 5	H22. 9. 30	株式会社野生動物保護管理事務所	鳥類調査(カワウなど)
大杉谷	国(国有林)	H21. 9. 16	H21. 10. 28	H22. 7. 29	三重県知事(松阪農林商工環境事務所)	登山道復旧工事
		H22. 3. 4	H22. 4. 16	H23. 3. 31	環境省近畿地方環境事務所	吊り橋及び登山道復旧(同意) 平等岨吊り橋および歩道復旧
		H22. 3. 9	H22. 4. 16		三重県知事(自然環境室)	動植物採取(環境調査) 登山路整備にかかる調査
		H22. 8. 20	H22. 9. 17		三重県知事(松阪農林商工環境事務所)	登山道復旧工事
		H23. 1. 5	H23. 2. 8		三重県知事(松阪農林商工環境事務所)	登山道復旧工事 光滝より上流部の工事
オカヤドカリ		H22. 9. 29	H22. 11. 19		個人	生息状況調査および試料採取
金生水沼沢植物群落	鈴鹿市	H22. 12. 22	H23. 1. 21	H23. 3. 31	鈴鹿市長	観察路設置、植物名プレートの設置
白子不断櫻	白子山観音寺	H23. 2. 28	H23. 4. 8		宗教法人観音寺代表役員	整枝、剪定および土壌調査
多度のイヌナシ自生地	個人	H22. 8. 13	H22. 9. 17	H23. 5. 23	桑名市教育委員会教育長	植生管理 下草刈り
		H20. 4. 7	H20. 5. 7	H22. 10. 25	岐阜大学応用生物学部教授	交雑実験および試料採取
		H21. 7. 31	H21. 8. 5	H22. 5. 10	桑名市教育委員会教育長	環境整備・測量
田光のシデコブシ及び湿地植物群落	田光区、個人	H22. 2. 4	H22. 3. 19	H22. 4. 24	菰野町教育委員会教育長	雑草の除去

件名	所有者	申請(協議)日	許可(同意)日	完了日	申請者	変更理由
田光のシデコブシ及び湿地植物群落	田光区、個人	H22. 3. 15	H22. 3. 19	H22. 4. 24	菰野町教育委員会教育長	* 工作物の設置 釣り禁止看板の設置
		H22. 5. 27	H22. 7. 6	H22. 9. 9	横浜国立大学大学院環境情報研究院 研究員	試料採取 (DNA分析)
		H22. 5. 27	H22. 7. 6	H23. 1. 31	菰野町教育委員会教育長	外来種駆除 キショウブの除去
		H22. 7. 12	H22. 8. 17	H22. 9. 10	森林総合研究所 研究員	試料採取(果実) 果実を食害する昆虫の調査
		H22. 9. 16	H22. 11. 9	H22. 12. 3	菰野町教育委員会教育長	植生管理 ササ、 雑草の除去
ネコギギ		H21. 10. 9	H21. 11. 20	H22. 8. 26	三重県知事 (伊勢建設事務所)	工事にもなう一時捕獲・移動
		H21. 10. 20	H21. 12. 11	H22. 6. 1	いなべ市長 (建設部)	工事にもなう捕獲・飼育
		H21. 11. 17	H22. 1. 15	H22. 8. 26	三重県知事 (伊勢建設事務所流域課)	工事にもなう一時捕獲・移動
		H21. 12. 1	H22. 1. 15	H22. 7. 15	三重県知事 (桑名建設事務所)	工事にもなう一時捕獲・保護飼育
		H21. 12. 9	H22. 2. 19	H22. 5. 10	いなべ市長 (建設部)	工事にもなう捕獲・保護飼育
		H22. 1. 5	H22. 2. 19	H22. 5. 6	松阪市長(嬉野地域振興局)	工事にもなう一時捕獲・移動
		H22. 1. 14	H22. 2. 19	H23. 3. 3	三重県知事 (松阪建設事務所)	工事にもなう一時捕獲・移動
		H22. 1. 24	H22. 3. 19	H22. 4. 15	志摩マリンランド館長	移動・飼育展示
		H22. 3. 1	H22. 4. 16		三重県知事 (津建設事務所)	工事にもなう一時捕獲・移動
		H22. 3. 15	H22. 4. 16		いなべ市教育委員会教育長	飼育、放流、人工繁殖、野外調査等
		H22. 5. 10	H22. 5. 11	H22. 8. 2	松阪市長 (嬉野地域振興局)	* 生息状況調査
		H22. 5. 21	H22. 6. 17		中日本高速道路株式会社四日市工事事務所長	* 生息状況調査
		H22. 7. 22	H22. 7. 26		三重県知事 (津建設事務所)	* 生息状況調査 河川水辺の国勢調査
		H22. 8. 2	H22. 9. 17	H23. 3. 11	松阪市長(嬉野地域振興局)	工事にもなう一時捕獲・移動
		H22. 8. 11	H22. 8. 17	H23. 4. 27	三重県知事 (伊勢建設事務所)	* 生息状況調査
		H22. 8. 24	H22. 10. 15		三重県知事 (伊勢建設事務所)	工事にもなう一時捕獲・移動
		H22. 9. 9	H22. 10. 15		三重県知事 (伊勢農林水産商工事務所)	工事のともなう一時捕獲・移動
H22. 9. 14	H22. 9. 14		国際航業中部事業所	* 生息状況調査		
H22. 12. 10	H23. 1. 21		三重県知事 (伊勢建設事務所流域課)	工事にもなう一時捕獲・移動		

件名	所有者	申請(協議)日	許可(同意)日	完了日	申請者	変更理由
椋本の大椋	椋本神社	H22. 7. 15	H22. 7. 16		津市長	* 工作物の改修 既存倒壊防止支柱 改修
ヤマネ		H22. 9. 14	H22. 9. 14		国際航業 中部事業所	* 生息状況調査
天然記念物 および名勝 熊野の鬼ヶ城 附 獅子巖	国・県・熊 野市	H22. 3. 19	H22. 3. 19	H22. 5. 30	七里御浜鯉の ぼりの会	* 工作物の設置
		H22. 7. 27	H22. 7. 27	H22. 12. 3	熊野市長(観 光スポーツ課)	* 花火行事のため の工作物の設置
特別天然記念 物 オオサンショ ウウオ		H21. 6. 23	H21. 6. 26	H22. 5. 19	独立行政法人水 資源機構川上ダ ム建設所長	* 生息状況調査
		H21. 11. 4	H21. 12. 11	H23. 3. 23	三重県知事 (伊賀建設事 務所流域課)	工事にともなう一 時捕獲・移動
		H21. 11. 18	H21. 12. 11	H23. 3. 25	三重県知事 (伊賀建設事 務所道路課)	工事にともなう一 時捕獲・移動
		H22. 5. 19	H22. 5. 24		独立行政法人水 資源機構川上ダ ム建設所長	* 生息状況調査
		H22. 5. 19	H22. 6. 18	H23. 6. 20	独立行政法人 水資源機構川 上ダム建設所長	食性調査(胃内容 物調査)
		H22. 5. 24	H22. 6. 18	H22. 8. 6	伊賀市教育委 員会教育長	一時捕獲(観察会)
		H22. 5. 28	H22. 6. 8	H22. 8. 30	志摩マリラン ド	* 保護個体の飼育
		H22. 5. 28	H22. 7. 16	H22. 8. 24	志摩マリラン ド	試料採取 (DNA分析)
		H22. 6. 23	H22. 6. 30	H23. 1. 13	三重県知事 (伊賀建設事務所)	* 生息状況調査
		H22. 7. 8	H22. 9. 17	H23. 3. 31	津市長	工事にともなう一 時捕獲・移動
		H22. 7. 23	H22. 8. 10	H23. 7. 22	三重県知事 (伊賀農林商 工環境事務所)	* 生息業況調査
		H22. 9. 14	H22. 9. 16		国際航業 中部事業所長	* 生息状況調査
		H22. 9. 16	H22. 10. 15	H23. 3. 23	三重県知事 (伊賀建設事務所)	工事にともなう一 時捕獲・移動
		H22. 9. 17	H22. 10. 15	H23. 6. 20	独立行政法人 水資源機構 川上ダム建設 所長	工事にともなう一 時捕獲・移動
		H22. 9. 29	H22. 11. 19	H23. 5. 23	伊賀市長	工事にともなう一 時捕獲・移動
H22. 11. 15	H22. 12. 10	H23. 3. 25	三重県知事 (伊賀建設事務所)	工事にともなう一 時捕獲・移動		
H23. 1. 24	H23. 3. 18		独立行政法人 水資源機構 川上ダム建設 所長	小学校での出前事 業にともなう一時 移動		
H23. 2. 22	H23. 3. 18		伊賀市長	一時捕獲・移動		



件名	所有者	申請(協議)日	許可(同意)日	完了日	申請者	変更理由
特別天然記念物 カモシカ		H22. 9. 14	H22. 9. 16		国際航業 中部事業所	* 生息状況調査

④ 国指定史跡・名勝き損届

件名	届出日	き損日	届出者	き損内容
史跡 王塚古墳	H22. 6. 29	H22. 6. 27	鈴鹿市長	倒木
史跡 旧林崎文庫	H23. 2. 28	H23. 2. 19	宗教法人神宮代表 役員	根瓦損傷
名勝 二見浦	H22. 7. 12	H22. 6. 29	伊勢市教育委員会 教育長	夫婦岩(男岩)の補強石積 みの崩落
名勝 三多気の桜	H22. 8. 25	H22. 8. 24	津市長	桜の枝の折損(C116番桜)
	H22. 11. 8	H22. 11. 1	津市長	桜の枝の折損(D28番桜、 車両接触による枝折れ)
天然記念物および 名勝 熊野の鬼ヶ城 附 獅子巖	H22. 11. 25	H22. 10. 1	熊野市長	獅子巖の上のマツ枯死

⑤ 国指定史跡 復旧届

件名	所有者	届出日	完了日	届出者	復旧内容
史跡 旧豊宮崎文庫	伊勢市	H22. 7. 27		伊勢市長	門扉等修繕
史跡 熊野参詣道	尾鷲市	H22. 7. 26		尾鷲市長	木橋復旧
史跡 旧崇広堂	伊賀市	H22. 9. 14	H23. 3. 31	伊賀市長	床板修理等

⑥ 国指定天然記念物滅失・き損届

件名	届出日	き損日	届出者	き損内容
ヤマネ	H22. 10. 6	H22. 10. 5	松阪市教育委員 会教育長	松阪市飯高町波瀬の山林舎内で発見 一時保護したが死亡
特別天然記念物 オオサンショウウ オ	H22. 6. 21	H22. 6. 19	特定非営利活動 法人赤目四十八 滝保勝会 日本サンショウ ウオセンター理 事長	飼育個体の滅失 (マイクロチップ968000004314321)
特別天然記念物 カモシカ	H22. 4. 21	H22. 4. 17	四日市市教育委 員会教育長	失血死と想定される 野犬に襲われた可能性がある
	H22. 4. 30	H22. 4. 28	いなべ市教育委 員会教育長	大量にカモシカの毛が投棄されていた 密猟と思われる
	H22. 7. 20	H22. 7. 17	紀宝町教育委員 会教育長	ミカン畑で獣害対策ネットに絡まり死亡
	H22. 8. 18	H22. 8. 16	熊野市教育委員 会教育長	紀和町矢の川R311沿いの擁壁上で立ち 往生していた個体を救出したが、翌朝 死亡が確認された 衰弱死と思われる
	H22. 8. 19	H22. 8. 18	尾鷲市教育委員 会教育長	R42矢の川トンネル熊野方面出口で死 亡 交通事故と思われる
	H22. 8. 25	H22. 8. 11	菰野町教育委員 会教育長	大石公園付近で死亡 老衰と思われる
	H22. 12. 10	H22. 12. 9	尾鷲市教育委員 会教育長	JR紀勢線白浜トンネル内で列車には ねられる

件名	届出日	き損日	届出者	き損内容
特別天然記念物 カモシカ	H23. 1. 5	H23. 1. 4	御浜町教育委員会教育長	御浜町西原で死亡 病死（スス病に似た症状 パラボックスではない）
	H23. 1. 5	H22. 12. 19	鈴鹿市長（文化課）	小岐須溪谷で死亡 原因は不明
	H23. 1. 21	H23. 1. 16	津市教育委員会教育長	美杉町川上で死亡 原因は不明 電柵内に迷い込み、脱出できずに衰弱死と推定
	H23. 1. 31	H23. 1. 26	津市教育委員会教育長	美杉町川上で死亡 川に落ちて溺死と推定
	H23. 2. 15	H23. 2. 12	いなべ市教育委員会教育長	藤原町東禅寺お菊稲荷付近で死亡 ヒノキ食害防止ネットに絡まって衰弱死と推定 口周辺や前肢の皮膚にスス病状の病変あり
	H23. 3. 22	H23. 3. 20	菰野町教育委員会教育長	菰野町千草 朝明ヒュッテで死亡 原因不明 衰弱死と推定
特別天然記念物 コウノトリ	H23. 1. 5	H22. 12. 29	鳥羽市教育委員会教育長	豊岡で放鳥した個体（J0398）が鳥羽市浦村に飛来し、死亡 コウノトリの郷公園で死因などを調査

⑦ 国指定史跡及び名勝保存管理団体指定申請

件名	所有・管理者	申請日	許可日	完了日	申請者	備考
多度のイヌナシ 生地	個人	H22. 1. 9	H23. 1. 13	H23. 1. 13	桑名市長	管理団体の指定 H23. 1. 13付け 官報第5473号 文化庁告示第7号

⑧ 重要文化財き損届

件名	届出日	き損日	届出者	き損内容
旧賓日館	H22. 6. 29	H22. 6. 14	伊勢市	長年の風雨による屋根損傷（雨漏り）
	H23. 1. 7	H22. 12. 30	伊勢市	長年の風雨による屋根損傷（雨漏り）
旧諸戸家住宅	H23. 3. 18	H23. 3. 11	桑名市	東日本大震災による壁面及び天井のひび割れ

⑨ 重要文化財修理届

件名	所有・管理者	届出日	修理期間	修理内容
神宮祭主職舎本館 （旧慶光院客殿）	神宮	H23. 1. 26	H23. 2. 28～H23. 3. 31	瓦屋根葺き替え及び樋の取替等の修理

⑩ 重要文化財無償貸付

件名	所有者	申請者	承認日	貸付期間	貸付目的
三重県繩生廃寺塔 心礎納置品 一括	国	朝日町歴史博物館長	H22. 3. 31	H22. 4. 1～ H23. 3. 31	朝日町歴史博物館における常設展に出品展示するため

⑪ 重要文化財公開届出（公開承認施設）

件名	所有・管理者	届出者	届出日	公開期間	公開理由
松浦武四郎関係資料 1503点のうち4点	松阪市	朝日町歴史 博物館長	H22. 8. 31	H22. 7. 31～ H22. 8. 29	平成22年度企画展 「明治の歌人 橋 東世子・道守」に 出陳
延喜式（九條家本） 卷第六 紙本著色狭衣物語絵巻断簡 1幅	独立行政法人国 立文化財機構	斎宮歴史博 物館長	H22. 12. 1	H22. 10. 9～ H22. 11. 14	平成22年度特別展 「賀茂齋院と伊勢 齋宮」に出陳
類聚歌合 卷第八	財団法人陽明文庫				
彩牋三宝絵残巻（八十六枚）	名古屋市				
狭衣（伝二条為明本） 卷二・三	東洋大学				
源氏物語（青表紙本） 4冊	財団法人古代学 協会				

⑫ 重要文化財公開許可申請（県内施設、国許可による）

件名	所有・管理者	申請者	申請日	公開期間	公開理由
奈良県山田寺跡出 土品のうち 17点	独立行政法人 国立文化財機 構奈良文化財 研究所	鈴鹿市	H22. 9. 9	H22. 11. 3～ H22. 12. 12	平成22年度特別展「土 の中に眠っていたほと けさま」に出陳

⑬ 重要文化財（建造物）現状変更許可申請

件名	届出者	申請日	許可日	完了日	申請内容
旧松坂御城番長屋	合資会社 苗秀社	H22. 5. 27	H22. 7. 23	H23. 3. 31	保存修理工事とあわせて、 本来の形式に復旧整備を 行う

(2) 県指定文化財現状変更等

① 県指定史跡及び名勝等現状変更

(\*印は市の許可)

件名	所有者	申請(協議)日	許可(同意)日	完了日	申請者	変更理由
史跡 桑名城跡	桑名市	H22. 9. 6	H22. 9. 9		桑名市長	防球ネット改修
		H22. 9. 17	H22. 10. 21		桑名市長	プール配管改修
史跡 神戸城跡	鈴鹿市		H22. 6. 16		鈴鹿市長	樹木伐採
		H22. 9. 15	H22. 9. 21	H23. 2. 18	鈴鹿市長	史跡整備工事
史跡 旧亀山城多聞楼	亀山市	H22. 12. 24	H23. 1. 6		亀山市長	石垣修復整備等
史跡 津城跡	津市		H22. 10. 4 *		津まつり実行委 員会会長	テント設置
			H22. 10. 7 *		大河ドラマ「江」 地域活性化推進 協議会会長	のぼり旗設置
		H23. 2. 2	H23. 2. 7 *		津市新能実行委 員会委員長	仮設舞台設置

件名	所有者	申請(協議)日	許可(同意)日	完了日	申請者	変更理由
史跡及び名勝 専修寺庭園	宗教法人 専修寺	H22. 3. 30	H22. 4. 1	H22. 5. 7	宗教法人専修寺 代表役員	安楽庵床材修理
		H22. 5. 11	H22. 5. 13	H22. 5. 28	宗教法人専修寺 代表役員	排水溝設置
		H22. 12. 20	H23. 1. 18		宗教法人専修寺 代表役員	防犯・防災施設 設置工事
史跡 松ヶ島城跡			H22. 2. 3 *		松阪市教育委員 会教育長	看板設置
史跡 田丸城跡	玉城町	H23. 1. 11	H23. 2. 2		玉城町長	橋梁整備等工事
		H23. 2. 24	H23. 3. 9		玉城町長	苗木仮植え

② 県指定天然記念物現状変更

件名	所有者・管理者	申請日	許可日	完了日	申請者	変更理由
アイナシ	府南寺	H23. 3. 14	H23. 3. 24	H23. 4. 28	愛知県立大学情報 科学部 研究員	DNA サンプル 採取
池ノ谷のモリア オガエル繁殖	個人	H23. 1. 11	H23. 1. 17	H23. 6. 6	産業技術総合研究 所 研究員	ボーリング調査 堰き止め湖の堆 積物の調査
おおだいがは らさんしょう うお		H22. 1. 5	H22. 1. 12	H22. 10. 8	三重森林管理署	工事にともなう 一時捕獲・移動
		H22. 9. 10	H22. 9. 15	H22. 10. 14	日本電波ニュース	撮影のため
		H22. 9. 14	H22. 9. 16*		国際航業 中部事 業所	生息状況調査 (津市許可)
		H22. 10. 5	H22. 10. 5	H22. 12. 31	三重県知事(松阪農 林商工環境事務所)	治山工事に伴う 捕獲・移動
川島町のシデ コブシ群落	個人	H22. 7. 23	H22. 8. 17	H22. 9. 2	(独) 森林総合研 究所	サンプル採取 (果実) シデコブシの果実を 食べる昆虫の調査
川俣神社のス ダジイ	宗教法人 川俣神社	H22. 5. 11	H22. 5. 18	H22. 9. 1	川俣神社 代表役員	害虫カミキリム シ駆除
鈴島暖地性植 物群落	紀北町	H22. 6. 25	H22. 7. 7	H22. 9. 14	株式会社野生動物 保護管理事務所代 表取締役	鳥類生息状況調 査(カワウ他)
		H22. 9. 10	H22. 9. 16		三重自然誌の会	地形地質・動植 物調査
徳司神社樹叢	徳司神社	H22. 9. 28	H22. 10. 1	H22. 10. 15	徳司神社	剪定および枯木 伐採
長太の大楠	宗教法人 須伎神社	H23. 3. 1	H23. 3. 4	H23. 3. 25	須伎神社	樹勢回復事業 (土壌改良)
和具大島暖地性 砂防植物群落	和具八雲神社	H22. 8. 30	H22. 9. 1	H22. 10. 31	志摩半島野生動物 研究会	移入種除去

③ 県指定有形文化財き損届

件名	届出日	滅失日	届出者	滅失内容
諸戸(宗)家住宅 煉瓦蔵一棟 附 煉瓦塀三棟 石造溝渠一基	H22. 5. 24	H22. 4. 23~ 5. 16の間	個人	黒色ペンキによる落書き
鰐口 1口	H22. 8. 8	H22. 8. 7	立神自治会	保管場所の火災により、片面が被熱し赤褐色に変色
俳聖殿	H22. 10. 5	不明	伊賀市	欄間部材の一部欠損

④ 県指定有形文化財現状変更許可申請

件名	申請者	申請日	許可日	完了日	変更内容
一色町の木造能面	一色町能楽保存会	H22. 4. 20	H22. 5. 10	H23. 3. 31	能面の修理
諸戸(宗)家住宅 附煉瓦塀三棟	財団法人諸戸会	H22. 5. 7	H22. 6. 4		仮説養生工事および煉瓦塀上部に残存する瓦の解体
一色町の木造能面	一色町能楽保存会	H23. 1. 19	H23. 1. 24	H23. 3. 31	能面の修理

⑤ 県指定有形文化財修理届

件名	所有・管理者	届出日	受理日	完了日	修理内容
斎宮女御集(資経本)	斎宮歴史博物館	H22. 4. 1	H22. 4. 1	H23. 3. 10	劣化を食い止め、損傷を修理
旧三重県第三尋常 中学校校舎 附 正門	三重県	H22. 5. 24	H22. 5. 31	H22. 8. 3	北西入口扉の蝶番の調整及び塗装
旧諸戸家住宅(六華苑)	桑名市	H22. 9. 16	H22. 9. 27	H23. 2. 16	虫害に伴う土台部分修理

⑥ 県指定文化財所在場所の変更(元の所在場所に復する場合)

件名	所有・管理者	変更場所	届出日	変更期間	変更理由
松浦武四郎関係資料 223点のうち23点	松阪市	INAXギャラリー大阪 ほか2ヶ所	H22. 4. 21	H22. 5. 18~ H23. 2. 25	「幕末の探検家・松浦武四郎と一疊敷」展 INAXギャラリーにおける巡回展に出品
三重県行政文書 11,643点のうち227点	三重県	山路工業株式会社内	H22. 6. 1	H22. 6. 8~ H23. 3. 22	マイクロ写真撮影等業務を委託
宗国史(崇廣堂本) 一種32冊のうち9冊	伊賀市	亀岡市文化資料館	H22. 7. 7	H22. 7~ H22. 9. 23	第26回特別展「夏の巻 丹波亀山城~天空にそびえる五重天守!~」に出展
三重県行政文書 11,643点のうち6点	三重県	松阪市文化財センター	H22. 7. 9	H22. 7. 13~ H22. 8. 27	移動展示「水の恵みとゆくえ~くらしと自然の関わりから考えてみよう!~」に出展

件名	所有・管理者	変更場所	届出日	変更期間	変更理由
土偶（粥見井尻遺跡出土）のうち土偶1点	三重県埋蔵文化財センター所長	飯南中学校	H22. 7. 29	H22. 9. 3	出前講座で使用するため
宇流富志禰神社能・狂言面 45面のうち3面	宇流富志禰神社	アドバンスコープADSホール（名張市青少年センター）	H22. 8. 2	H22. 8. 7	「観阿弥創座の地 なばり夏能」での上演に使用
参宮講看板 76枚 附 たわらや看板 2枚のうち15枚	伊賀市	柘植歴史民俗資料館	H22. 8. 3	H22. 9. 16～ H22. 11. 24	企画展「阿保たわら屋の参宮講看板」に出陳
木造地藏菩薩坐像1軀	正法寺	四日市市立博物館	H22. 8. 13	H22. 8. 18～ H24. 6頃	安置場所である本堂大屋根の改修のため
八鬼山町石及び石造 三宝荒神立像、石造 不動明王立像 33基2軀	尾鷲市	尾鷲市大字南浦地内	H22. 8. 12	H22. 9	毀損の可能性から平成16年に安全な場所へ移動したが、その危険性がなくなったため
大湊古文書 1420点のうち4点	大湊町振興会	豊橋市二川宿本陣資料館	H22. 8. 18	H22. 9. 29～ H22. 11. 24	企画展「海の街道展－伊勢湾を渡る－」に出展
紙本墨書癡兀大恵印信 附 紙本墨書空然印 信及び合行図 紙本墨書寂蒼印信 25通 17通 1通の うち7通	安養寺	福岡市博物館	H22. 8. 25	H22. 9. 1～ H22. 11月上旬	「栄西と中世博多展」へ出展
紙本墨書 国崎文書 11通	鳥羽磯辺漁協国崎支所	皇學館大学佐川記念神道博物館	H22. 8. 31	H22. 10. 18～ H22. 12. 6	平成22年度皇學館大学博物館学芸員課程卒業展示「御食つ国の海女おとめ」へ出展
唐冠形兜 1頭	伊賀市	彦根城博物館	H22. 9. 7	H22. 10. 15～ H22. 12. 14	テーマ展シリーズ戦国巻の3「よみがえる関ヶ原合戦－関ヶ原合戦図を読む－」に出展
三重県行政文書 11,643点のうち189点	三重県	山路工業株式会社内	H22. 9. 22	H22. 10. 1～ H23. 3. 25	マイクロ写真撮影等業務を委託
薙刀 1口 刀 1口 脇差 1口 刀 1口	個人	松阪市文化財センター	H22. 9. 23	H22. 10. 19～ H22. 12. 10	特別展「郷土刀と松阪～もののふの造形」に出展
鳥居古墳出土押出仏・ 埴仏 8点 夏見廃寺出土埴仏 3点	三重県	鈴鹿市考古博物館	H22. 9. 30	H22. 10. 18～ H22. 12. 22	特別展「土の中に眠っていたほとけさま」に出展
三重県行政文書 11,643点のうち24点	三重県	三重県総合文化センター 三重県立図書館文学コーナー・ 生涯学習センター大研修室	H22. 11. 1	H22. 11. 2～ H22. 11. 3、 11. 9	特別展「県庁に残された文書・絵図」に出展

件名	所有・管理者	変更場所	届出日	変更期間	変更理由
木造薬師如来坐像 1 軀	宗教法人 見徳寺	奈良県立美術館	H22.11.1	H22.11.6～ H22.12.25	「會津八一」展に出展
紙本墨書 佐藤文書 58通	公益財団法人 石水博物館	文化庁	H23.1.4	H23.1.13～ H23.5.31	重要文化財指定調査のため
埴製枕 1点	個人	鳥根県立古代出 雲歴史博物館	H23.1.6	H23.2.20～ H23.6.10	企画展「古代出雲の壮大な 交流－神々の国を往来し た人と文物」に出展
賀多神社能舞台（組 立式） 1式	賀多神社	旧鳥羽小学校 講堂	H23.1.6	H23.1.30～ H24.3.31	現状確認及び修理に向けて の調査
無外逸方（北畠政勝） 寿像 1幅 眼寺文書 3巻21点	宗教法人 浄眼寺	松阪市文化財 センター	H23.1.17	H23.1.20～ H23.3.29	企画展「北畠氏と松阪」に 出展
木造聖徳太子立像 1 軀	宗教法人 厚源寺	京都市美術館	H23.2.16	H23.3.3～ H23.6.10	「親鸞展」に出展
木造阿弥陀如来立像 1 軀	宗教法人 専修寺	京都市美術館	H23.2.16	H23.3.3～ H23.6.10	「親鸞展」に出展
木造親鸞聖人坐像 1 軀	宗教法人 専修寺	京都市美術館	H23.2.16	H23.3.3～ H23.6.10	「親鸞展」に出展
銅造千手観音立像 1 軀	個人	村山龍平記念館	H23.3.22	H23.3.28～ 未定	「県指定有形文化財 千手 観音特別展」に出展

⑦ 県指定文化財所在場所の変更

件名	所有・管理者	変更場所	届出日	変更期間	変更理由
鱧口 1口	立神自治会	志摩市阿見町 立神2056	H22.8.8	H22.8.8	保管場所の火災
紙本墨書大般若經 600帖	立神自治会	志摩市阿見町 立神2056	H22.8.21	H22.8.21	保管場所の火災
木造薬師如来坐像 1 軀	宗教法人 見徳寺	上野歴史民俗 資料館	H23.3.14	H23.3.21	寄託先の変更

⑧ 県指定史跡所有者変更

件名	旧所有者 旧管理団体	新所有者 新管理団体	変更日	届出日	受理日	変更理由
造礁サンゴ群生地	三浦漁協、 道瀬漁協・ 海野漁協	三浦漁協、 海野漁協	H22.5.10	H22.5.19	H22.5.19	道瀬漁協の解散にとも なうもの

⑨ 県指定有形文化財公開届（県指定文化財公開承認施設による）

件名	所有者	届出者	届出日	公開期間	公開理由
庫蔵寺 木造荒神像	宗教法人丸 興山庫蔵寺	斎宮歴史博 物館	H23.3.23	H23.2.26～ H23.3.21	平成22年度館藏品展に出品

⑩ 県指定文化財の撮影・掲載許可等

件名	所有者	申請者	申請日	許可日	使用目的
江の浦トンネル（旧長島隧道） 松浦武四郎関係資料		東京法令出版株式会社	H22. 5. 17	H22. 5. 21	中学校社会科（地理）で使用 する副教材に掲載
三重県水産図解	三重県	日本テレビ放送網株式会社	H22. 5. 18	H22. 5. 24	日本テレビ放送網株式会社 「満点☆青空レストラン」
三重県水産図解	三重県	浦安市郷土博物館	H22. 6. 25	H22. 7. 5	企画展「（仮称）三角洲上に できた2つの漁師町ー名 古屋市・下之一色と浦安ー」 展示パネル及び解説リーフ レットに掲載
三重県水産図解	三重県	株式会社シー・ ティー・ワイ	H22. 8. 12	H22. 8. 17	自主制作番組『メモリー～ 記憶帳をつくる旅～』第41 回「富田の鯨舟神事」内 での説明時に使用
三重県水産図解	三重県	株式会社ポプラ 社 カズ企画	H22. 9. 3	H22. 9. 8	ポプラディア情報館「郷土 の人物」に掲載
三重県水産図解	三重県	株式会社アームズ	H22. 9. 16	H22. 9. 21	TV番組「とんとんみーの 冒険」制作
『三重県の近代化遺産』 所収 贄埼灯台部分	三重県	四日市海上保安部	H22. 10. 22	H22. 10. 25	贄埼灯台歴史紹介パネルと して展示
三重県水産図解	三重県	日本文教出版 株式会社	H22. 10. 8	H22. 11. 4	「小学校社会教師用指導書 6年上」添付DVD-ROM 教師用デジタル教科書（平 成23～26年度使用予定）に 掲載
三重県水産図解	三重県	株式会社ソイ ビーンズ	H22. 11. 16	H22. 11. 18	TV番組「近未来創造サイ エンス 奇跡の地球物語」 内での紹介
三重県水産図解	三重県	株式会社山川 出版社	H22. 12. 8	H22. 12. 13	文部科学省検定教科書（高 等学校日本史）に掲載
三重県水産図解	三重県	株式会社テイ クス	H23. 2. 3	H23. 2. 8	東海TV番組「わがまま気 まま！旅気分 芸能人プロ デュース！伊勢路「尾鷲」 を人気観光地に！」内での 紹介
三重県水産図解	三重県	東京大学総合 研究博物館	H23. 3. 7	H23. 3. 16	平成23年度特別展「うなぎ 展（仮称）」におけるパネ ル展示、図録への掲載

4 文化財の公開・普及

(1) 文化財関係の受賞（受賞時の役職）

県民功労表彰

学術文化功労 八賀 晋氏（三重県文化財保護審議会会長、三重大学名誉教授）

教育功労表彰

文化功労 河田 貞氏（元三重県文化財審議議会委員）



地域文化功勞者表彰（文部科学大臣表彰）

文化財保護 八賀 晋氏（元三重県文化財保護審議会会長、三重大学名誉教授）

(2) 三重県文化財講習会（第28回）

目 的 文化財保護に携わっている三重県文化財保護指導委員、市町文化財保護関係委員、文化財所有者、管理者、文化財保護行政担当者等を対象として、文化財保護に関する知識と技能等の研修を行い、資質の向上を図るとともに、文化財の保存と活用の強化に資する。

テ ー マ 『文化財を守り・伝え・活かす』

主 催 三重県教育委員会  
三重県指定文化財等所有者連絡協議会

開 催 日 平成22年11月26日（金）

場 所 桑名市中央公民館 大会議室

参 加 者 51名

内 容 講演 「文化財の調査・賃借について～博物館との関わりの中で～」

桑名市博物館 学芸員 杉本 竜

講演 「動産文化財の防災～防災ウィールを通じて～」

京都造形芸術大学 教授 内田 俊秀

報告 「美し国おこし・三重」

美し国おこし三重実行委員会事務局 三宅 恒之

(3) 第52回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会

趣 旨 近畿・東海・北陸ブロック12府県内に伝承されている民俗芸能のうち、無形民俗文化財に指定されるなど、価値が高いものについて特別公開し、各保存団体の伝承活動の活性化をはかるとともに、伝統文化への関心を広く高めることを目的とする。

主 催 第52回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会実行委員会  
奈良県、奈良県教育委員会

共 催 大和郡山市教育委員会

後 援 文化庁

助 成 財団法人地域創造

協 賛 全国民俗芸能保存振興市町村連盟

開催日時 平成22年10月24日（日）

会 場 やまと郡山城ホール

・出演演目 南設楽のほうか（大海の放下）（愛知県）

惣谷狂言（奈良県）

願念坊踊（富山県）

八田さかたおどり（石川県）

伊吹山奉納太鼓踊（滋賀県）

河内仁○加（にわか）（大阪府）

六県神社の御田植祭（子出来オンダ）（和歌山県）

(4) 文化財保護強調週間行事（平成22年11月1日～7日 ※近接期間の事業を含む）

		県	市	町	その他	合計
実施自治体件数		1	8	1	4	14
実施行事件数	文化財講座・シンポジウム等	1	0	0	1	2
	伝統芸能発表会等	0	2	0	0	2
	文化財めぐり	0	0	0	1	1
	文化財の現地公開	0	2	0	1	3
	博物館等での文化財の展示	3	12	1	1	17
	文化財保護功労者の表彰等	0	0	0	0	0
	その他	0	3	0	0	3

(5) 文化財防火デー

関連防火運動実施状況（平成23年1月26日）\*防火デー以外の日に実施したものを含む

	実施件数			
	防災訓練	消防設備点検	防災指導	広報活動等
県	2	1		2
市	14	15	12	30
町	10	12	10	17
計	26	28	22	49

(6) 文化財保護の組織（平成22年度）

社会教育・文化財保護室 室長 野原宏司

有形文化財グループ

副室長 河みどり 主幹 竹田憲治 主幹 上野 勉 主査 柴山圭子 技師 角正淳子

記念物・民俗文化財グループ

副室長 上村安生 主査 小濱 学 主査 西村和也 主査 中野 環 技師 水谷 豊

技師 伊藤文彦

# 三重県内 国・県指定文化財等文化財数

平成23年3月31日現在

種 別		国	県	計
重要文化財    有形文化財	建造物	23	43	66
	絵画	19	37	56
	彫刻	66	107	173
	工芸品	17	55	72
	書跡・典籍・古文書	44	54	98
	考古資料	10	29	39
	歴史資料	4	5	9
無文化財 形文化財	工芸技術	1	1	2
	芸能	0	1	1
民俗文化財	無形民俗文化財	8	34	42
	有形民俗文化財	1	24	25
記念物	特別史跡	1	—	1
	特別天然記念物	2	—	2
	特別名勝及び天然記念物	1	—	1
	史跡	36	71	107
	史跡及び名勝	0	2	2
	史跡及び天然記念物	0	0	0
	名勝	6	8	14
	名勝及び史跡	1	0	1
	名勝及び天然記念物	0	1	1
	天然記念物（地域を定めず）	15	4	19
	天然記念物	19	75	94
	天然記念物及び名勝	1	1	2
	小 計		275	552
伝統的建造物群保存地区（選定）		1	—	1
文化財の保存技術		0	0	0
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（選択）		15	10	25
重要文化的景観（選定）		0	0	0
登録文化財		96	—	96
合 計		387	562	949

（国の古文書には国宝3、考古資料には国宝1を含む）

## 三重県の文化財保護 —平成22年度—

・発行／2012. 1 ・編集／三重県教育委員会 ・印刷／伊藤印刷株式会社

古紙配合率は100%、白色度80%